

平成25年度

市原市内遺跡発掘調査報告

能満分区遺跡群（貝殻塚地区）
大厩遺跡群（一心原句地区）
椎津向原遺跡（第2地点）
市原城跡（門前地区・第2地点）
郡本遺跡群（第17次）
郡本遺跡群（第18次）
郡本遺跡群（第19次）
郡本遺跡群（第20次）
郡本遺跡群（第21次）
稻荷台遺跡（L－2地点）
稻荷台遺跡（L－3地点）
稻荷台遺跡（N地点）

2014

市原市教育委員会

平成25年度

市原市内遺跡発掘調査報告

のうまんぶんく かいがらづか
能満分区遺跡群（貝殻塚地区）

おおまや いっしんぼらく
大厩遺跡群（一心原句地区）

しいづむかいぼら
椎津向原遺跡（第2地点）

いちはらじょうあともんぜん
市原城跡（門前地区・第2地点）

こおりもと
郡本遺跡群（第17次）

こおりもと
郡本遺跡群（第18次）

こおりもと
郡本遺跡群（第19次）

こおりもと
郡本遺跡群（第20次）

こおりもと
郡本遺跡群（第21次）

いなりだい
稲荷台遺跡（L－2地点）

いなりだい
稲荷台遺跡（L－3地点）

いなりだい
稲荷台遺跡（N地点）

2014

市原市教育委員会

序 文

温暖な気候に恵まれた房総半島には、古来より多くの人々が暮らしてきました。その中央に位置する市原の地にも、豊かな森と養老川や海がもたらす大自然の恵みを求めて、たくさんの人々が集い、先人たちのその営みの痕跡は遺跡となっいまも市内各地に残されています。集落跡・貝塚・古墳・寺院跡・城跡など、その内容は非常に豊かで、「王賜」銘鉄剣や史跡上総国分寺跡など全国にも有名な文化遺産が数多くあります。

本市は、昭和30年代後半から京葉臨海工業地帯に企業が進出し、それ以前の農業・漁業中心の生活様式が大きく変化し、人口増加と都市化が進みました。このような中、開発との調整をはかりながら、先人たちの残した貴重な文化財を保護・保存するために、各種の調査を続けています。

本報告書は、平成25年度に国および県の補助を受けて実施した、個人住宅の建設等に伴う遺跡の発掘調査成果をまとめたものです。本書が、学術資料としてはもとより、多くの方々が郷土の歴史への関心を高め、埋蔵文化財の保護と重要性を理解していただくための資料として、広く活用されることを願っています。

発掘調査から本報告書刊行にいたるまで、ご指導ならびに、ご協力いただきました文化庁記念物課、千葉県教育庁文化財課をはじめとする関係諸機関各位に、深く感謝の意を表します。

平成26年3月

市原市教育委員会
教育長 白鳥 秀幸

例 言

- 1 本書は、国庫および県費の補助を受けて、市原市教育委員会が主体となり実施した、市内に所在する遺跡における発掘調査報告書である。
- 2 発掘調査と整理作業・報告書刊行は、市原市教育委員会生涯学習部の埋蔵文化財調査センターが実施した。
- 3 本報告書所収の調査は下記の通り（調査順）である。所在地などの諸情報は巻末の報告書抄録に記載した。

(1) 能満分区遺跡群（貝殻塚地区）（調査コードセ508）	確認調査507㎡／4161㎡
調査期間：平成25年2月20日～3月8日	調査担当：近藤 敏
(2) 郡本遺跡群（第17次）（調査コードセ509）	確認調査26.4㎡／264.88㎡・本調査77.98㎡
調査期間：平成25年4月15日～5月7日	調査担当：小川浩一
(3) 郡本遺跡群（第18次）（調査コードセ510）	確認調査37.1㎡／371.88㎡
調査期間：平成25年5月20日～5月23日	調査担当：忍澤成視
(4) 大厩遺跡群（一心原句地区）（調査コードセ511）	確認調査19㎡／214.89㎡
調査期間：平成25年6月10日～6月18日	調査担当：近藤 敏
(5) 椎津向原遺跡（第2地点）（調査コードセ512）	確認調査184㎡／1720㎡
調査期間：平成25年7月18日～7月31日	調査担当：近藤 敏
(6) 稲荷台遺跡（L-2地点）（調査コードセ513）	本調査43㎡
調査期間：平成25年7月22日～8月5日	調査担当：小川浩一
(7) 稲荷台遺跡（N地点）（調査コードセ514）	確認調査20㎡／249.4㎡・本調査20㎡
調査期間：平成25年8月16日～8月27日	調査担当：近藤 敏
(8) 郡本遺跡群（第19次）（調査コードセ515）	確認調査33㎡／332.39㎡
調査期間：平成25年9月6日～9月12日	調査担当：小川浩一
(9) 稲荷台遺跡（L-3地点）（調査コードセ517）	本調査68.8㎡
調査期間：平成25年10月21日～11月5日	調査担当：小川浩一
(10) 市原城跡（門前地区・第2地点）（調査コードセ518）	確認調査21㎡／210㎡・本調査87㎡
調査期間：平成25年10月28日～11月8日	調査担当：近藤 敏
(11) 郡本遺跡群（第20次）（調査コードセ519）	確認調査65.2㎡／652㎡・本調査13㎡
調査期間：平成25年11月5日～11月13日	調査担当：小川浩一
(12) 郡本遺跡群（第21次）（調査コードセ521）	確認調査73.9㎡／739.45㎡
調査期間：平成25年12月16日～12月25日	調査担当：小川浩一
- 4 本書内の作図・本文執筆は、各担当が行い、編集その他作業を忍澤成視が担当し小橋健司が協力した。
- 5 本報告書所収の調査のうち、基準点測量を実施しているのは能満分区遺跡群（貝殻塚地区）・郡本遺跡群（第17次）・稲荷台遺跡（N地点）・郡本遺跡群（第20次）・郡本遺跡群（第21次）である。したがって、これ以外の遺跡の図中に示す座標値（平面直角座標第Ⅸ系・日本測地系）及び北方位は、地形図等から求めたもので厳密なものではない。また、各遺跡全体図中には可能な限り世界測地系変換座標を記した。水準については、近隣の既知点より求めて使用した。
- 6 能満分区遺跡群（貝殻塚地区）は、前年度の調査であるが年度末であったため今年度の整理・報告とした。また本年度は、大厩遺跡群（一心原句地区・第2地点）（調査コードセ523）の調査も実施したが（平成26年2月24日～2月28日、確認調査22㎡／220.67㎡）、整理期間がとれないため来年度の整理報告とする。
- 7 遺跡の掲載順については、同一遺跡の別地点調査が多かったため、これらをまとめるかたちをとった。

本文目次

1 調査遺跡の位置	1	8 郡本遺跡群 (第19次)	31
2 能満分区遺跡群 (貝殻塚地区)	4	9 郡本遺跡群 (第20次)	31
3 大厩遺跡群 (一心原句地区)	13	10 郡本遺跡群 (第21次)	34
4 椎津向原遺跡 (第2地点)	13	11 稲荷台遺跡 (L-2地点)	37
5 市原城跡 (門前地区・第2地点)	18	12 稲荷台遺跡 (L-3地点)	40
6 郡本遺跡群 (第17次)	21	13 稲荷台遺跡 (N地点)	42
7 郡本遺跡群 (第18次)	31		

挿図目次

第1図 調査遺跡の位置	1
第2図 市原城跡調査地点の周辺地形図	2
第3図 郡本遺跡群・稲荷台遺跡調査地点の周辺地形図	3
第4図 能満分区貝塚貝層分布範囲 (左) と能満分区遺跡群 (貝殻塚地区) 調査範囲 (右)	5
第5図 能満分区遺跡群 (貝殻塚地区) 調査区全体図	5
第6図 能満分区遺跡群 (貝殻塚地区) 貝塚部分実測図	6
第7図 能満分区遺跡群 (貝殻塚地区) 出土遺物実測図1	7
第8図 能満分区遺跡群 (貝殻塚地区) 出土遺物実測図2	8
第9図 能満分区遺跡群 (貝殻塚地区) 出土遺物実測図3	9
第10図 能満分区遺跡群 (貝殻塚地区) 出土遺物実測図4	10
第11図 能満分区遺跡群 (貝殻塚地区) 出土遺物実測図5	11
第12図 能満分区遺跡群 (貝殻塚地区) 貝層出土ハマグリのサイズ	11
第13図 大厩遺跡群 (一心原句地区) 周辺地形図・調査区全体図	12
第14図 大厩遺跡群 (一心原句地区) 出土遺物実測図	13
第15図 椎津向原遺跡 (第2地点) 周辺地形図・調査区全体図	14
第16図 椎津向原遺跡 (第2地点) 調査トレンチ土層断面図	15
第17図 椎津向原遺跡 (第2地点) 出土遺物実測図1	16
第18図 椎津向原遺跡 (第2地点) 出土遺物実測図2	17
第19図 椎津向原遺跡 (第2地点) 出土遺物実測図3	18
第20図 市原城跡 (門前地区・第2地点) 調査区全体図・土層断面図	19
第21図 市原城跡 (門前地区・第2地点) 出土遺物実測図	20
第22図 郡本遺跡群 (第17次) 調査区全体図・土層断面図	22
第23図 郡本遺跡群 (第17次) 出土遺物実測図1	25
第24図 郡本遺跡群 (第17次) 出土遺物実測図2	26
第25図 郡本遺跡群 (第17次) 出土遺物実測図3	27
第26図 郡本遺跡群 (第17次) 出土遺物実測図4	28
第27図 郡本遺跡群 (第17次) 出土遺物実測図5	29
第28図 郡本遺跡群 (第17次) 貝層出土ハマグリのサイズ	30
第29図 郡本遺跡群 (第18次) 調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図	32

第30図	郡本遺跡群（第19次）調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図	33
第31図	郡本遺跡群（第20次）調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図	34
第32図	郡本遺跡群（第21次）調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図1	35
第33図	郡本遺跡群（第21次）出土遺物実測図2	36
第34図	稲荷台遺跡（L-2・L-3地点）調査区配置図	37
第35図	稲荷台遺跡（L-2地点）調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図	38
第36図	稲荷台遺跡（L-3地点）調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図1	39
第37図	稲荷台遺跡（L-3地点）出土遺物実測図2	40
第38図	稲荷台遺跡（N地点）周辺地形図・調査区全体図	41
第39図	稲荷台遺跡（N地点）出土遺物実測図	42

表 目 次

第1表	能満分区遺跡群（貝殻塚地区）貝層内容物組成	11
第2表	能満分区遺跡群（貝殻塚地区）貝類組成	11
第3表	郡本遺跡群（第17次）貝層内容物組成	30
第4表	郡本遺跡群（第17次）貝類組成	30
第5表	能満分区遺跡群（貝殻塚地区）出土土器集計	43
第6表	出土遺物属性表1	43
第7表	出土遺物属性表2	50

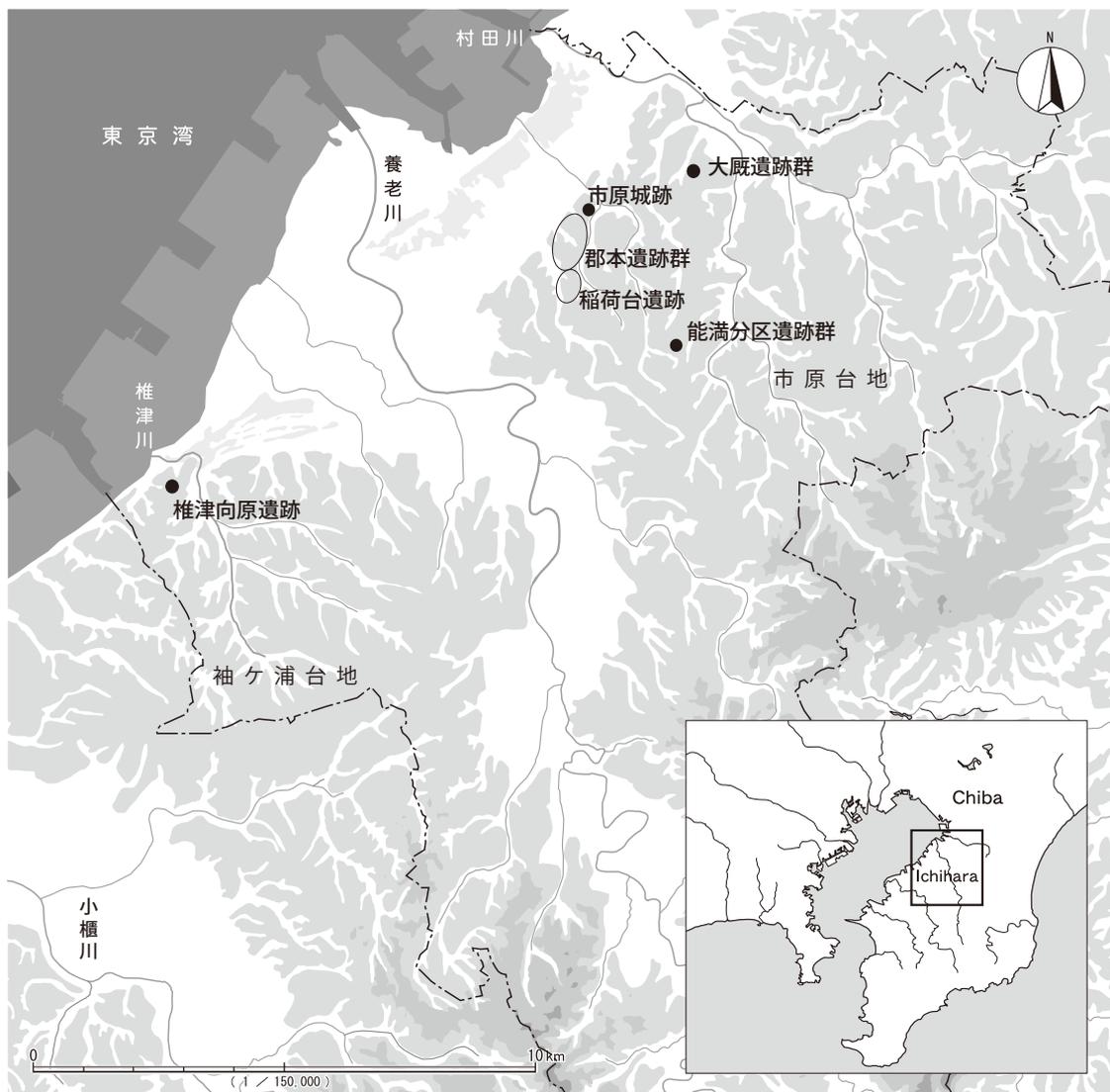
図 版 目 次

図版1	能満分区遺跡群（貝殻塚地区）調査
図版2	大厩遺跡群（一心原句地区）・椎津向原遺跡（第2地点）調査
図版3	椎津向原遺跡（第2地点）・市原城跡（門前地区・第2地点）調査
図版4	郡本遺跡群（第17次）調査
図版5	郡本遺跡群（第18次）・郡本遺跡群（第19次）調査
図版6	郡本遺跡群（第20次）・郡本遺跡群（第21次）調査
図版7	稲荷台遺跡（L-2地点）・稲荷台遺跡（L-3地点）調査
図版8	稲荷台遺跡（N地点）調査、能満分区遺跡群（貝殻塚地区）・市原城跡（門前地区・第2地点）・郡本遺跡群（第17次）出土遺物
図版9	能満分区遺跡群（貝殻塚地区）・椎津向原遺跡（第2地点）・市原城跡（門前地区・第2地点）出土遺物
図版10	郡本遺跡群（第17次）・郡本遺跡群（第19次）・郡本遺跡群（第21次）・稲荷台遺跡（L-3地点）出土遺物
図版11	能満分区遺跡群（貝殻塚地区）・大厩遺跡群（一心原句地区）・椎津向原遺跡（第2地点）・市原城跡（門前地区・第2地点）出土遺物
図版12	郡本遺跡群（第17次）・郡本遺跡群（第18次）・郡本遺跡群（第19次）・郡本遺跡群（第20次）・郡本遺跡群（第21次）・稲荷台遺跡（L-2地点）・稲荷台遺跡（L-3地点）・稲荷台遺跡（N地点）出土遺物

1 調査遺跡の位置

平成25年度は、郡本遺跡群（第17次）・郡本遺跡群（第18次）・大厩遺跡群（一心原句地区）・椎津向原遺跡（第2地点）・稲荷台遺跡（L-2地点）・稲荷台遺跡（N地点）・郡本遺跡群（第19次）・稲荷台遺跡（L-3地点）・市原城跡（門前地区・第2地点）・郡本遺跡群（第20次）・郡本遺跡群（第21次）の11箇所を発掘調査・整理した。今回は、これらに加え、平成24年度末に調査した能満分区遺跡群（貝殻塚地区）を掲載する。

今回掲載の調査遺跡はすべて市内北部に位置する。しかも、市原城跡が1地点、郡本遺跡群が5地点、稲荷台遺跡が3地点と、いわゆる市原台地上に立地する遺跡がほとんどであった（第1図）。調査原因はほとんどが個人住宅の建設に伴うもので、住宅の建て替えに起因するものも多い。当該地区には古い住宅地・家屋が多いため、今後も同様の調査が続く可能性が高い。国府・郡家推定地として重要な地域であるが、こういった調査を重ねることで徐々にその内容も明らかになってくるだろう。これ以外では、大厩・椎津・能満とやはりこれまで付近に調査例があり、遺構・遺物が数多く検出されている。今回の調査事例によって、遺跡の広がりや内容についての実態が補足されることになった。



第1図 調査遺跡の位置

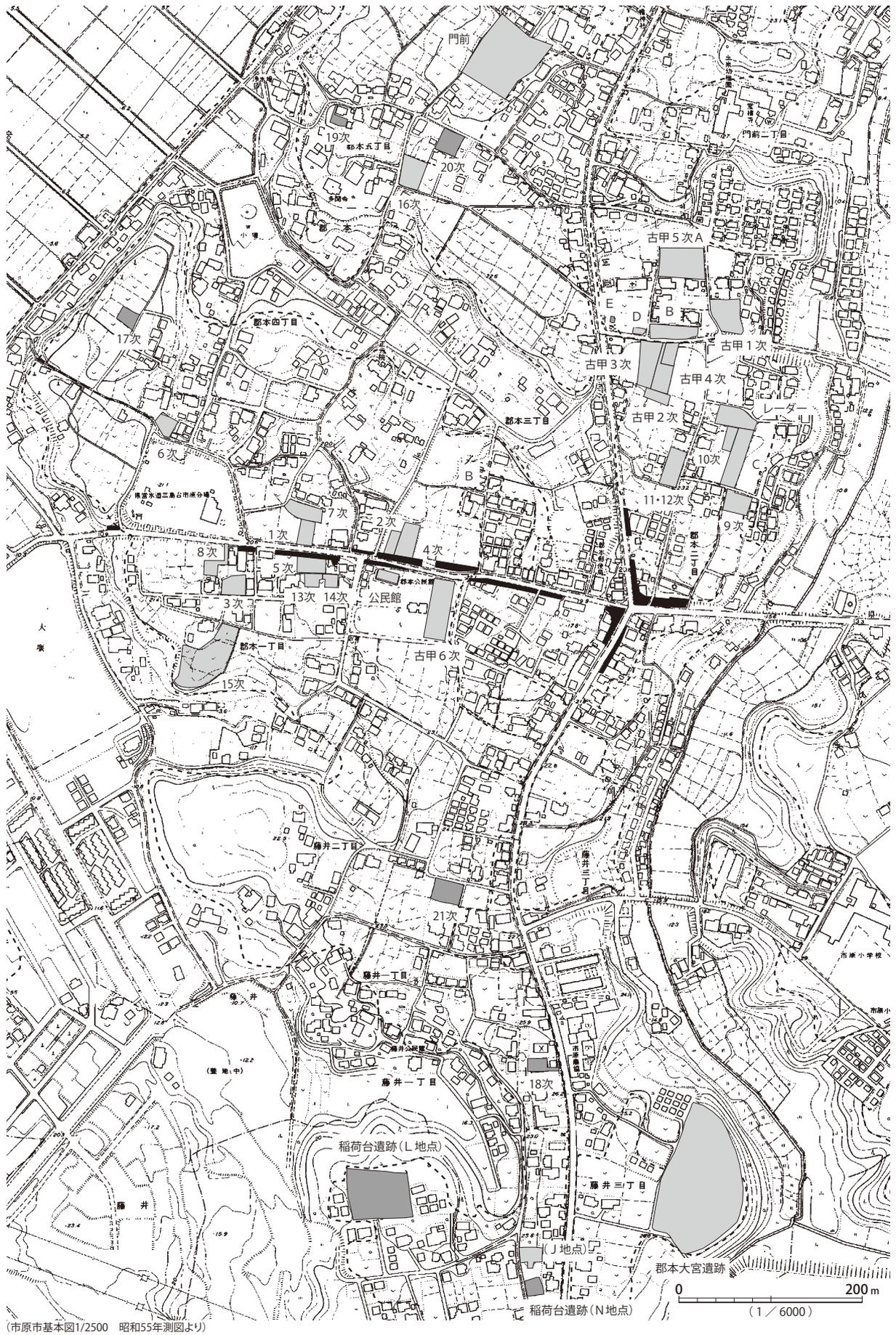
市原城跡と門前地区第2地点・郡本遺跡群と第17次～21次調査（第2・3図）

市原城跡・郡本遺跡群は、東京湾旧海岸線より2 km 東に入った通称「市原台地」といわれる標高20～25m 前後の台地に位置する。西に東京湾の沖積地である海岸平野を望み、北西側から入り込む小谷によって樹枝状に開析された舌状の台地形を呈する。これまで、北端部の市原地区から門前・郡本を経て藤井地区にわたる広範囲において、住宅等の建築に伴う小規模調査が数次にわたり行われてきた。その成果から、弥生時代中期から奈良・平安時代を経て、中世に至る遺構が展開する遺跡とみられる。その中でも、奈良・平安期の遺構は濃密に出土しており、現在は、各調査地点における遺構の状況・規模によって、官衙エリア及び官衙周辺エリアの絞り込みが行われようとしている段階である。

市原地区にある初期寺院である光善寺廃寺周辺で行われた調査では、遺跡を縦貫する国道297号の西側で、市原城跡（辻地区）として調査が行われ、規模の極めて大きな掘立柱建物跡の柱穴が検出されている。一方、その東側は市原城跡（門前地区）として調査が行われているが、通常規模の掘立柱建物跡や竪穴建物跡が混在しており、西側の辻地区とは遺構の内容・性格に違いがあることが想定される。また、これまであまり調査事例のなかった稲荷台遺跡へと続く郡本遺跡群の南側である藤井地区において郡本遺跡群（第18・21次）として調査が行われ、本遺跡を縦走する古代道のルートの絞り込みや、竪穴建物跡が展開しているエリアといった遺跡情報が明らかにされた。本遺跡一帯は、古くより開発が行われ、民家が集中している地帯である。このことは、中世以前より連続と続く土地利用があったことを予感させるが、今後も、住宅建築等小規模開発に伴う発掘調査が発生することが考えられ、それらを通して、官衙エリアの特定に少しでも近づくことが求められる。



第2図 市原城跡調査地点の周辺地形図



(市原市基本図1/2500 昭和55年測図より)

第3図 郡本遺跡群・稲荷台遺跡調査地点の周辺地形図

2 能満分区遺跡群（貝殻塚地区）

遺跡の位置 能満分区遺跡群は、いわゆる市原台地の南東側に南北1.5kmほどにわたって広がる遺跡である。市道166号線の改良工事に伴って発掘調査されたことがあり、縄文時代中期末から晩期までの遺構や遺物を主とすることがわかっている。北端部には能満上小貝塚が、南端部には能満分区貝塚が、そしてその南には縄文中期の烏掘込貝塚がある。

調査概要 今回の調査区は、能満分区貝塚の貝層分布範囲の端部に当たることから、貝殻塚地区と呼称した（第4図）。対象地内に9箇所のトレンチを設定し、貝層の広がりや遺構分布状況、土層の観察などをおこなった（第5図）。

遺構と遺物 遺構としては、1トレンチ内で4本の溝を確認したが時期は明確でなかった。3・4・6・7トレンチ部分では、遺構・遺物が極めて希薄であった。調査区の南端では貝層を確認、これはかつて分布が確認された能満分区貝塚の貝層範囲とほぼ一致する。貝層は、調査区南端の1トレンチ・2トレンチ・5トレンチで検出された（第6図）。竪穴住居跡や小竪穴内部に形成された比較的貝の密度が高い貝層と、その周囲に広がる密度の低い貝層からなる。竪穴住居跡は1トレンチと2トレンチ内で各1軒を確認、いずれも中央に炉跡とみられる焼土があり、規模は5～6mほどと推定される。さらにその周辺には、貝層をほとんど伴わないが土器・石器等の遺物を多く含む土層が広がる。遺物は、トレンチごとに、包含層・貝層で区分し、2トレンチでは遺構内の貝層は第1・第2と区別、遺構外の貝層は上部貝層・下部貝層と区別して取り上げた。第5表に出土土器の内訳を示した。その傾向としては、遺構内貝層では称名寺式・堀之内1式を主体とし、その周囲の遺構外貝層・遺物包含層では加曾利B式・安行式の比率が高い。第7～10図に各トレンチの出土土器を示した。第11図には土製品、石器・石製品、貝製品を示した。102はミニチュア土器、103～105は土器片錘、106・107は周縁を研磨した土器片、108は有孔円版、109は磨石、110は石皿、111は大型の石棒片である。

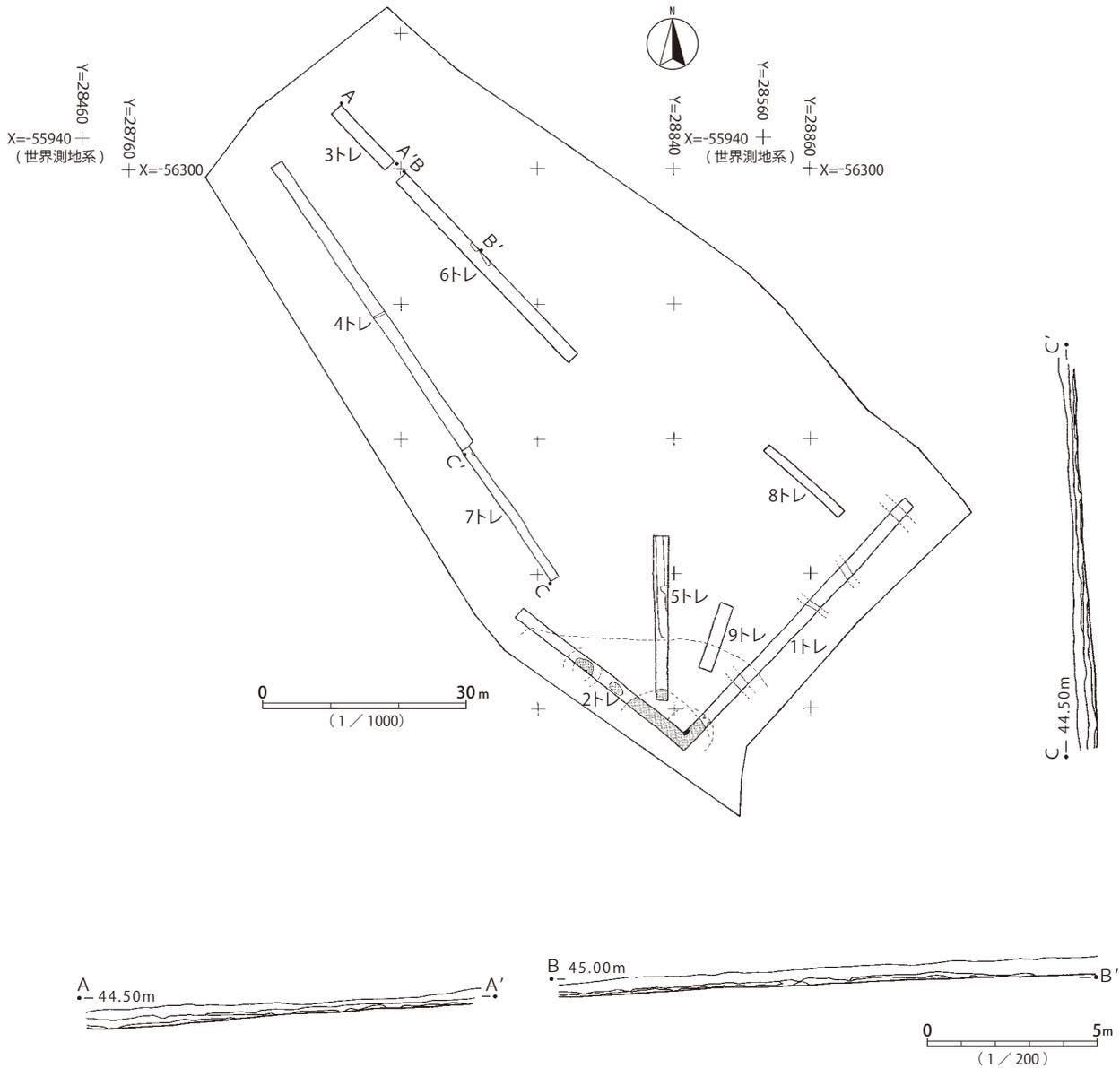
貝層の分析 貝層は、1トレンチ・2トレンチ内のものについて、1m画の小区を設けて全て採集した。このうち遺構内に堆積した比較的密度の高い貝層を抽出し、全体の17.4%にあたる6箇所のサンプルについて詳細に分析した。フルイ上水洗後総重量は24,700g、平均混土率は76.4%、貝殻の平均破碎率は65.6%である。貝層中からは、クロダイ・ヘダイ・ボラ・サメ・エイなどの大型魚やマイワシ・マアジ・ウナギなど小型魚の骨、微小貝も多く検出された（第1表）。また、イモガイの殻頂部を切断した玉、ヤカドツノガイを切断した管玉も出土した（第11図112～115）。貝類は、いずれの箇所もイボキサゴがその80～90%を占め、ハマグリが10%前後でこれに次ぐという組成であった（第2表）。ハマグリは、30～35mmがその主体であった（第12図）。

参考文献

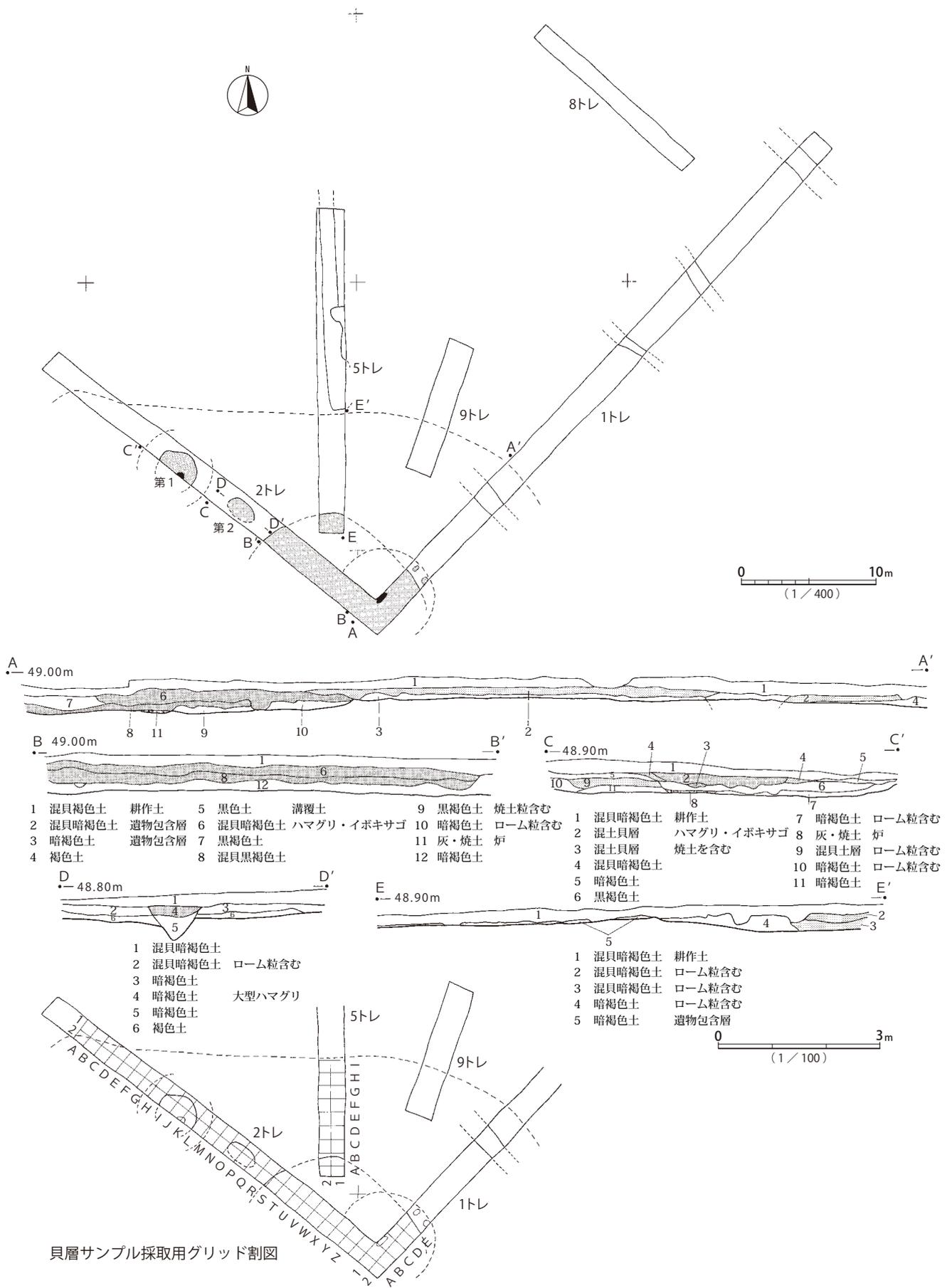
- 財団法人市原市文化財センター1986「烏掘込貝塚」『市原市文化財センター年報 昭和60年度』
- 財団法人市原市文化財センター1994「能満分区遺跡群」『市原市文化財センター年報 平成元年度』
- 財団法人市原市文化財センター1994「能満分区遺跡群」『市原市文化財センター年報 平成2年度』
- 財団法人市原市文化財センター1994「能満分区貝塚」『市原市文化財センター年報 平成元年度』
- 財団法人市原市文化財センター1995「能満上小貝塚」『財団法人市原市文化財センター調査報告書』第55集



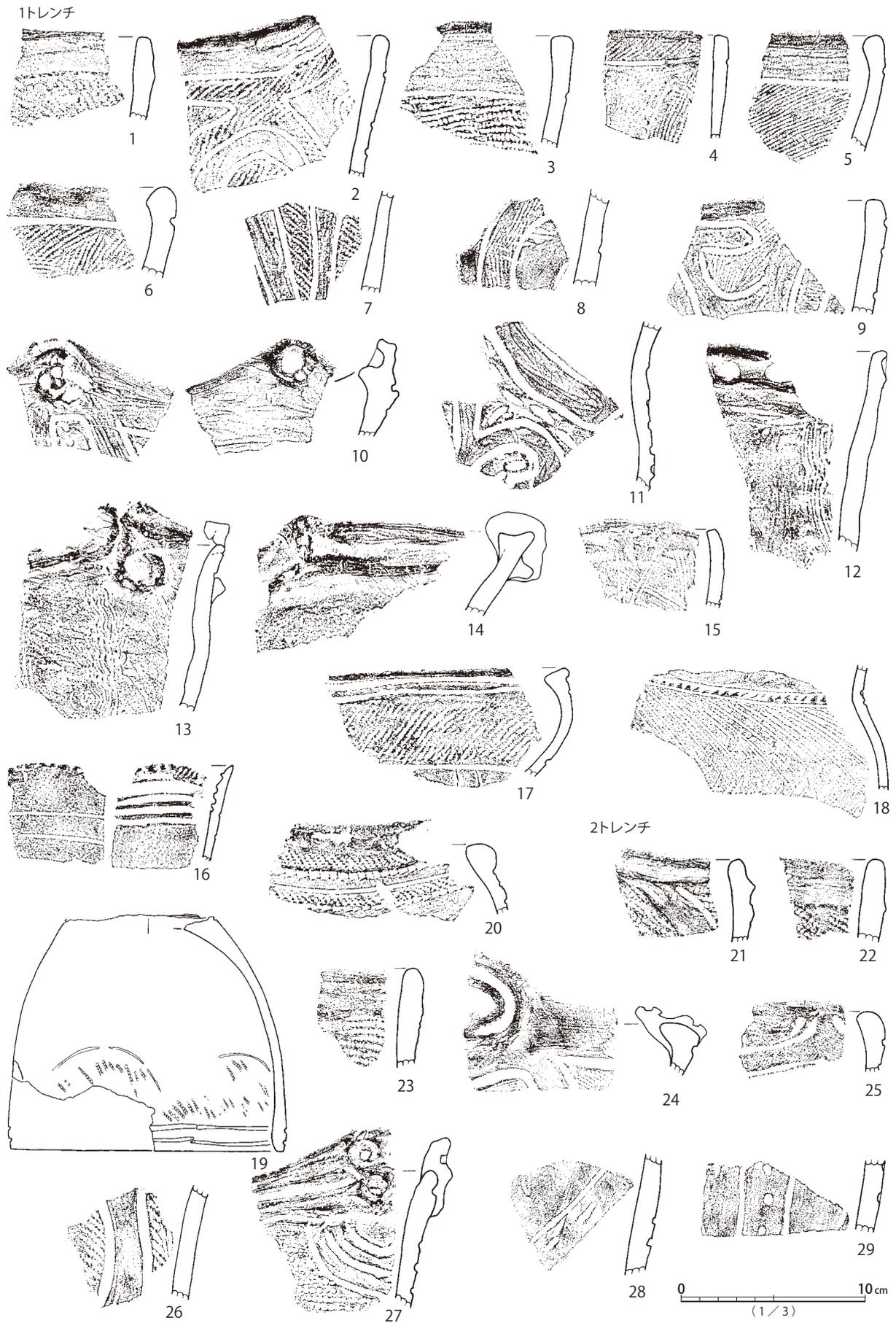
第4図 能満分区貝塚貝層分布範囲（左）と能満分区遺跡群（貝殻塚地区）調査範囲（右）



第5図 能満分区遺跡群（貝殻塚地区）調査区全体図

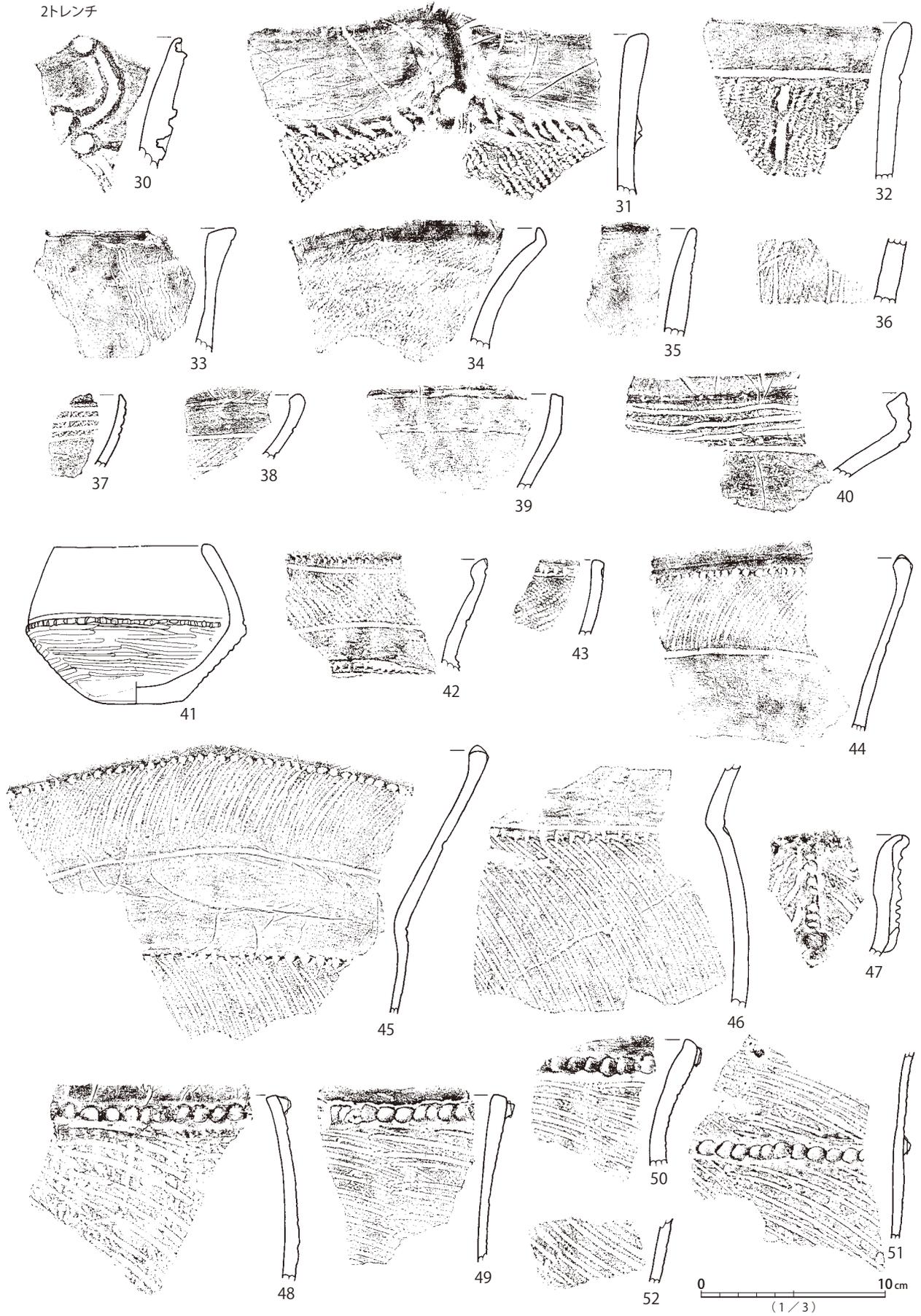


第6図 能満分区遺跡群（貝殻塚地区）貝塚部分実測図



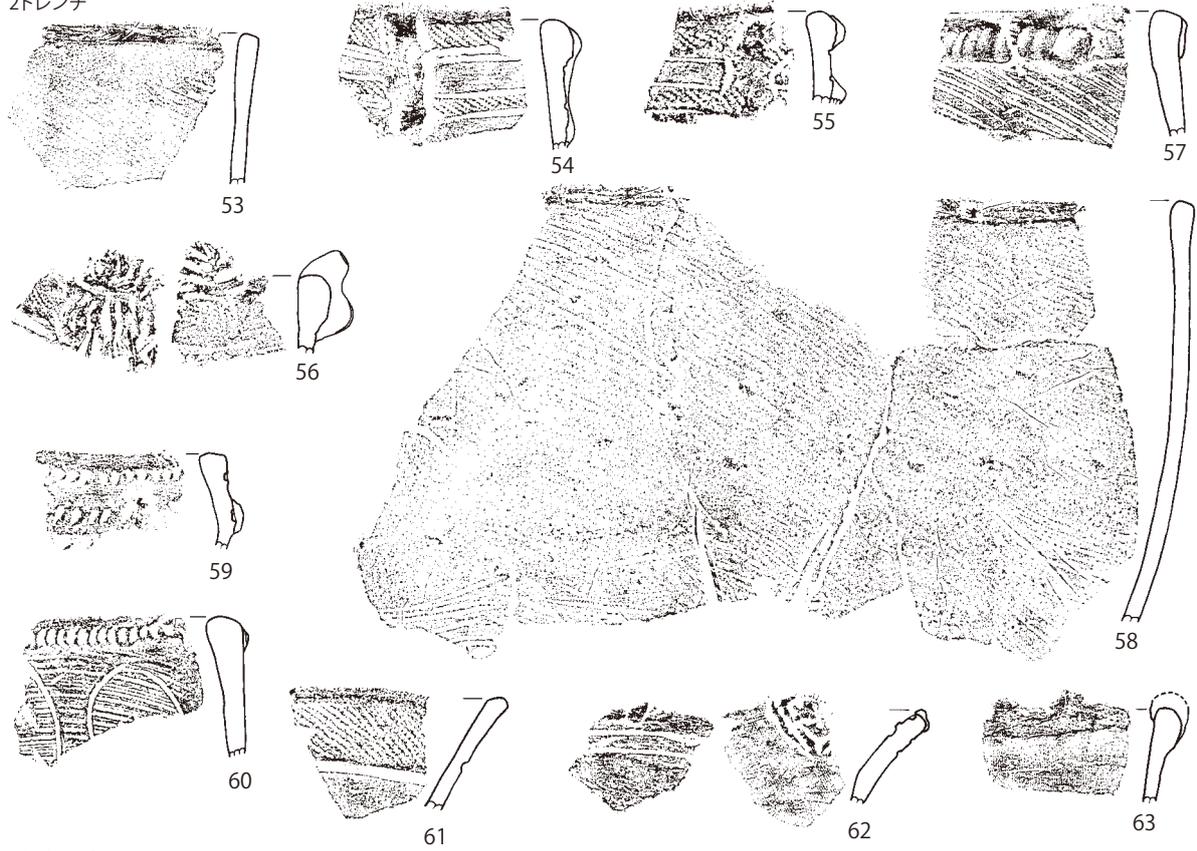
第7図 能満分区遺跡群（貝殻塚地区）出土遺物実測図1

2トレンチ

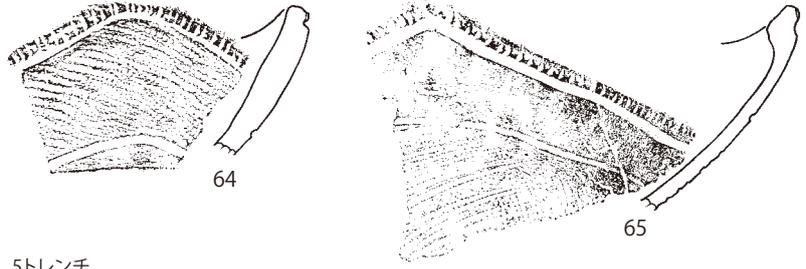


第8図 能満分区遺跡群（貝殻塚地区）出土遺物実測図2

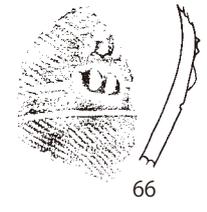
2トレンチ



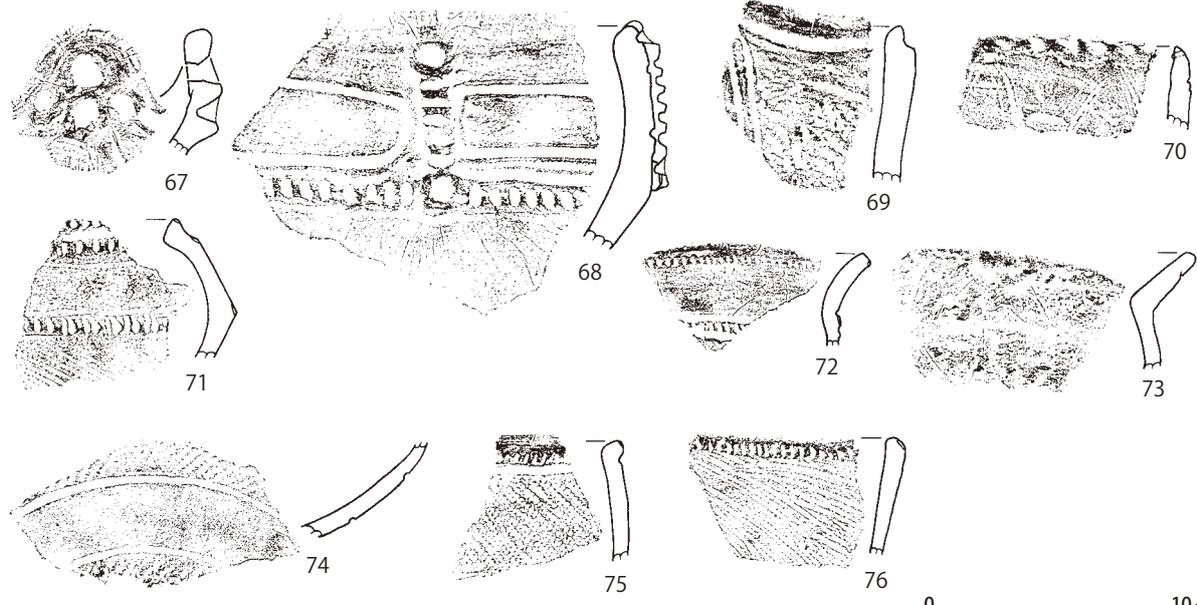
3トレンチ



4トレンチ



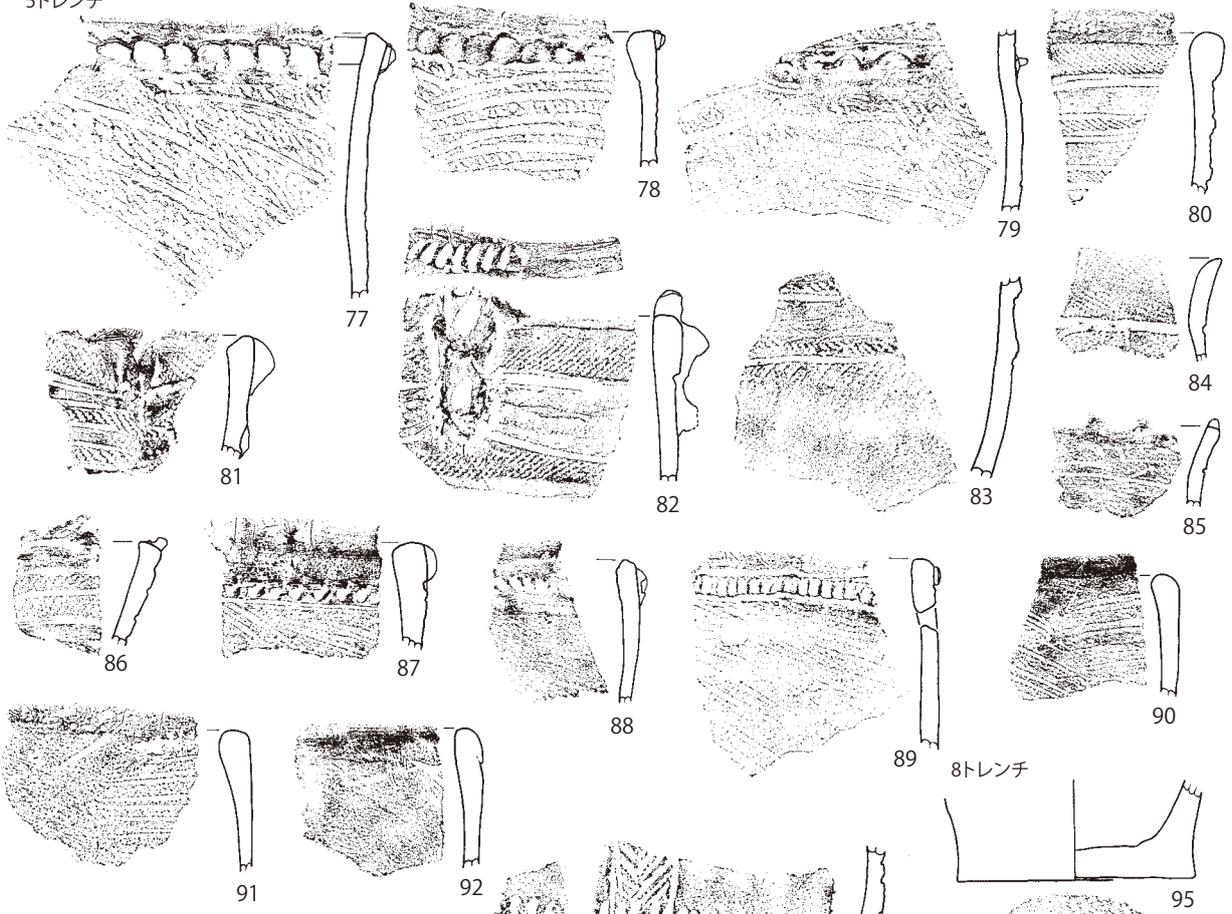
5トレンチ



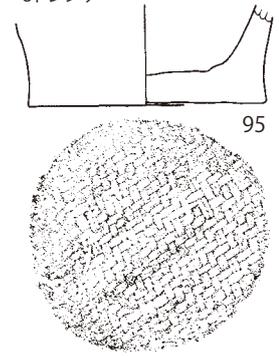
0 10cm
(1/3)

第9図 能満分区遺跡群（貝殻塚地区）出土遺物実測図3

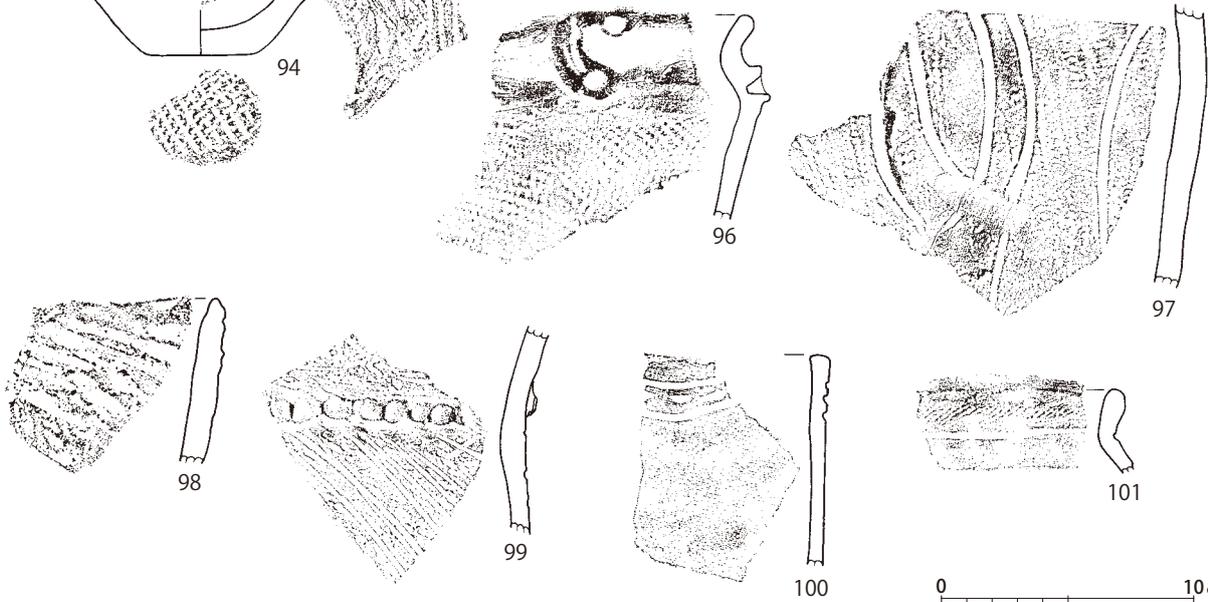
5トレンチ



8トレンチ

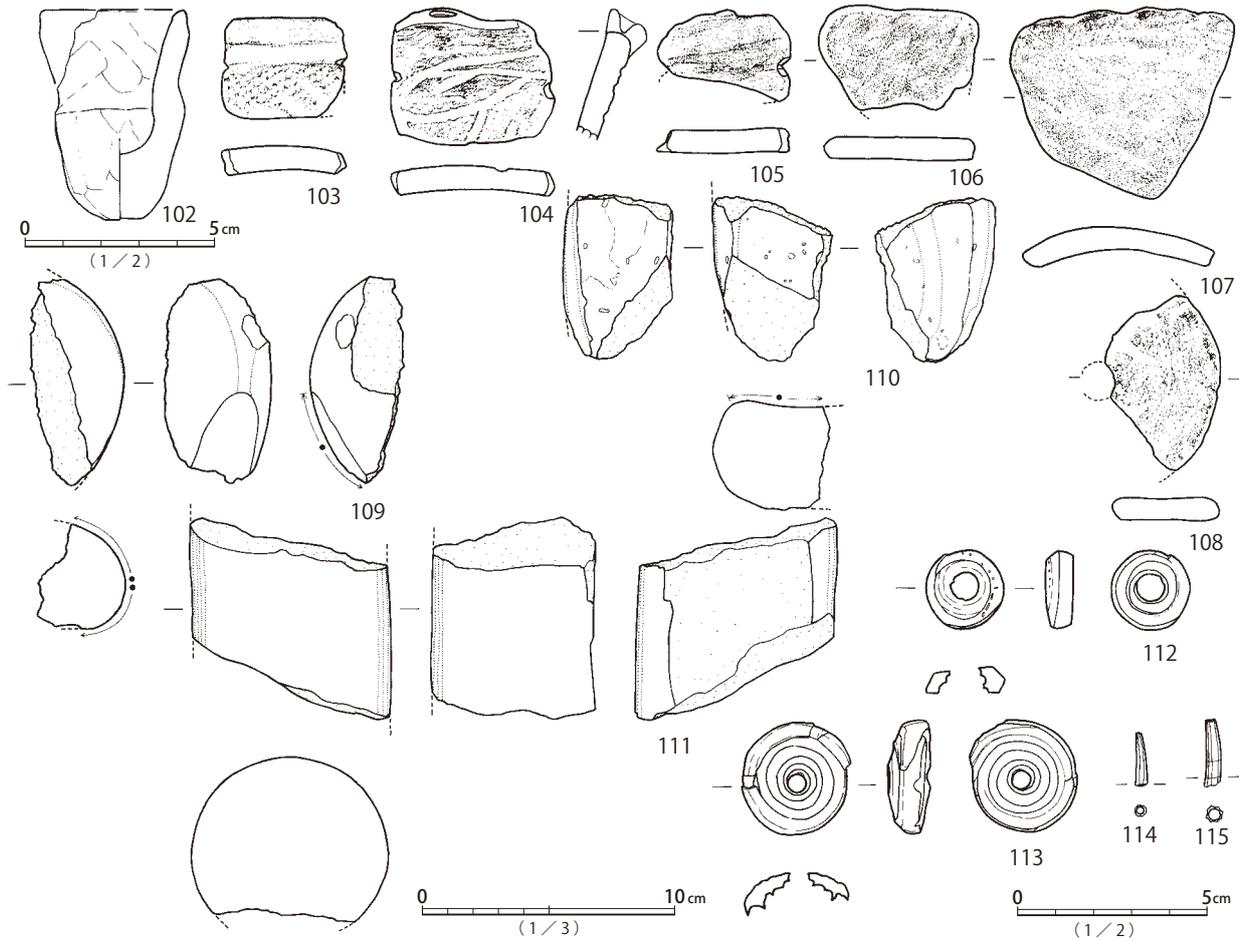


9トレンチ



0 10cm
(1/3)

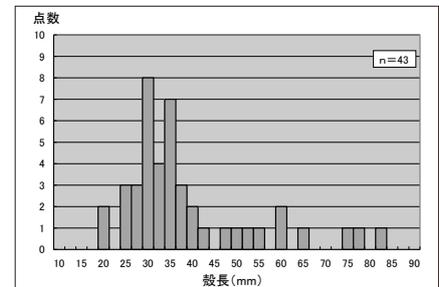
第10図 能満分区遺跡群（貝殻塚地区）出土遺物実測図4



第11図 能満分区遺跡群(貝殻塚地区) 出土遺物実測図5

第1表 能満分区遺跡群(貝殻塚地区) 貝層内容物組成

地区	地点	層位	サンプルNo.	水洗前重量(g)	フルイ後残留物重量(g)				土壌重量(g)	混土率(%)	貝殻破砕率(%)
					10mm	4mm	1mm	計			
1トレ	A-1	--	①	15,550	1,503	1,641	1,532	4,676	10,874	69.9	69.9
1トレ	B-1	--	①	12,600	1,326	1,368	1,137	3,831	8,769	69.6	68.5
1トレ	C-1	--	③	15,950	846	1,050	1,165	3,061	12,889	80.8	75.3
1トレ	D-1	--	①	14,700	1,569	1,315	1,509	4,393	10,307	70.1	59.4
1トレ	E-1	--	⑤	13,800	621	710	979	2,310	11,490	83.3	76.0
2トレ	第1	--	①	17,350	1,782	866	135	2,783	14,567	84.0	37.3
2トレ	第2	--	②	16,150	1,130	1,495	1,021	3,646	12,504	77.4	73.3

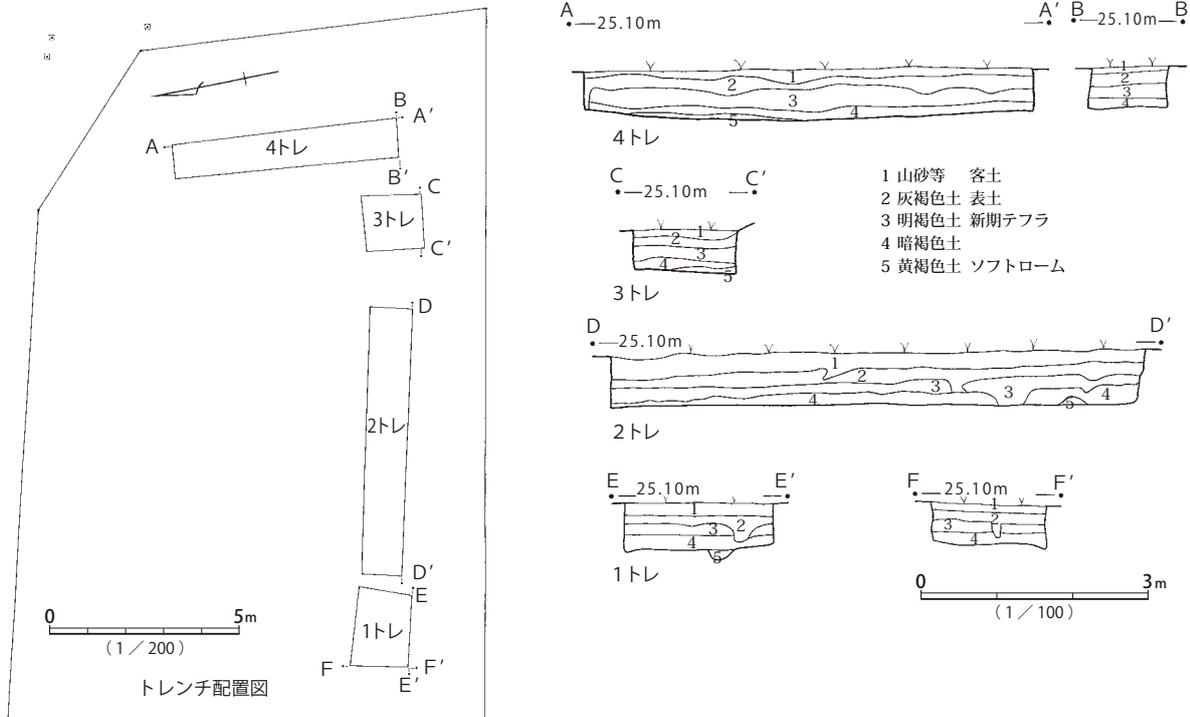


第12図 能満分区遺跡群(貝殻塚地区) 貝層出土ハマグリサイズの分布

地区	地点	層位	土器		フレーク・チップ		貝製品		貝殻重量(g)	蟹骨重量(g)	魚骨重量(g)	フジツボ		磯	微小貝		炭化物重量(g)		
			点数(個)	重量(g)	点数(個)	重量(g)	種類	点数(個)				重量(g)	点数(個)		重量(g)	点数(個)		重量(g)	重量(g)
A-1	--	①	13	48.9	1	0.3	ツノガイ	2	0.1	4,618.7	6.1	1.0	1	0.1	7	0.2	72	0.2	0.4
B-1	--	①	32	23.9			イモガイ	1	2.8	3,803.0	1.2	+							0.1
C-1	--	③	22	67.7					2,989.0	3.7	0.3								0.3
D-1	--	①	36	61.2					4,323.3	8.2	0.1								0.2
E-1	--	⑤	90	73.8					2,234.9	0.9	0.1								0.3
第1	--	①	11	97.0					2,680.3	4.8	1.5						28	0.4	0.5
第2	--	②	29	46.3					3,589.7	6.7	1.0	3	+	1	0.6	25	0.3	1.4	

第2表 能満分区遺跡群(貝殻塚地区) 貝類組成

地区	地点	層位	サンプルNo.	イボキサゴ	ウミナ	ツメタガイ	アカニシ	アラムシロ	サルボウガイ	マガキ	アサリ	オキシジミ	カガミガイ	ハマグリ	シオフキ	オオノガイ	計
1トレ	A-1	--	①	1,954 89.9%	11 0.5%	10 0.5%	0.0%	13 0.6%	0.0%	5 0.2%	37 1.7%	1 0.05%	0.0%	98 4.5%	43 2.0%	2 0.1%	2,174
1トレ	B-1	--	①	1,207 84.3%	8 0.6%	4 0.3%	2 0.1%	10 0.7%	1 0.1%	4 0.3%	23 1.6%	2 0.14%	2 0.1%	149 10.4%	18 1.3%	1 0.1%	1,431
1トレ	C-1	--	③	1,200 89.7%	2 0.1%	6 0.4%	3 0.2%	3 0.2%	1 0.1%	4 0.3%	1 0.07%	1 0.07%	1 0.1%	111 8.3%	5 0.4%	1 0.1%	1,338
1トレ	D-1	--	①	1,322 82.6%	12 0.8%	9 0.6%	0.0%	3 0.2%	0.0%	1 0.0%	7 0.4%	4 0.25%	2 0.1%	227 14.2%	13 0.8%	0.0%	1,600
1トレ	E-1	--	⑤	934 91.7%	1 0.1%	2 0.2%	3 0.3%	2 0.2%	0.0%	2 0.0%	2 0.2%	0.0%	0.0%	73 7.2%	1 0.1%	0.0%	1,018
2トレ	第1	--	①	1,251 82.2%	8 0.5%	6 0.4%	10 0.7%	13 0.9%	0.0%	0.0%	18 1.2%	4 0.26%	1 0.1%	197 13.0%	13 0.9%	0.0%	1,521
2トレ	第2	--	②	978 85.2%	13 1.1%	0.0%	2 0.2%	19 1.7%	0.0%	2 0.2%	15 1.3%	3 0.26%	0.0%	85 7.4%	31 2.7%	0.0%	1,148



第13図 大厩遺跡群（一心原句地区）周辺地形図・調査区全体図

3 大厩遺跡群（一心原句地区）

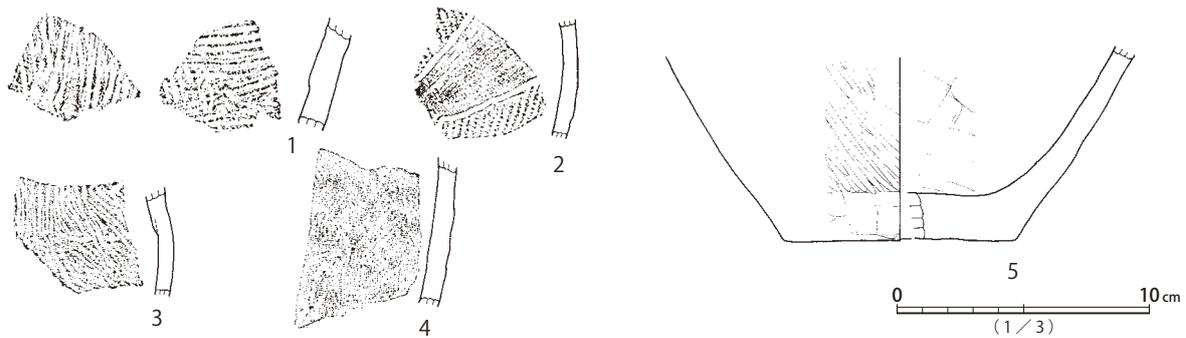
遺跡の位置 大厩遺跡群は村田川中流域左岸の、標高25m前後の市原台地北部に位置する。同じ台地上北先端部に下郷古墳群、すぐ南に鍛冶屋前台遺跡、弁天台遺跡が隣接し、複数の遺跡群を形成している。

調査概要 当遺跡から南東50mには、弥生時代後期から古墳時代中期の集落である大厩鍛冶屋前台遺跡がある。調査は母屋部分を外して、トレンチを4本設定したが（第13図）、今回の調査では遺構は検出されなかった。それらは、濃密な遺構検出のあった隣接遺跡の北西側の集落範囲限界と推測される。

遺構と遺物 遺構はなく、2トレンチローム漸移層に焼土粒子を検出したのみである。遺物は第14図1が縄文早期の条痕文土器、2は縄文後期土器片、3～5は弥生後期～古墳時代前期の甕と壺の土器片である。

参考文献

- (財) 市原市文化財センター1989「市原市大厩弁天台遺跡」『(財) 市原市文化財センター調査報告書』第34集
市原市教育委員会1993「大厩鍛冶屋前台遺跡」『平成4年度 市原市内遺跡発掘調査報告』
千葉県教育委員会1995「市原市菊間古墳群」『千葉県重要古墳群測量調査報告書』



第14図 大厩遺跡群（一心原句地区） 出土遺物実測図

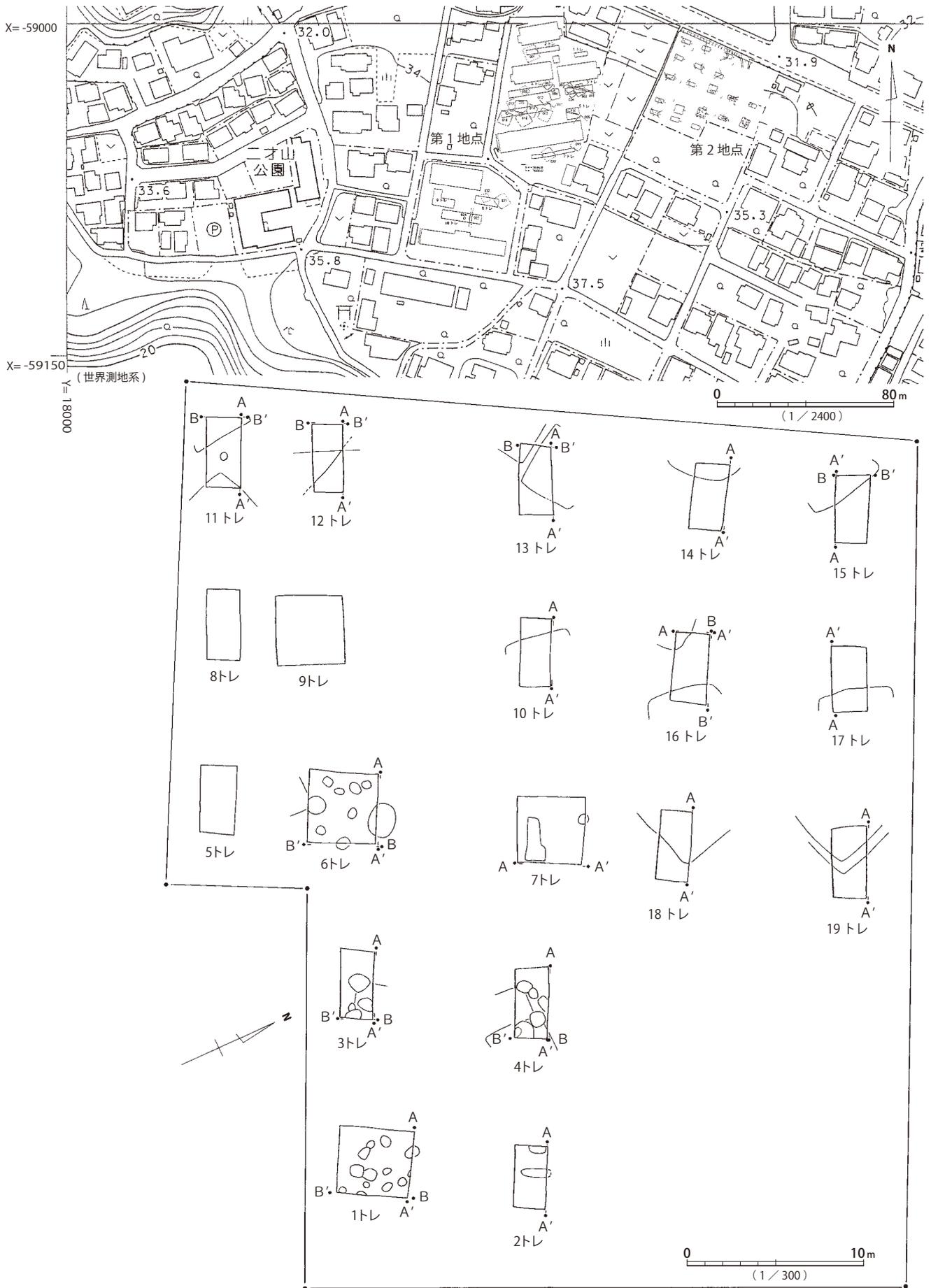
4 椎津向原遺跡（第2地点）

遺跡の位置 椎津川左岸河口に近い、姉崎台地北部の海蝕崖から300～400m入った支谷に挟まれた台地上、標高約34mのやや北方向に傾斜した平坦部にある。第15図上地形図中央の第1地点は、第2地点の西側にあり、古墳時代後期の住居を主に検出しており、第2地点まで集落が東に広がるだろう。第15図全体図第2地点は平安時代住居を7軒検出しており、第1地点まで集落が広がる可能性が高い。

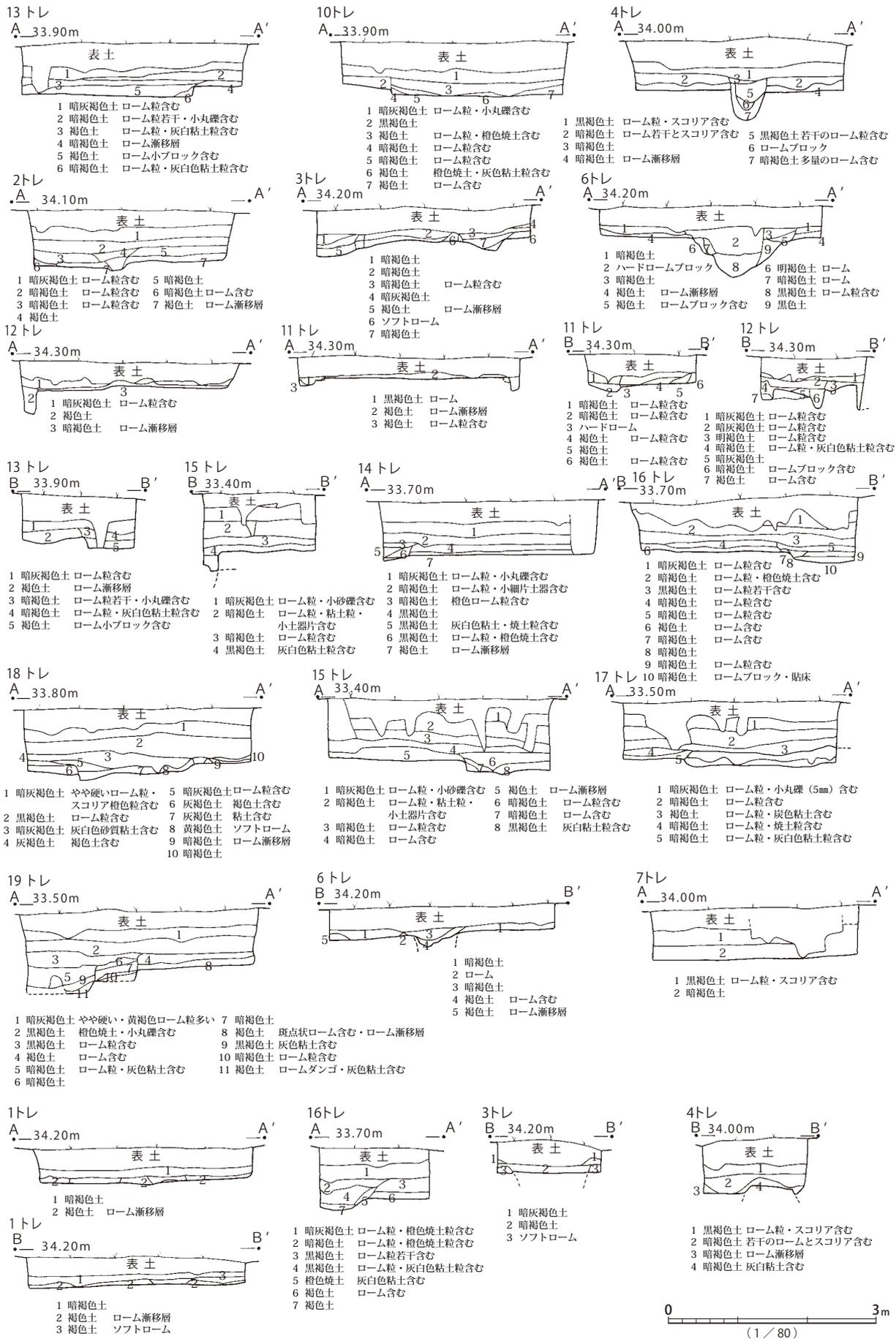
中世遺物は皆無であり、東側近隣の五霊台遺跡等の椎津城跡の関連はなく、南方向の市道八幡椎津線まで、島原遺跡等古墳時代集落が広範囲に広がる様相である。

調査概要 調査対象域全面に遺構が検出された（第15図）。北部は黒色土壌が発達し、竪穴住居の床面はソフトローム直上までに達していないものがある（第16図土層断面図参照）。

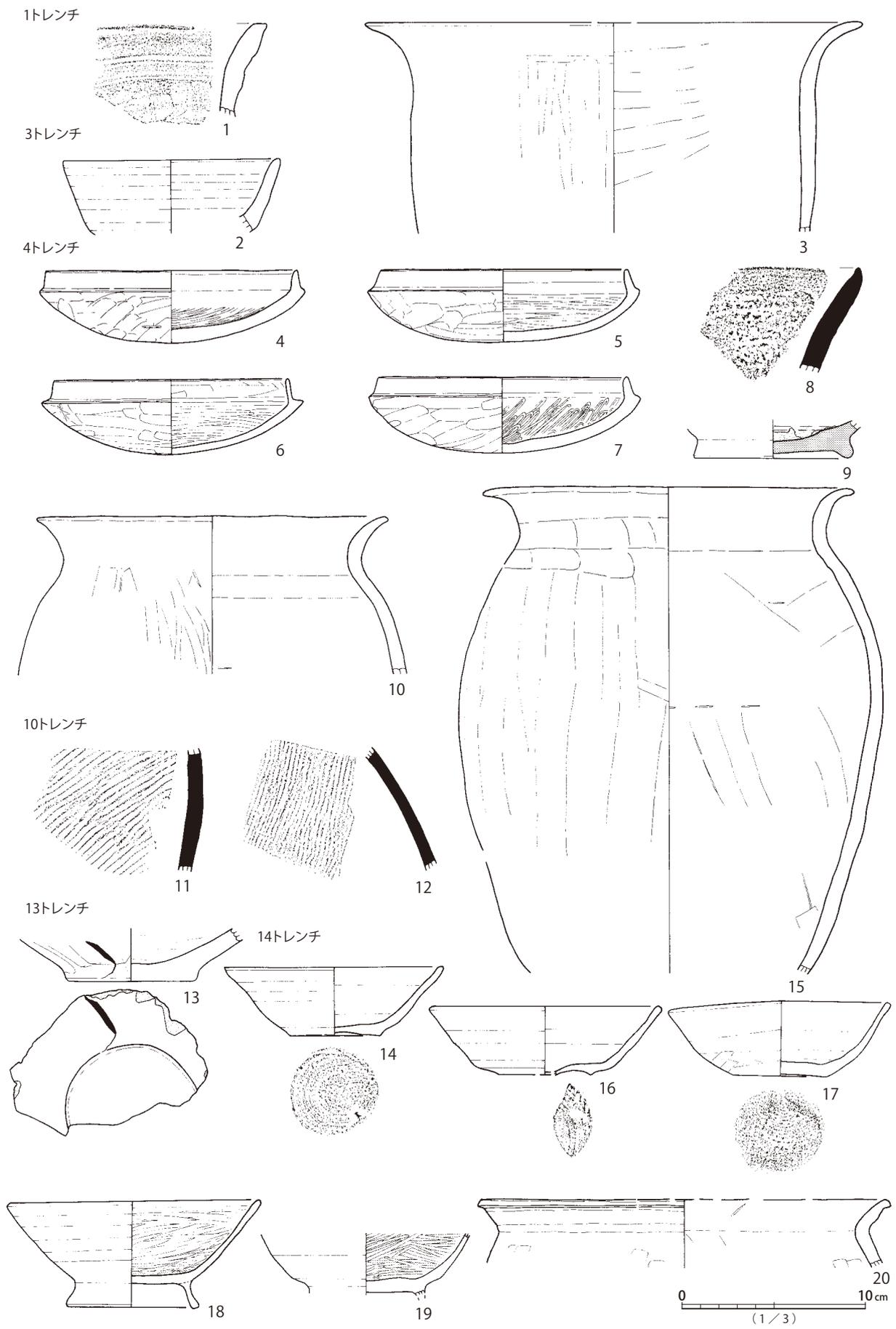
遺構と遺物 確認調査で検出された遺構からは、整理箱で5箱分の遺物が出土している。主なものを第17～19図に示した。住居跡に伴っている遺物は、古墳時代後期6世紀の遺物と、平安時代9～10世紀の土師器と須恵器があり、カマドを有している。掘立柱建物跡が3棟検出されたが、共伴遺物が無く時期が明確でないが、住居跡との新旧関係から古墳時代以降時期と推測される。



第15図 椎津向原遺跡（第2地点）周辺地形図・調査区全体図

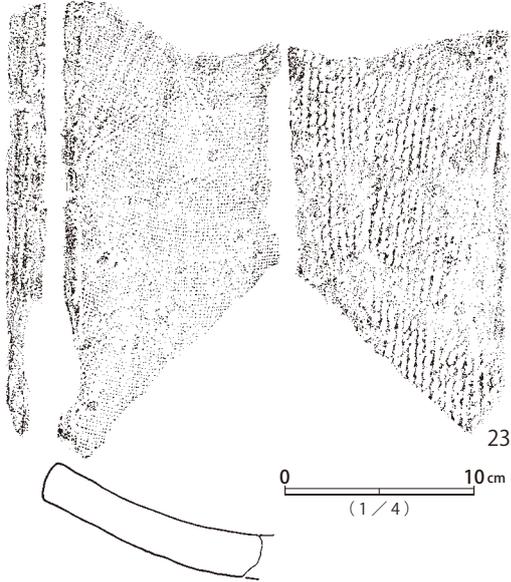
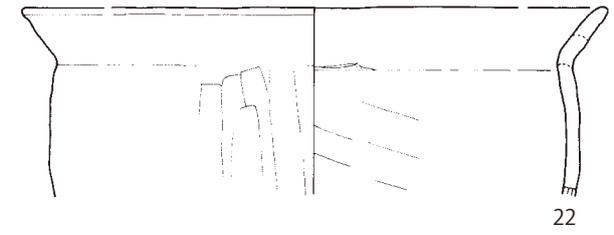
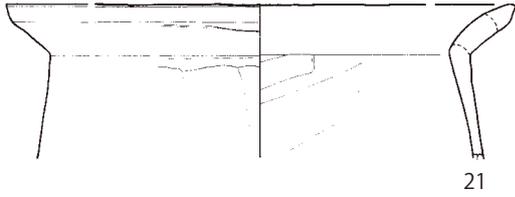


第16図 椎津向原遺跡(第2地点) 調査トレンチ土層断面図



第 17 図 椎津向原遺跡（第 2 地点）出土遺物実測図 1

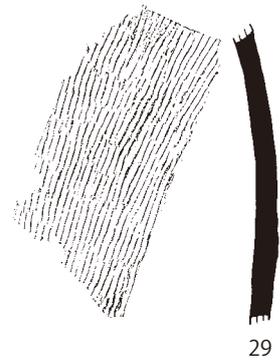
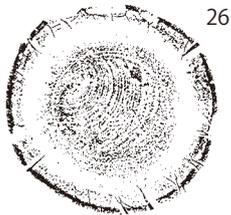
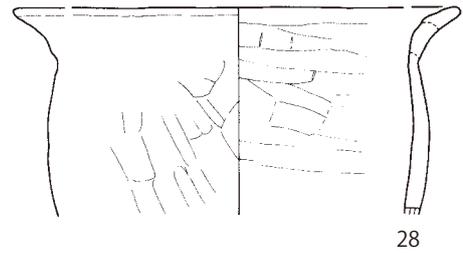
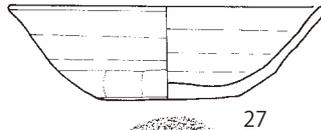
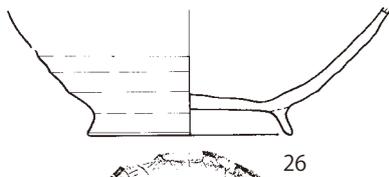
14トレンチ



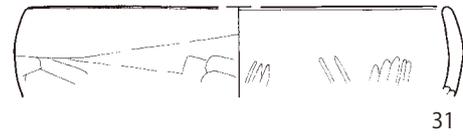
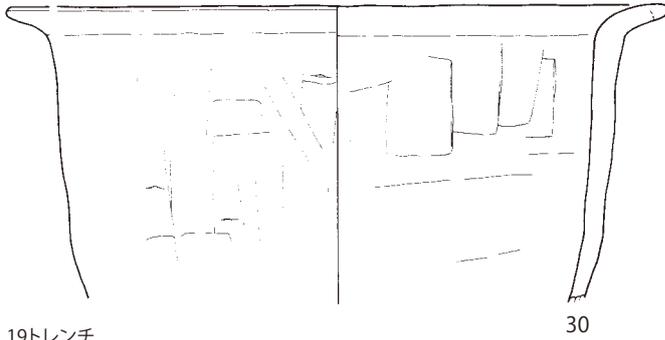
16トレンチ



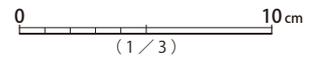
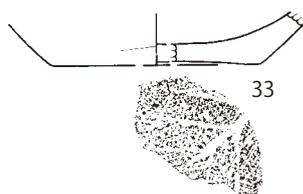
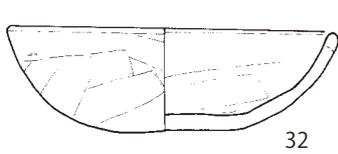
17トレンチ



18トレンチ

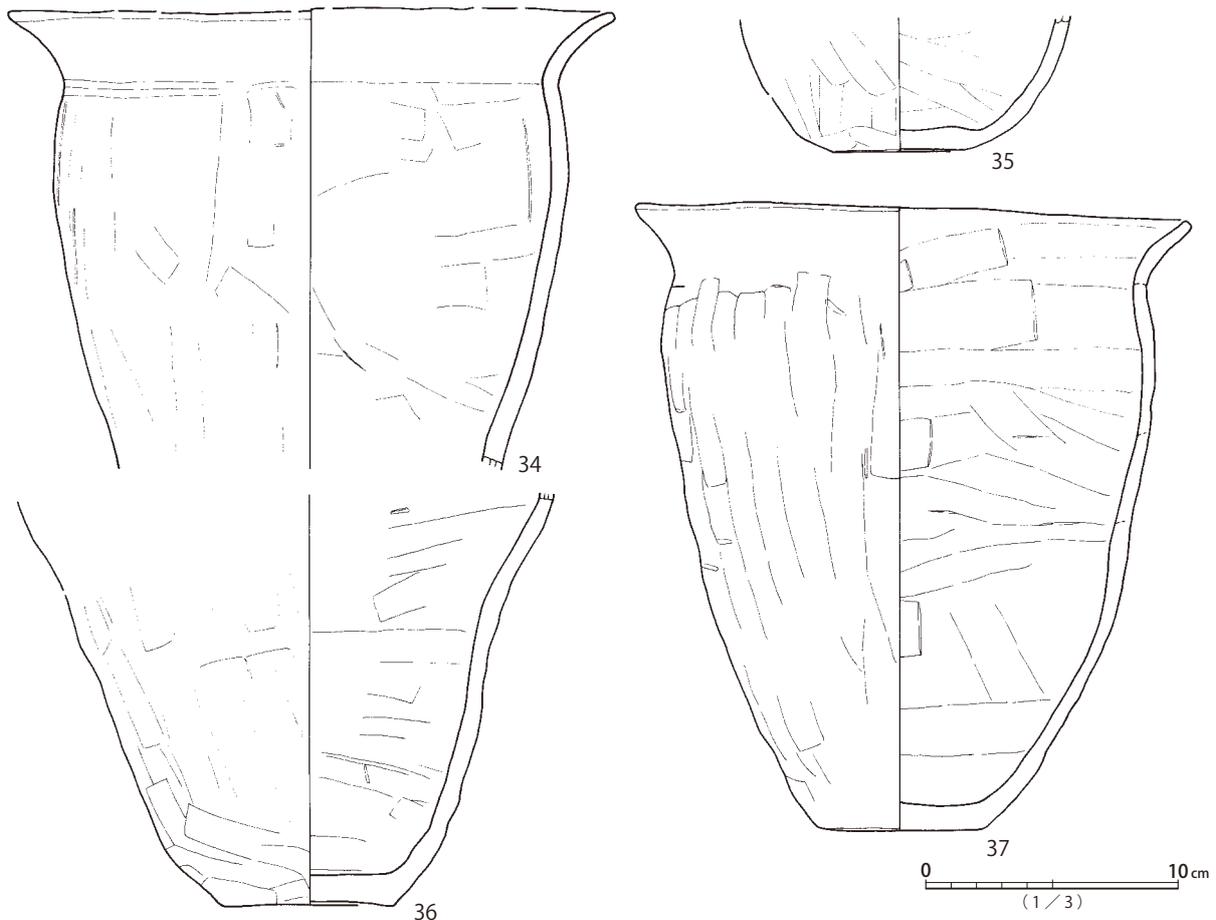


19トレンチ



第 18 図 椎津向原遺跡（第 2 地点）出土遺物実測図 2

19トレンチ



第19図 椎津向原遺跡（第2地点）出土遺物実測図3

参考文献

高橋康男1998「市原市五霊台遺跡」『(財)市原市文化財センター調査報告書』第64集

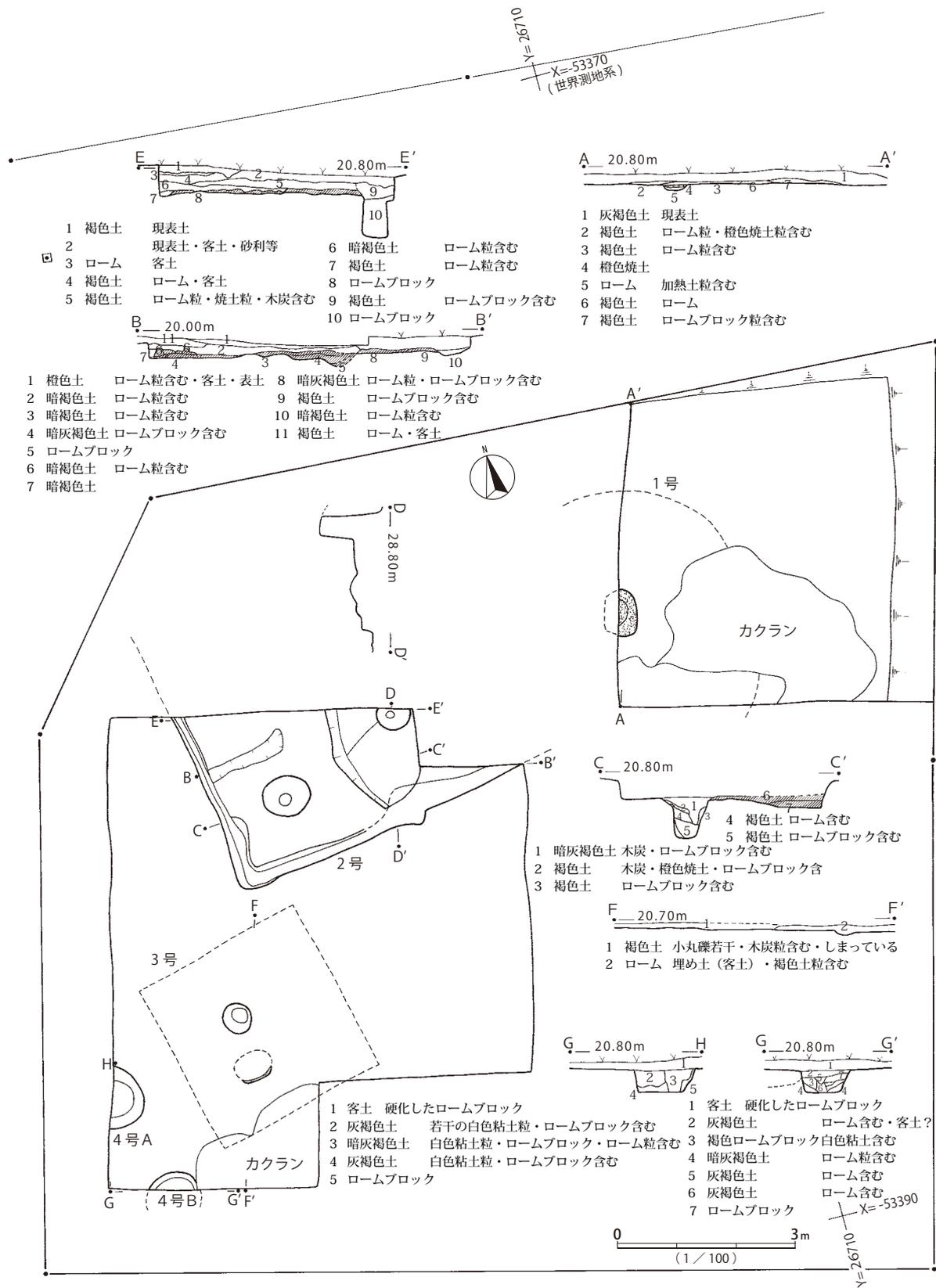
市原市教育委員会2009「椎津向原遺跡」『平成20年度 市原市内遺跡発掘調査報告』（椎津向原遺跡第1地点）

市原市教育委員会2012「椎津尾崎遺跡第2地点・島原遺跡」『平成23年度 市原市内遺跡発掘調査報告』

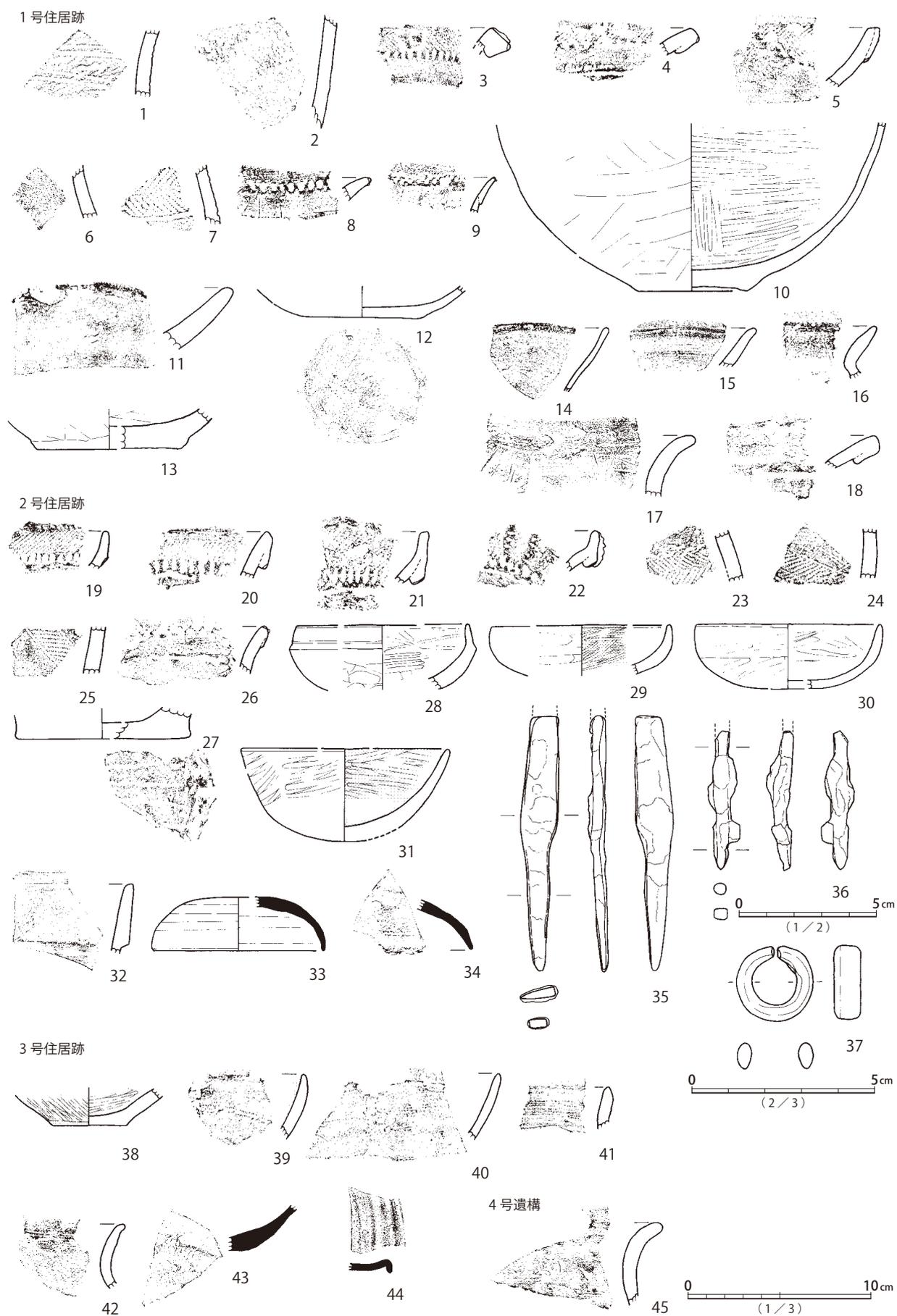
5 市原城跡（門前地区・第2地点）

調査概要 門前地区・第2地点は、第1地点より地形上2m下位の台地東緩斜面にあり、標高は21mほどである（第2図）。調査区内は宅地造成後で、台地上位側の西側は削平を受け、全面にローム地山が地表に露出していた。調査は母屋と車庫範囲を第20図のように本調査し、弥生時代後期と古墳時代後期の竪穴住居、歴史時代と推測される住居跡、掘立柱建物柱穴の可能性のある土坑2基を検出した。

遺構と遺物 1号遺構は硬化した床面と地床炉、第21図3～9の弥生後期の土器片から住居跡とした。竪穴住居の壁は削平されて検出できない。攪乱も多く他時期の遺物が混入している。2号遺構は6世紀後半の住居で上面は攪乱されており、客土が覆い遺構確認が当初困難であった。床面中央に柱穴があり重複遺構の可能性はあるが、不明瞭である。遺物は28～37が伴うと考えられる。金属製品として刀子（35）と耳



第20図 市原城跡(門前地区・第2地点) 調査区全体図・土層断面図



第21图 市原城跡（門前地区第2地点）出土遺物実測図

環(36)が出土しており、市原城跡内市原地区の古墳時代遺構が初めて明らかになった。3号遺構は木炭粒の散在から覆土と認定したが明確ではない。全面削平されカマドの痕跡も無く、38～44など遺物が若干出土したのみである。4号遺構は2基の土坑で規模が類似しており、覆土の状態から掘立柱建物と推測した。遺物は45などわずかであった。

参考文献

市原市教育委員会2011「市原城跡辻地区」『平成22年度 市原市内遺跡発掘調査報告』

市原市教育委員会2012「能満遺跡群地楽寺・二階台地区第2地点」『平成23年度 市原市内遺跡発掘調査報告』

市原市教育委員会2013「市原市城跡門前地区・辻第2地区」『平成24年度 市原市内遺跡発掘調査報告』

6 郡本遺跡群(第17次)

調査概要 現地は、東京湾岸に展開する海岸平野を、西方50m程に望む標高20m程度の台地縁辺部に位置する。近隣において、市指定文化財となっている弥生時代中期宮ノ台式期の人面付壺形土器が採集され、周囲に貝の散布が確認されるなど、当初より、台地縁辺部に展開する貝塚を伴った環濠集落及び墓域の存在が想定される地域であった。

調査は、個人住宅の建設に伴って行われ、家屋予定地内及び周囲に合計6箇所のトレンチを設定し、それぞれにおいて遺構の存在や遺物の有無を確認した。その結果、いずれのトレンチにおいても、遺構が存在しており、家屋予定地部分77.98㎡については本調査が行われることとなった。表土下60～80cmのローム面が遺構確認面となった(第22図)。

遺構と遺物 調査区中央部東寄りにおいて、中世期の方形竪穴跡001を検出した。長径2.4m・短径2.0mを測り、堆積土はロームブロックを含む暗褐色土を基本とする。遺物の出土は僅少であり、底部糸切り痕を有するカワラケ(第23図2)や砥石3等が出土している。

中央部東端では、弥生時代後期の竪穴建物跡002を検出した。深度は20cm程で床面に達し、覆土は暗黒褐色土を基本とする。西側部分のみの検出であり、北東寄りに炉が検出された。主軸方位は、北東方向と考えられる。炉の周囲は、硬化面が認められた。覆土下層から刻みが施された棒状浮文が貼り付けられた壺口縁部(第23図4)や口縁部に刻みを有する甕13、覆土中層より甕14等が出土している。ミガキが入り、赤彩が施された壺5・6など後出的な土器も含まれているが、弥生時代後期と判断した。また、東端セクションから、隣接するピット003遺構周囲にも002竪穴建物跡に先行する竪穴建物跡が存在していたと考えられる。掘り込みが浅く、遺構の立ち上りを認めることはできなかったが、003遺構の出土遺物等から弥生時代後期の竪穴建物跡と考えられる。

南東隅部では、002竪穴建物跡に後出する弥生時代後期の竪穴建物跡009が検出された。002遺構を掘り込んで建てられており、002より新しい。覆土は002遺構より黒色味の強い暗黒褐色土である。掘り込みは浅く、002遺構との重複部分は床面がローム土まで達していない。出土遺物は僅少であるが、弥生後期甕片(第26図97・98)が出土している。

以上をまとめると、北側の003竪穴建物跡が最初に建てられ、廃絶後、中央の002竪穴建物跡が建てられた。002竪穴建物跡の廃絶後、南側の009竪穴建物跡が建てられたが、床面は002竪穴建物跡より浅い。帰属時期は、いずれも弥生時代後期と考えられる。

中央部西寄りには、弥生時代中期宮ノ台式期の竪穴建物跡006が検出されている。炉脇及び南側壁付近において、イボキサゴとハマグリを主体とする貝層が堆積していた（後述部参照）。本遺構の廃絶後に、遺棄されたものと考えられる。貝とともに遺棄されたと考えられる壺（第24図29）は、炉脇貝層付近から出土した土器で、沈線で区画された羽状の斜行撚糸文帯の中に、半裁竹管状工具による斜格子状沈線を施した文様帯を肩部に有している。胎土は粗く、砂粒を多く含み、内面の器壁剥落が顕著である。安房地域の影響を受けたものである可能性があり、弥生時代終末期まで下るものと考えられる。竪穴建物跡006出土土器より後出的な土器であり、006遺構廃絶後に、貝とともに遺棄されたと考えられる。貝層の帰属時期を把握する上で、参考になるものと考えられる。重複する竪穴建物跡015も弥生時代中期の遺構と考えられるが、断面観察から本遺構の方が新しいと考えられる。

006遺構の平面規模は4.8×3.8mの長楕円形を呈し、深度は20～25cm程度を測る。覆土は、ロームブロックを含む暗黒褐色土を基本とする。遺構中央北寄りに炉があり、焼土の堆積が認められ、周辺が硬化していた。柱穴は、不整な円形を呈したものが多い。遺物は床面上から壺の頸部（第23図25）や、壺下半部26・28、覆土下層から甕（第24図43・44）等が出土している。26は底部が穿孔されている。他には、覆土中層から底面が方形で、舟形を呈する可能性がある鉢形土器49が出土している。内外面及び底面が、丁寧にヘラミガキされている。006遺構に先行する015竪穴建物跡は西端部にあり、平面規模は5.6×5.0mの不整な円形を呈する。深度は浅く、確認面からの掘り込みは5cmにも満たない。覆土は、ローム粒を含む暗褐色土を基本とする。北側に焼土の堆積が認められるが、本遺構に伴うものではなく、008竪穴建物跡の炉と考えられる。床の明瞭な硬化面は見られなかった。遺物の出土は僅少であった。古墳時代前期の小型甕底部（第27図129）が出土するが、混入であろう。

北部中央から西寄りにかけては、古墳時代前期の竪穴建物跡である007遺構が検出されている。南側部分のみの検出であるが、隅丸の方形を呈するものと考えられる。深度は浅く、20cm未満で床面に達し、覆土は黒色味の強い暗黒褐色土を基本とする。床面中央部が硬化していた。2カ所焼土の堆積が認められたが、炉に伴うものではないと考えられる。断面観察より、西に重複する同時期の008竪穴建物跡の覆土を掘り込んで建てられており、本遺構の方が新しい。東に重複する013竪穴建物跡との新旧関係であるが、013遺構の出土遺物が僅少であり、判断の根拠に乏しいが、007遺構の掘り込みが013遺構より深いことから、007遺構が新しいと判断したい。出土遺物は、覆土中層からミガキの入った高杯（第25図68）、脚部に穿孔を施した高杯70・71、ハケメの入った甕（第26図73・74）等が出土している。また、覆土上層から底部に糸切り痕を有するカワラケ77が出土しているが、混入であろう。他に覆土中層から、湾曲する背面に刻みを持つ土製品78が出土している。北西端部にある古墳時代前期の008竪穴建物跡は、遺構の重複が著しく平面形態が殆ど残っておらず、北西辺のみ検出されている。主柱穴間の北寄りに炉が検出されており、北西方向に主軸を持つと考えられる。深度は浅く、確認面から5cm程度で床面に達する。覆土は、ローム粒を含む暗黒褐色土を基本とする。床面の硬化は見られなかった。遺物は、覆土中層からミガキの入った小型壺（第26図90）、覆土下層からハケメの入った小型甕91等が出土している。他に弥生時代中期と考えられる壺頸部79が出土しているが混入であろう。

中央部北寄りにある013竪穴建物跡も008遺構同様、遺構の重複が著しく東側部分を残すのみであるが、平面形態は隅丸の方形を呈していたと考えられる。深度は浅く、確認面からの深さは5cmにも満たない。ピットは浅く不整な円形である。床面の硬化も見られなかった。遺物は、覆土下層からハケメの入った甕

底部（第26図100）が出土するのみであるが、古墳時代前期と判断した。

また、南西隅部より、古墳時代前期の竪穴建物跡である014遺構を検出した。同時期の008遺構と重複するが、008遺構の廃絶後、掘り込まれており、本遺構が新しい。東側部分を残すのみであるが、平面形態は隅丸の方形を呈していたと考えられる。深度は30～35cm程度で、覆土はローム粒を含む暗黒褐色土を基本とする。床面の中央部分が硬化していた。遺物は、床面上からミガキの入った高杯（第26図104）、小型甕（第27図110）、覆土下層からミガキの入った小型壺（第26図101）、高杯102等が出土している。

西側の古墳時代前期の竪穴建物跡群は、断面観察から007遺構は008及び013より新しく、014遺構は008より新しい。出土遺物等の状況から、013遺構は008より新しく、007遺構は014より新しいとすると、008遺構が最初の竪穴建物跡であり、順次014、013、007遺構と新しくなると見られる。

他には、南部東寄りに小規模なピット010遺構が存在する。深度は30cm程度で、覆土はロームブロックを含む暗褐色土を主体としていた。遺物は、確認面上より常滑の甕片（第26図99）が出土している。北側にある001方形竪穴跡と合わせ、周囲に中世期の遺構も存在していると考えられる。

本調査区内での遺構の変遷をまとめると、最初に台地縁辺である西側において弥生時代中期宮ノ台式期の竪穴建物跡015が建てられ、廃絶後、006竪穴建物跡が建てられた。その後、弥生時代後期には、東の内陸側に集落が移り、003→002→009と竪穴建物跡が北から南に向かって建てられていった。そして、弥生時代終末期になると、西側にある廃絶した中期の竪穴建物跡が貝捨て場として利用されるようになり、006遺構に貝が遺棄された。

そうして、古墳時代前期に再び、台地縁辺である西側に集落が展開するようになり、008→014→013→007と反時計回りのように竪穴建物跡が建てられていったと考えられる。やがて、時代が下り、東西の遺構の空隙地を埋めるように、中世期の遺構が展開したと考えられる。

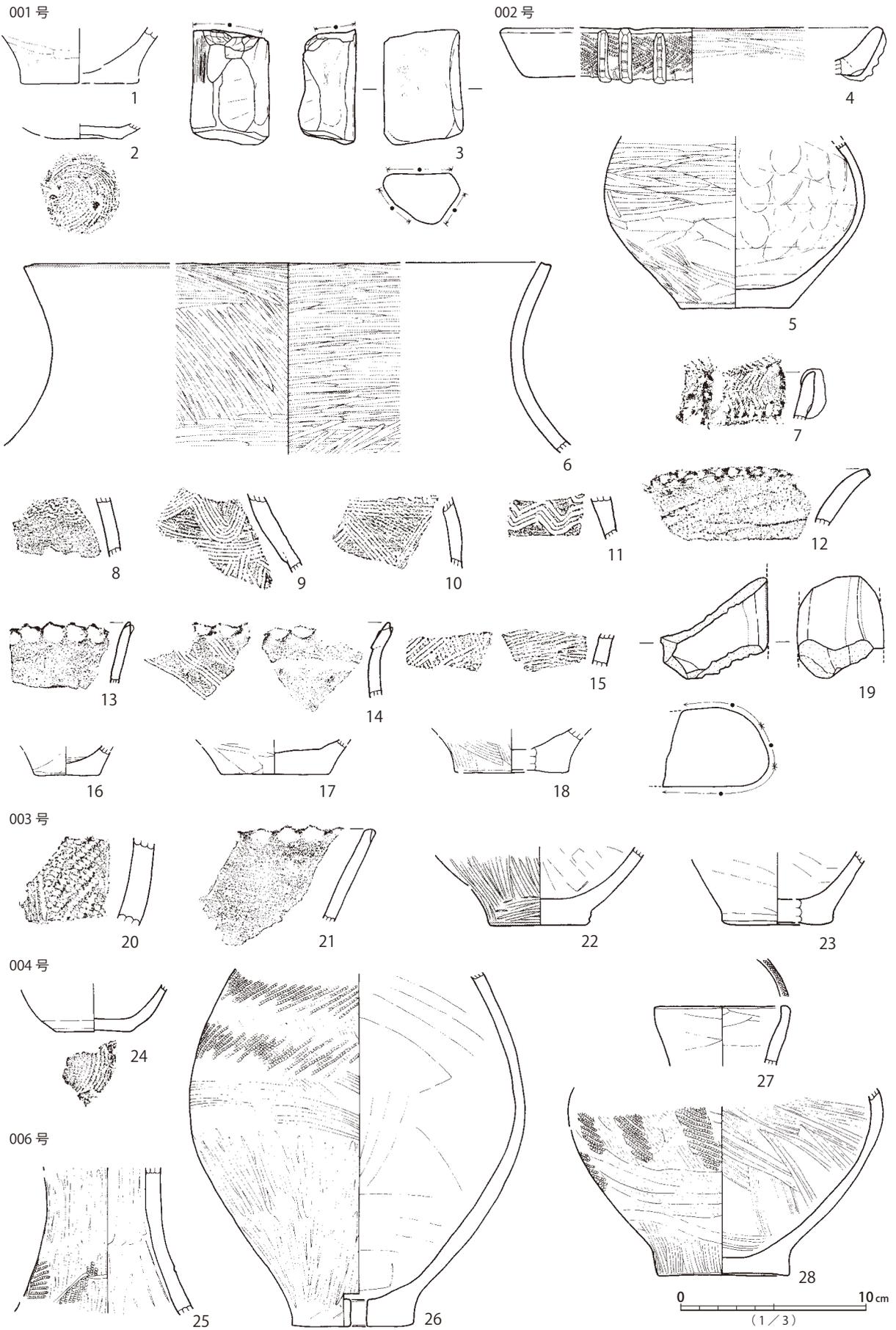
特記事項 狭小な範囲の調査であったが、まず、台地縁辺に弥生時代中期の集落が展開し、後期には内陸側に集落が移る。終末期には、かつて台地縁辺に展開した中期の竪穴建物跡が貝の捨て場として利用される。そして、古墳時代前期には再び台地縁辺に集落が移り、時期を経て、中世期には、縁辺部と内陸部間の空隙地に遺構が展開していったと考えられる。

また、貝とともに遺棄されたと考えられる壺は、安房地域の影響を受けた土器の可能性があり、弥生時代終末期の広域交流を考える上で参考になるものと考えられる。

今後に向けては、台地縁辺に展開する中期宮ノ台式期の集落が環濠を持っていた場合、今回検出されなかった環濠が、調査区の東側において検出される可能性が高い。また、冒頭で記した人面付土器が採集された地点周辺にも貝が確認されており、縁辺部に向かって小規模な貝塚が存在していることが考えられる。貝塚の帰属時期が宮ノ台式期まで遡るのか、調査成果を待ちたい。

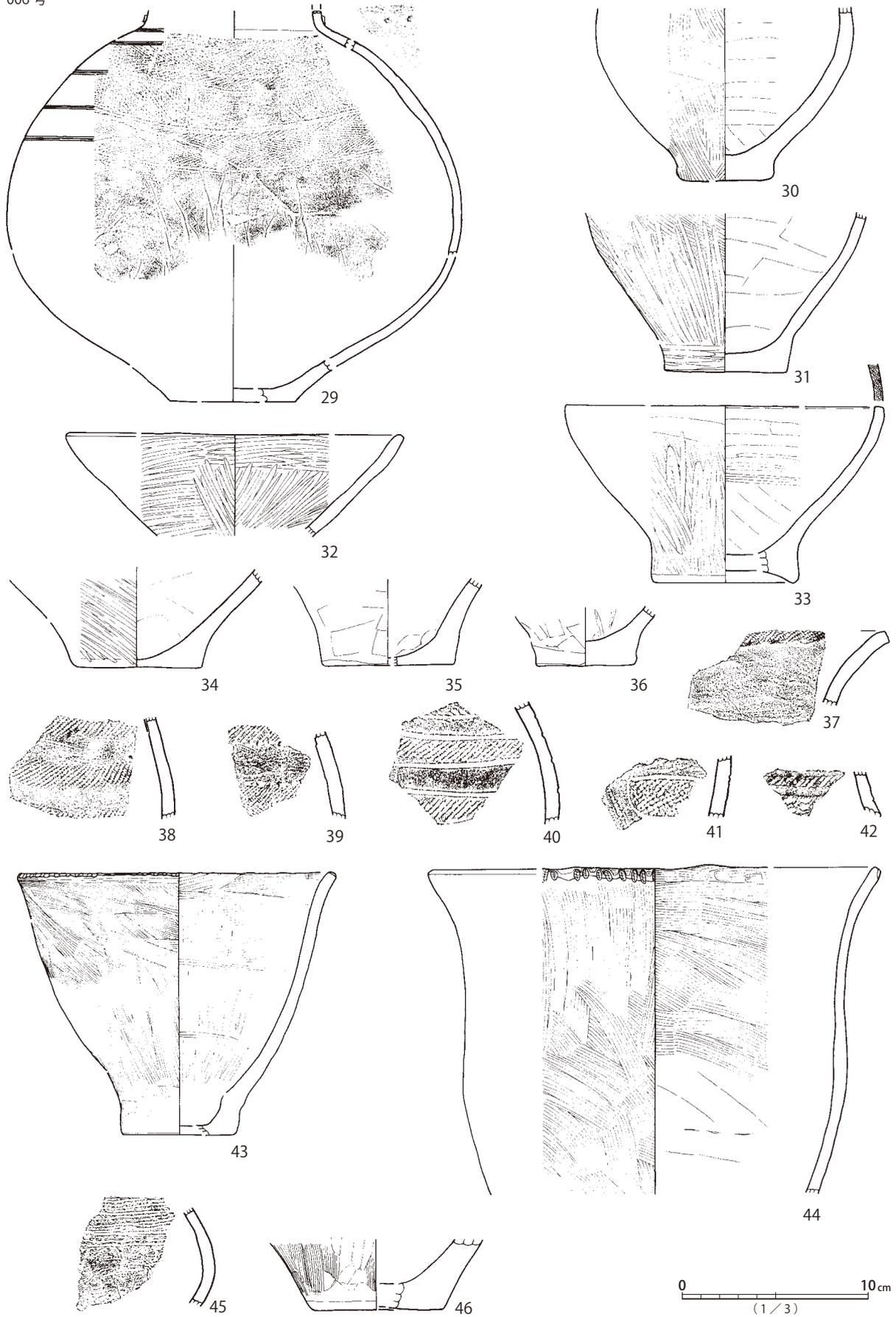
貝層の分析 貝層は、006号遺構の中央部の炉脇と南側壁際の覆土内に厚さ20cmほどで堆積したものである。壁際のもをNo.1、炉脇のもをNo.2とした。No.1は最大径1.5mほどに広がり、その一部は柱穴覆土の上部にも至っていた。No.2は、最大径50cmほどと規模は小さかった。発掘調査ではこれらの全てを採集し、その総量は土のう袋17、水洗フルイ後の重量でおよそ46kgであった。このうち全体の37.7%にあたる6箇所のサンプルについて詳細に分析した。フルイ上水洗後総重量は17,372g、平均混土率は73.6%、貝殻の平均破碎率は65.4%である（第3表）。

貝類は、いずれの箇所もイボキサゴがその70～90%を占め、ハマグリが5～10%程度でこれに次ぎ、ウ



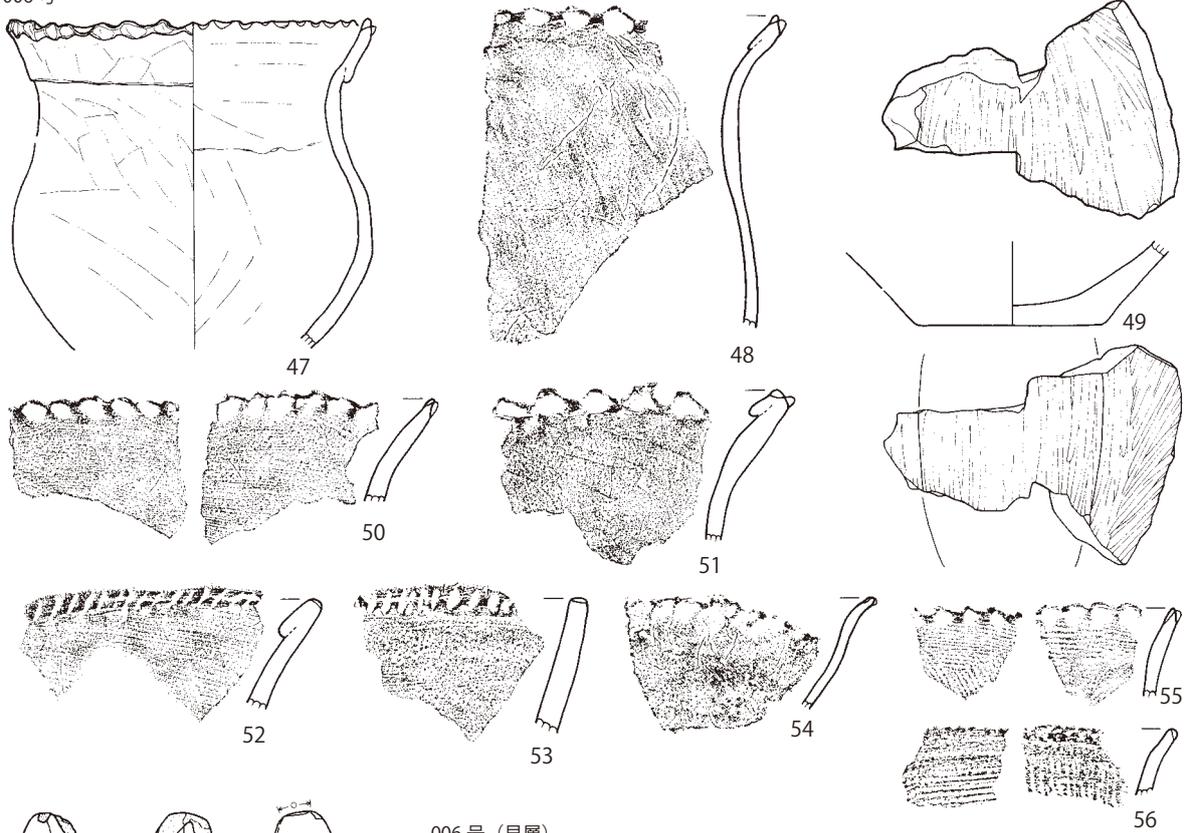
第23图 郡本遺跡群（第17次）出土遺物実測図1

006号

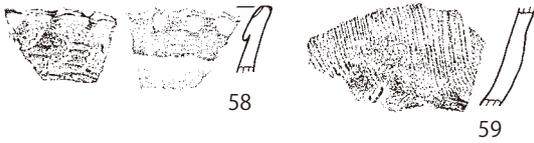


第24图 郡本遺跡群（第17次）出土遺物実測图2

006号



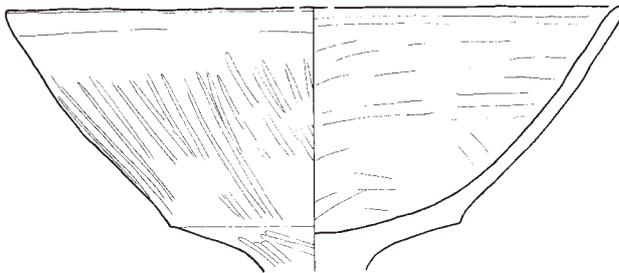
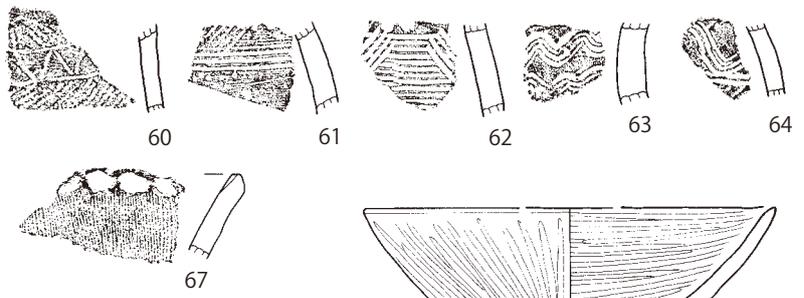
006号 (貝層)



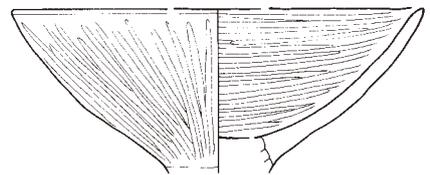
0 5cm (1/2)



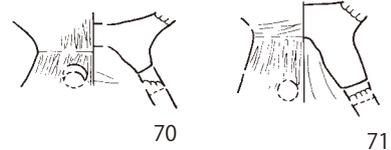
007号



69



68

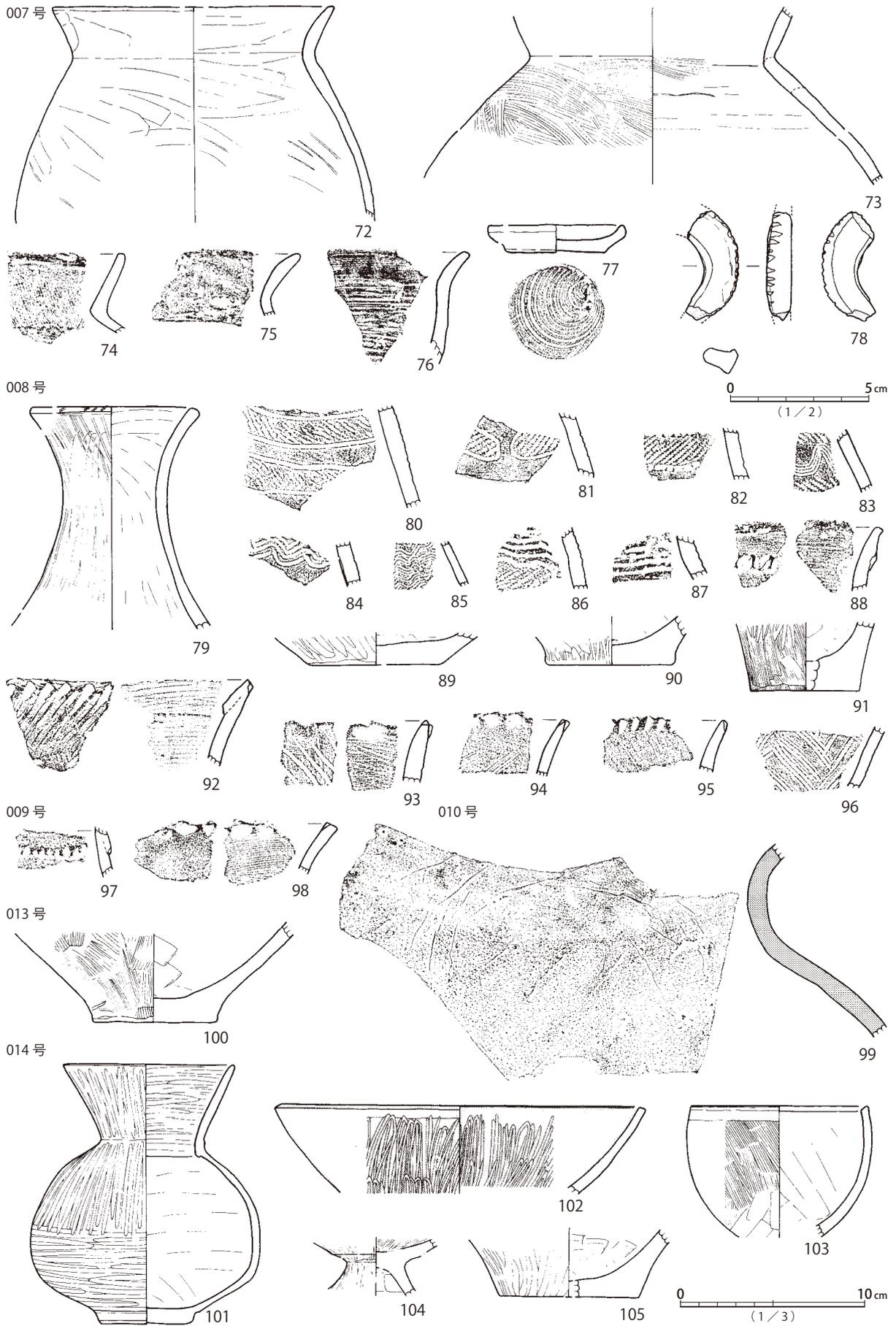


70

71

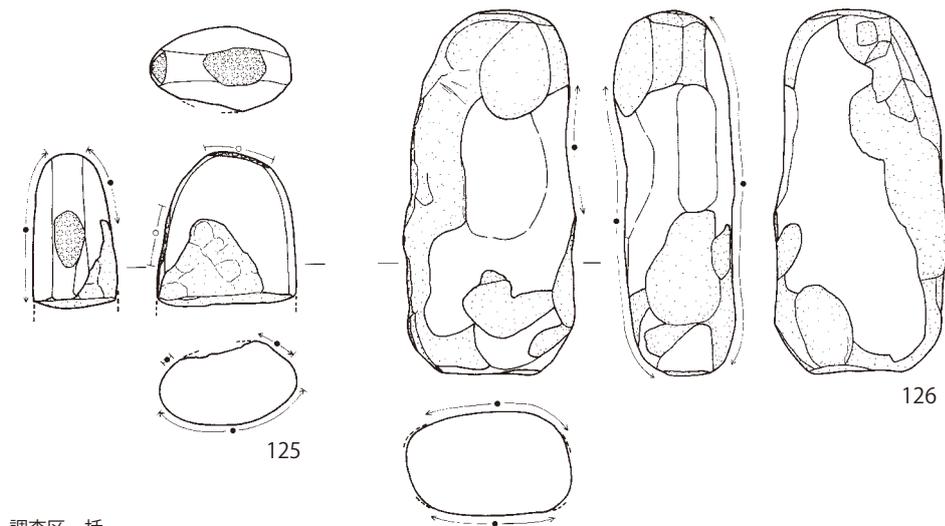
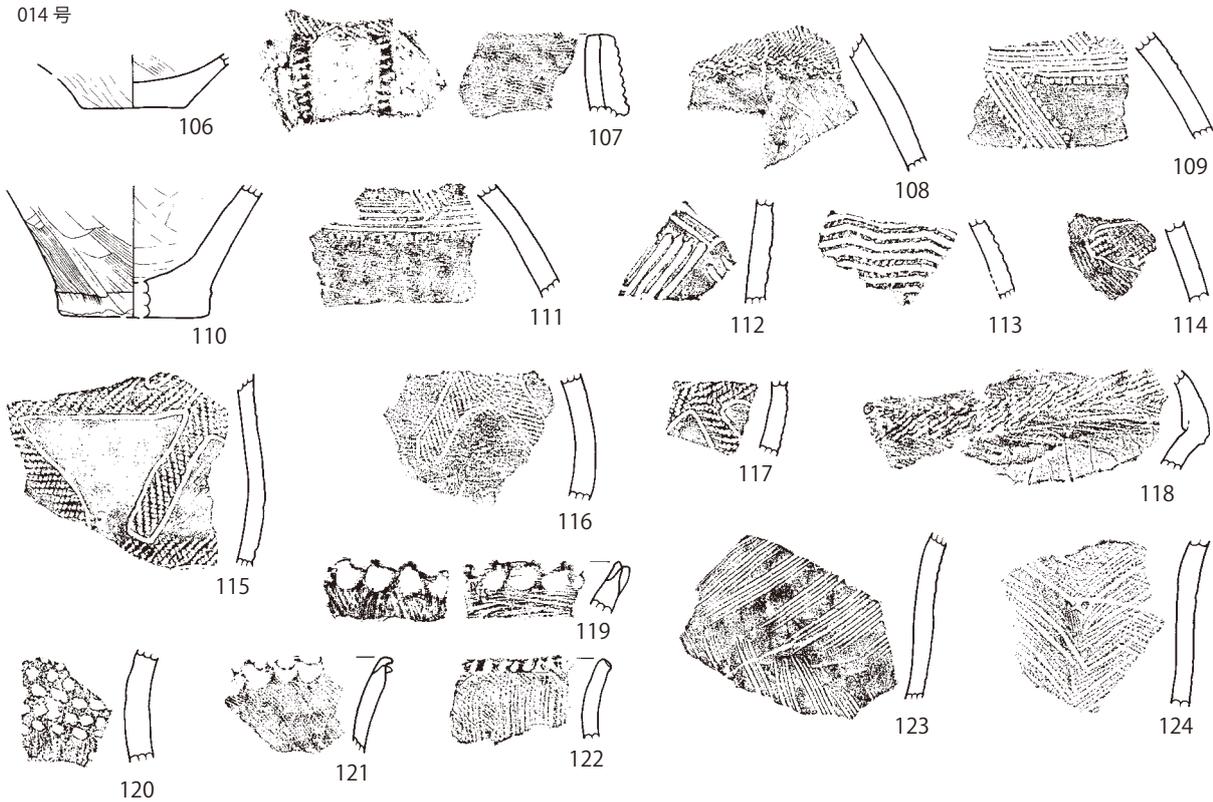
0 10cm (1/3)

第25图 郡本遺跡群(第17次) 出土遺物実測图3

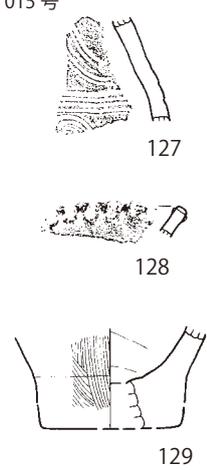


第26图 郡本遺跡群(第17次) 出土遺物実測图4

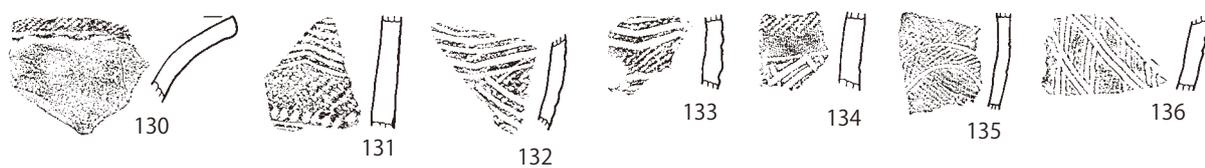
014号



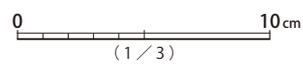
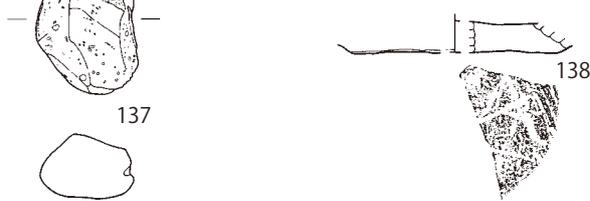
015号



調査区一括



確認調査2トレンチ



第27図 郡本遺跡群(第17次) 出土遺物実測図5

ミニナ・アカニシ・マガキが5%前後でやや多くみられる箇所もあった(第4表)。発掘調査時の所見では、ハマグリ等の二枚貝とイボキサゴの集中する箇所が分離している傾向もみられたことから、本来は別に採集されたり処理されたりしていた可能性もある。ハマグリ殻の殻長サイズは、平均で50mm以上、最大は90mm以上にも達し、前述の能満分区遺跡群の縄文期のものに比べると格段に大きい(第28図)。

貝層中からは、わずかであるがクロダイ・スズキ・ウナギなどの魚骨、ニホンジカの部位骨も検出された。また、炭化したヒトの歯もみつかった。微小貝は少なかったが、カシパンウニ類の破片が多く検出された(第3表)。カシパンウニ類は、縄文期の貝塚でも出土は極めて希である。この種は食用にならないためと考えられるが、砂浜の海岸では死んで打ちあがった個体をみることは多い。何らかの意図をもって採集され、集落内に持ち込まれたものであろう。

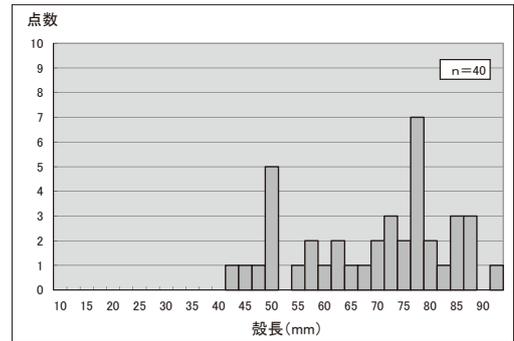
弥生期の貝塚は、市原市内でも検出例は希なので、今回の事例は小規模な貝層とは言え、貝類・魚類・獣類などその内容が明らかにできた点は重要である。

参考文献

須田 勉1976「口絵 人面土器解説」『古代』第59・60合併号 早稲田大学考古学会
 田中新史1992「三嶋台の弥生人」『土筆』土筆舎
 宮本敬一1999「三嶋台遺跡出土の人面付土器」『市原市郡本周辺の遺跡と文化財』市原市地方史研究連絡協議会
 財団法人市原市文化財センター2005「市原市根田代遺跡」『財団法人市原市文化財センター調査報告書』第92集
 市原市教育委員会2013「市原市郡本遺跡群(第15次)」『市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書』第26集

第3表 郡本遺跡群(第17次)貝層内容物組成

遺構	地点	層位	サンプルNo	水洗前重量(g)	フルイ後残留物重量(g)				土壌重量(g)	混土率(%)	貝殻破砕率(%)
					10mm	4mm	1mm	計			
006	No.1	--	①	15,600	2,843	808	1,195	4,846	10,754	68.9	58.5
006	No.1	--	⑥	11,200	2,910	556	825	4,291	6,909	61.7	49.4
006	No.1	--	⑫	10,300	1,339	490	846	2,675	7,625	74.0	68.2
006	No.1	ベルト部	⑬	14,400	2,308	572	651	3,531	10,869	75.5	51.0
006	No.1	柱穴内	⑯	2,850	123	149	276	548	2,302	80.8	85.8
006	No.2	--	⑰	7,650	545	326	610	1,481	6,169	80.6	79.7



第28図 郡本遺跡群(第17次)貝層出土ハマグリサイズ

遺構	地点	層位	サンプルNo	フレイク・チップ		土器		貝殻		魚骨		フジツボ		カシパンウニ		礫		微小貝		炭化物	
				重量(g)	点数(個)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)	重量(g)
006	No.1	--	①			11	49.0	4,786.4	3.2	+				5.1	3	1.1					1.2
006	No.1	--	⑥			10	27.5	4,251.5	0.4	0.2	1	+		11.1				3	+		0.3
006	No.1	--	⑫			25	102.0	2,571.8	0.1	+				0.5							0.6
006	No.1	ベルト部	⑬			22	69.0	3,461.4		0.1								1	+		0.5
006	No.1	柱穴内	⑯			8	11.6	536.3													0.1
006	No.2	--	⑰			18	61.0	1,416.2	1.3	0.2				1							1.3

* 1mm目フルイまで分析

第4表 郡本遺跡群(第17次)貝類組成

遺構	地点	層位	サンプルNo	イボキサゴ	スガイ	ウミニナ	ツメタガイ	アカニシ	アラムシロ	マガキ	アサリ	カガミガイ	ハマグリ	シオフキ	マテガイ	オオノガイ	計
006	No.1	--	①	746 79.4%	1 0.1%	36 3.8%	11 1.2%	25 2.7%	17 1.8%	24 2.6%	2 0.2%	1 0.1%	52 5.5%	25 2.7%	0.0%	0.0%	940
006	No.1	--	⑥	434 69.7%	3 0.5%	6 1.0%	10 1.6%	38 6.1%	12 1.9%	40 6.4%	1 0.2%	0.0%	52 8.3%	24 3.9%	3 0.5%	0.0%	623
006	No.1	--	⑫	280 75.3%	0.0%	19 5.1%	2 0.5%	11 3.0%	3 0.8%	23 6.2%	0.0%	0.0%	24 6.5%	9 2.4%	1 0.3%	0.0%	372
006	No.1	ベルト部	⑬	616 83.7%	0.0%	25 3.4%	1 0.1%	9 1.2%	4 0.5%	15 2.0%	1 0.1%	0.0%	59 8.0%	5 0.7%	0.0%	1 0.1%	736
006	No.1	柱穴内	⑯	81 93.1%	0.0%	1 1.1%	0.0%	1 1.1%	0.0%	1 1.1%	0.0%	0.0%	3 3.4%	0.0%	0.0%	0.0%	87
006	No.2	--	⑰	183 80.3%	0.0%	9 3.9%	0.0%	3 1.3%	0.0%	9 3.9%	2 0.9%	0.0%	21 9.2%	1 0.4%	0.0%	0.0%	228

7 郡本遺跡群（第18次）

調査概要 調査は、個人住宅建設予定地の周囲4箇所にトレンチを設定し、それぞれにおいて遺構の存在や遺物の有無を確認した。いずれのトレンチにおいても、表土下40cmのソフトローム上面が遺構確認面となった（第29図）。

遺構と遺物 1トレンチで溝跡1条（1号）が、3トレンチで竪穴住居跡1軒（2号）・掘建柱建物跡2棟（3号・4号）が、4トレンチで土坑跡1基が検出された。竪穴住居跡の覆土中には焼土ブロックが確認された。遺物は、遺構覆土上面において出土したものに限られるが、各遺構ともに奈良・平安時代の土師器片がその主なものであった（第29図）。3号・4号とした掘建柱建物跡からは、土師器坏の底部が出土している（9～12）。また、トレンチ内遺物の中には弥生土器も含まれているので（3・6）、当該時期の遺構が存在する可能性もある。

特記事項 今回の調査地点は、国道297号線の西側にほぼ平行して位置する古代道推定ラインの至近にあることから、調査対象地の西側ではその存在に特に注意しトレンチ設定をおこなったが、1・2トレンチ内では道路跡の痕跡を確認することはできなかった。したがって古代道は、今回の調査区より西側を通ることが明らかとなった。

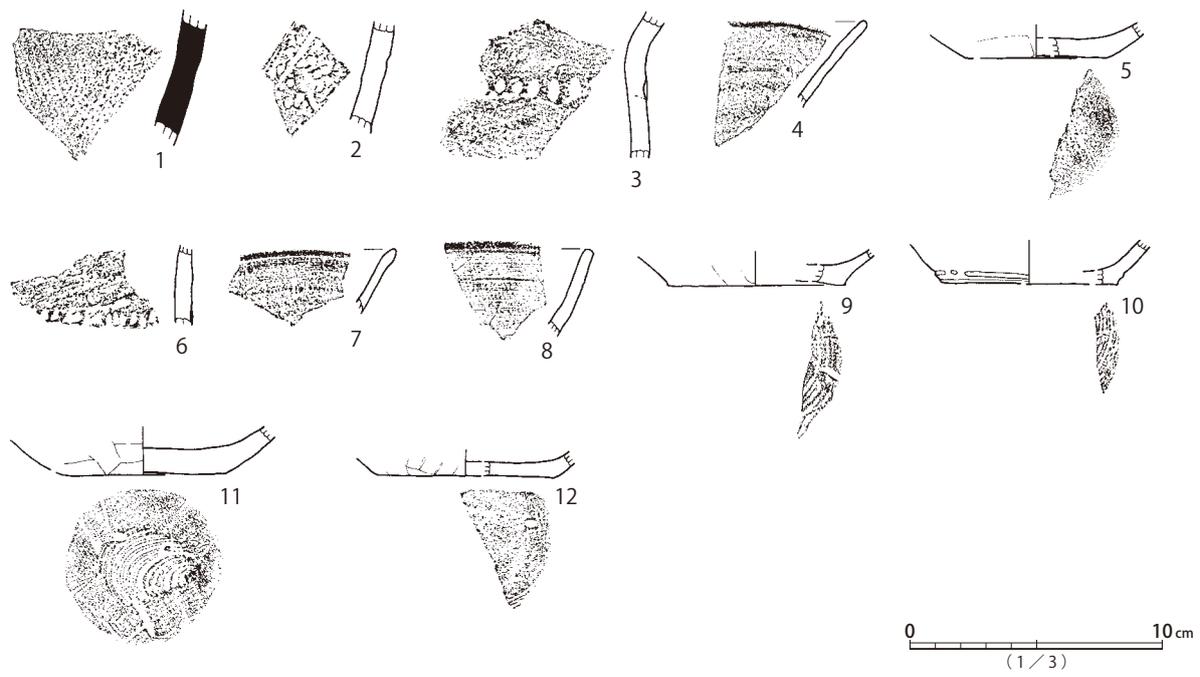
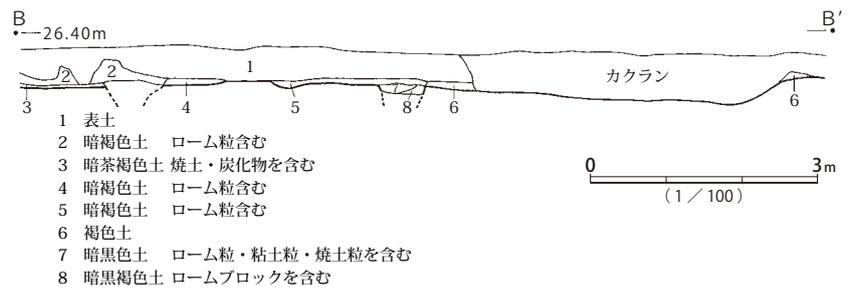
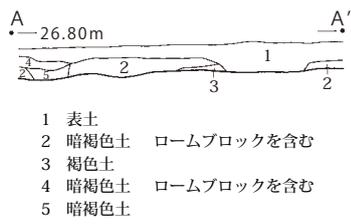
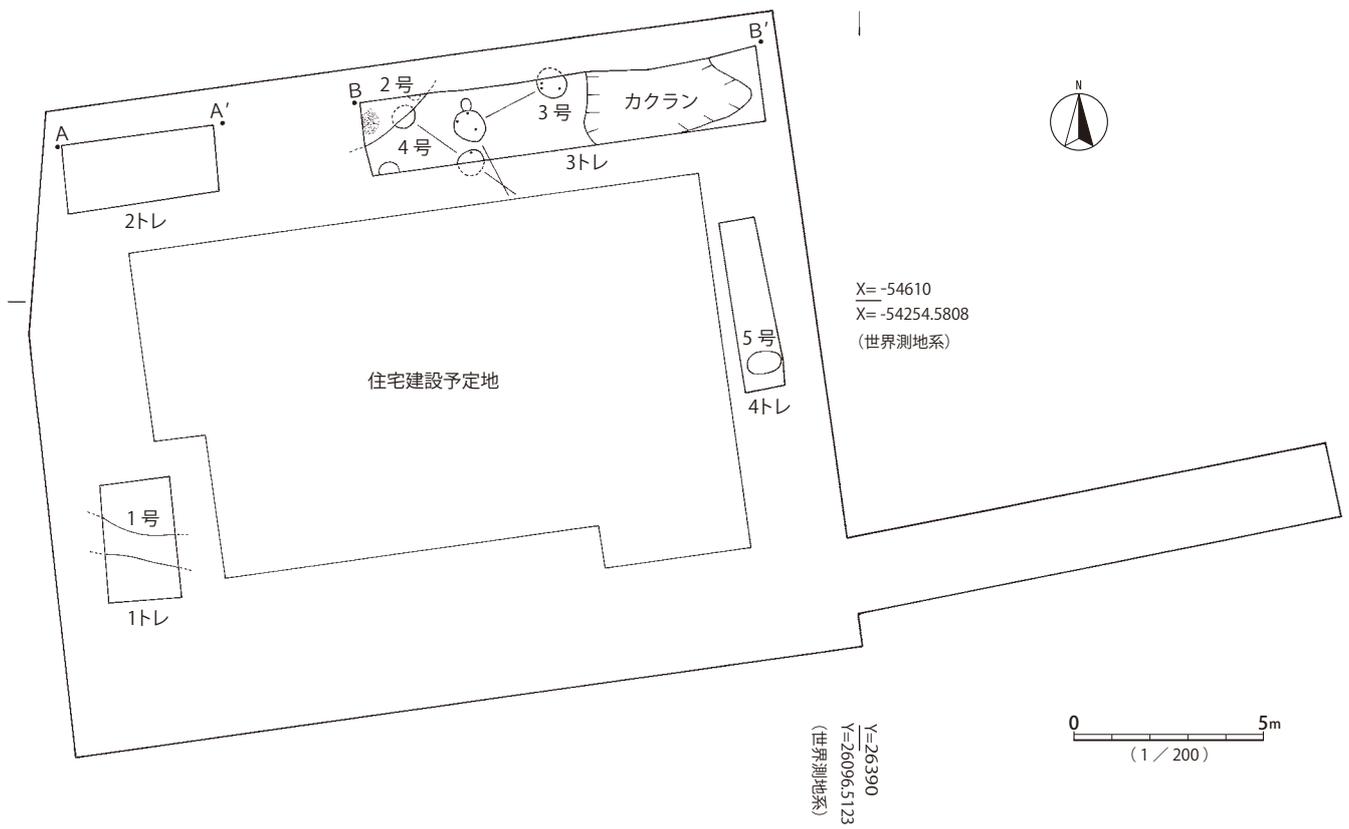
8 郡本遺跡群（第19次）

調査概要 調査は、個人住宅建設予定地の周囲5箇所にトレンチを設定し、それぞれにおいて遺構の存在や遺物の有無を確認した。いずれのトレンチにおいても、表土下50～60cmにてローム面が表出し、遺構確認面となった。堆積土は、ロームブロックを含む暗褐色土を基本としており、耕作等による影響ないしは、中世期などに土地の改変が行われたのかもしれない（第30図）。

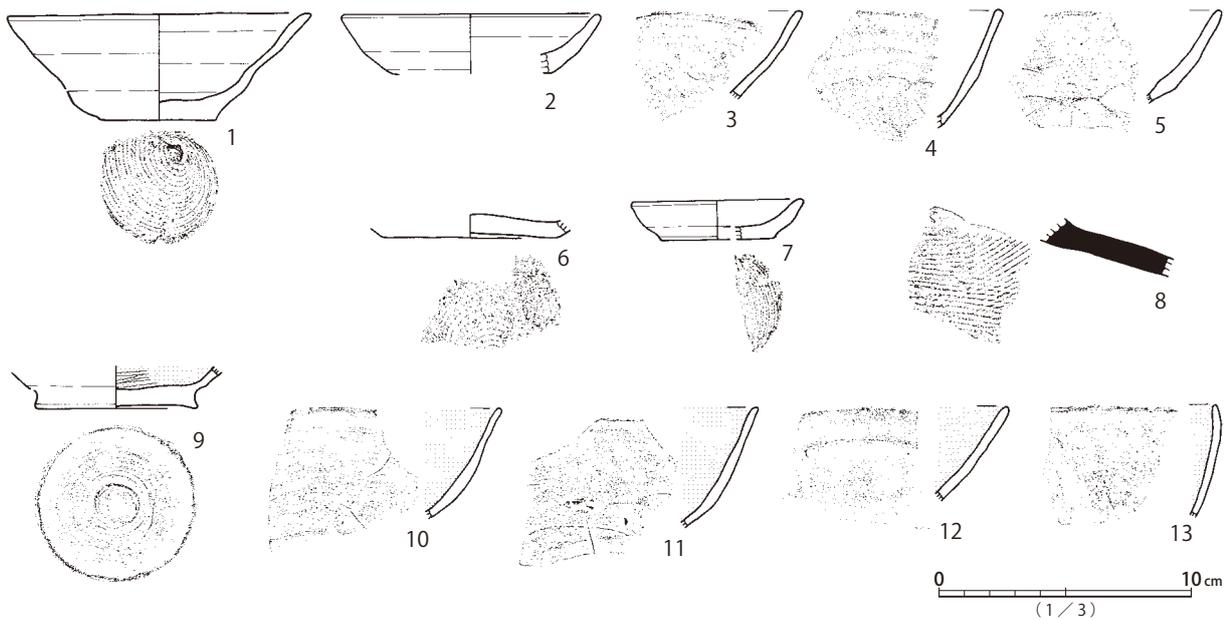
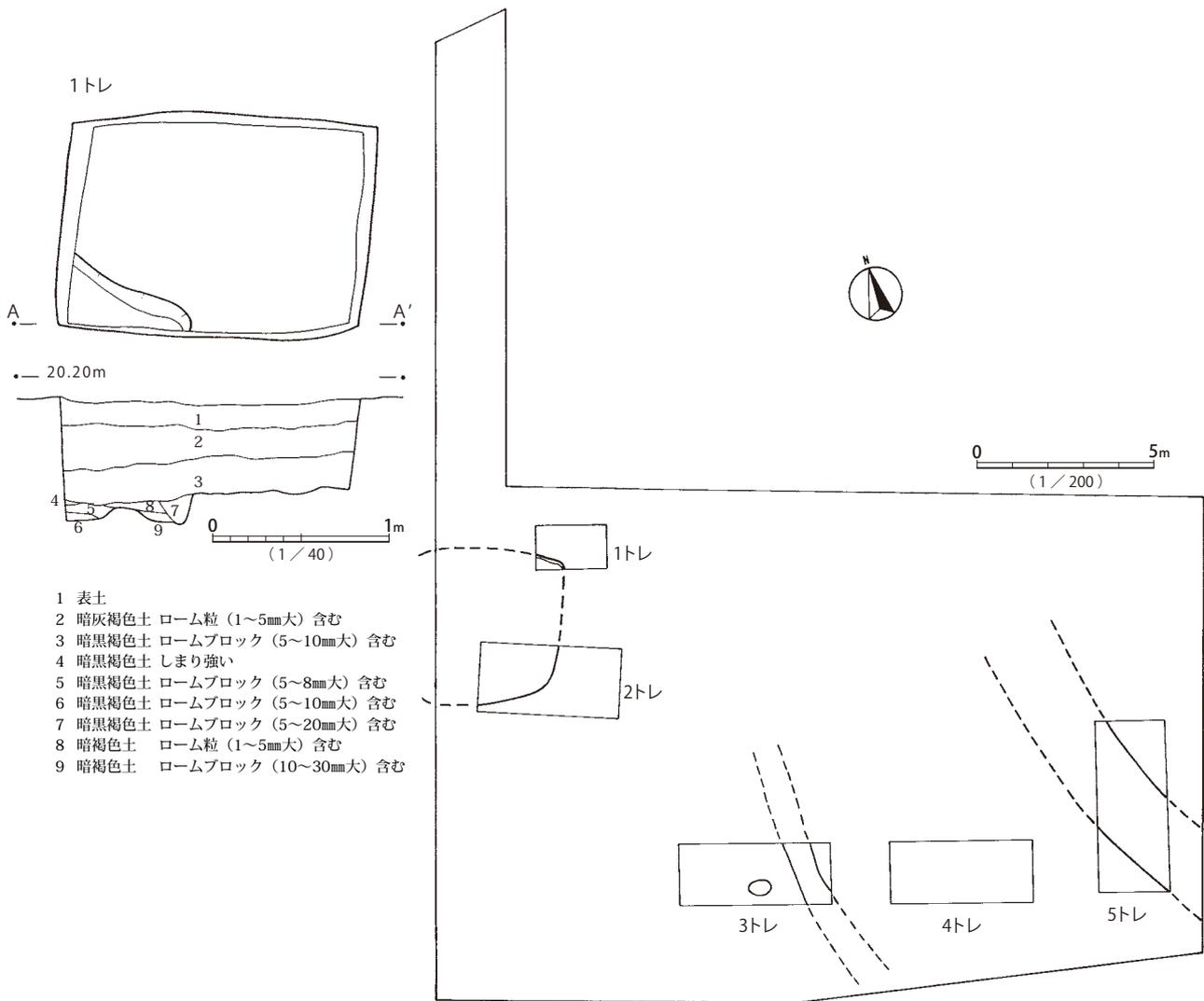
遺構と遺物 調査区北西側1・2トレンチにおいて、平安期の竪穴建物跡を検出した。上記の影響か、遺構の深度は浅く、10cm足らずで床面に達する。特に2トレンチでは、確認面において床面が露出する状況であり、一部硬化面が認められた。遺物は、床面上から底部に糸切り痕跡のある土師器杯（第30図1）、内面を黒色処理した土師器碗9等が出土している。3トレンチでは、小規模な溝や土坑を確認した。遺物は溝確認面付近から、カワラケの小片7が出土している。他に遺物の出土は確認されなかったが、覆土の状況から中世期の遺構と判断した。5トレンチでは、南北方向の溝を確認した。竪穴建物跡同様、溝の底部付近のみの残存と考えられる。遺物の出土は少数であったが、黒色味の強い覆土を呈し、奈良・平安期まで遡る可能性のある溝跡と判断した。ちなみに、南東100mにおいて第16次の調査が行われており、同様な方向に奈良・平安期の溝跡が検出され、関連性が注目される。

9 郡本遺跡群（第20次）

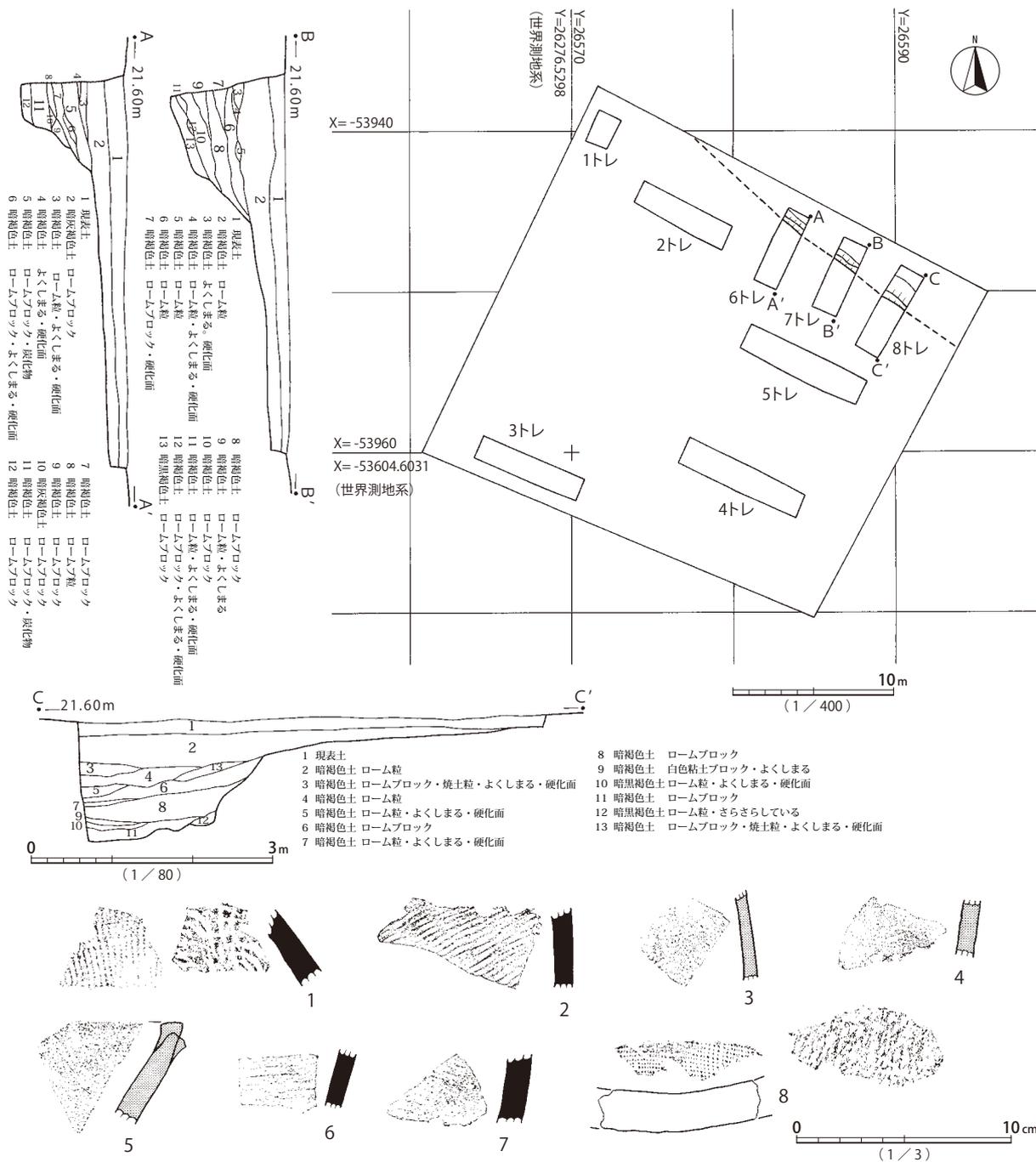
調査概要 調査は、個人住宅建設予定地の周囲8箇所にトレンチを設定し、それぞれにおいて遺構の存在や遺物の有無を確認した。いずれのトレンチにおいても、表土下20～30cmにてソフトローム面が表出しており、遺構確認面となった（第31図）。



第29図 郡本遺跡群（第18次） 調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図



第30図 郡本遺跡群 (第19次) 調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図

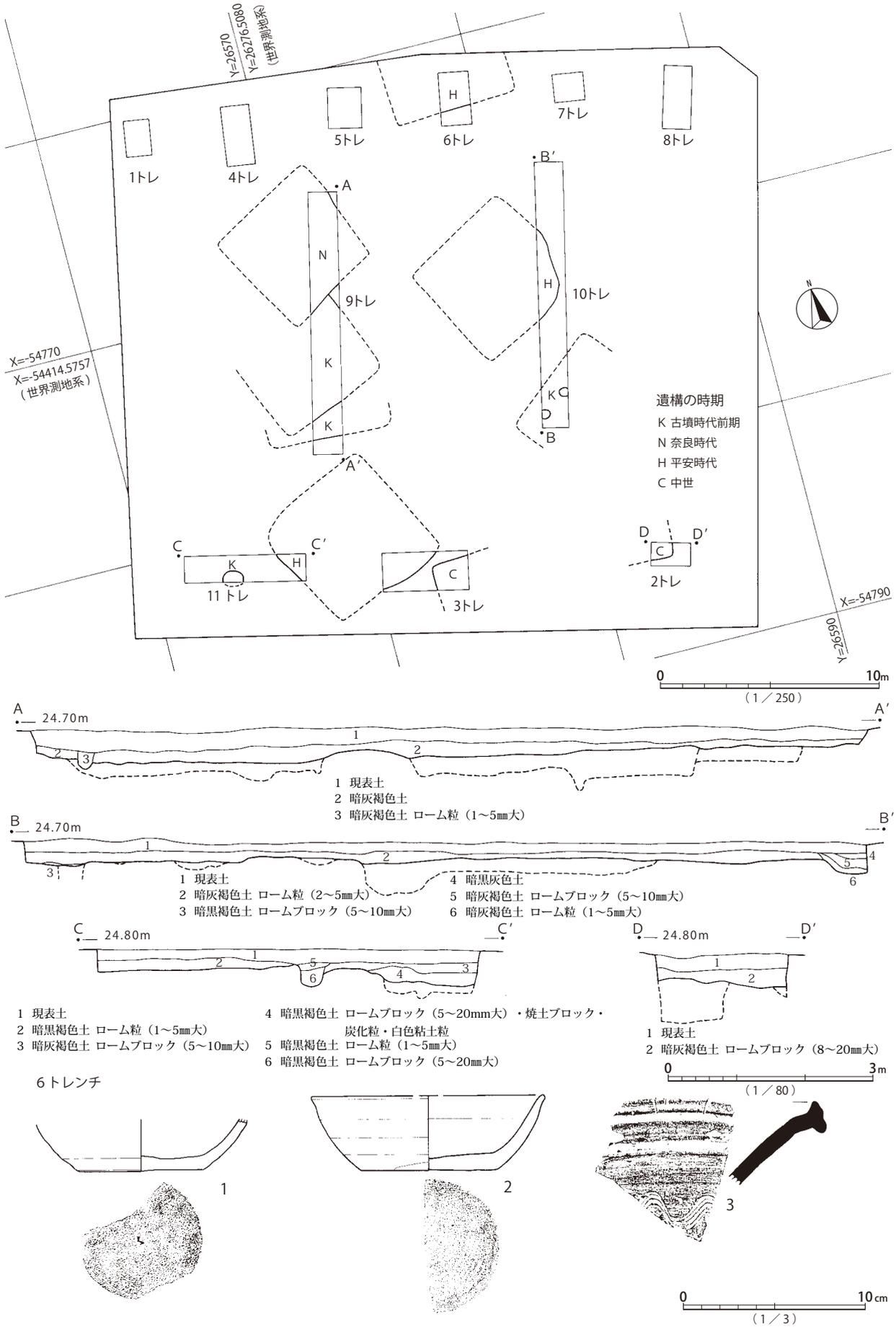


第31図 郡本遺跡群（第20次） 調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図

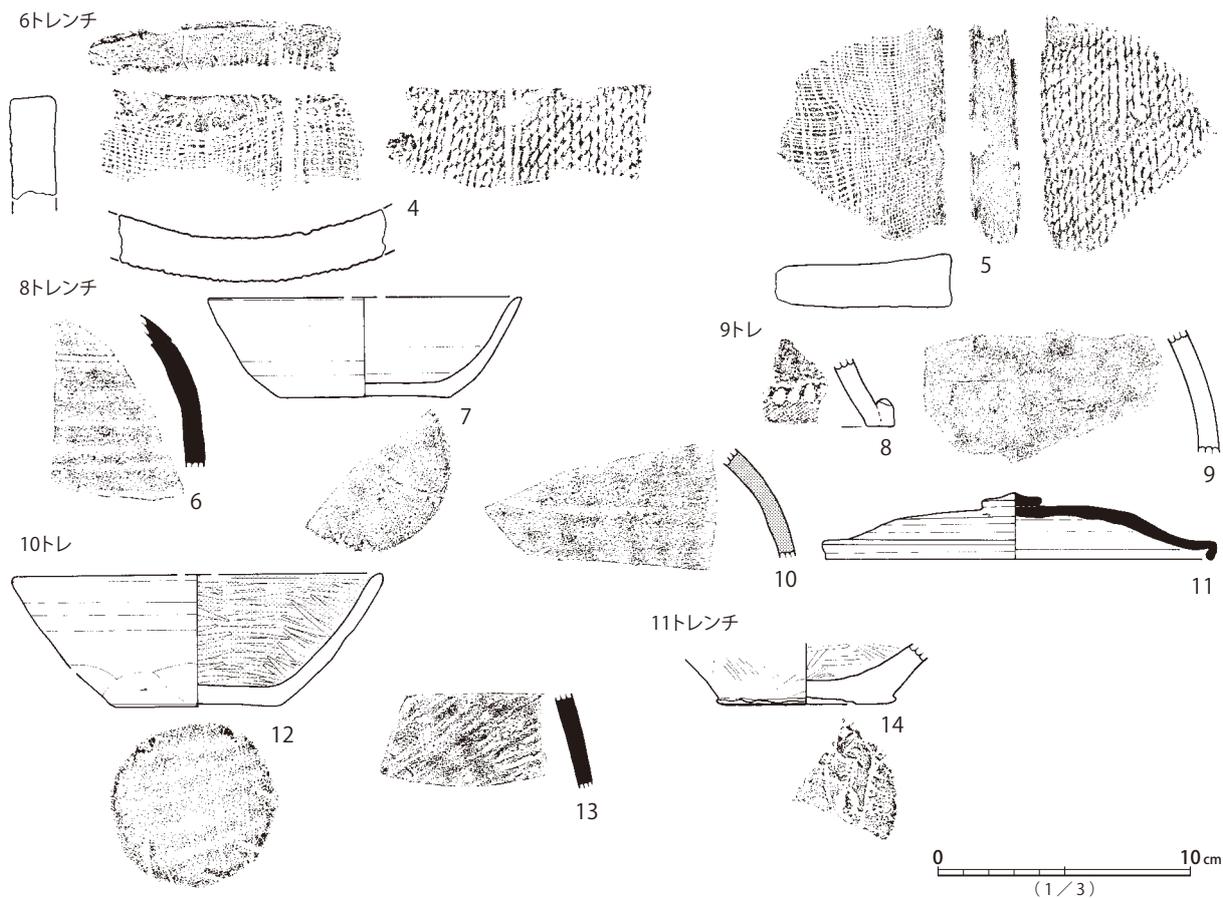
遺構と遺物 調査区北東側6～8トレンチにおいて、中世期まで遡ると考えられる溝跡が検出された。北接する現道路にほぼ沿って東西に横断していると考えられるが、西方の海岸平野における地割り方向と近似する可能性がある。断面は逆台形を呈し、底面はほぼ平らである。覆土はロームブロックを均等に含む褐色土を基本とする。硬化面が間層に複数層観察されており、埋没しながら道路として使用されたと考えられる。遺物は、8トレンチ溝跡内より片口鉢（第31図5）等が出土している。

10 郡本遺跡群（第21次）

調査概要 調査は、建売住宅建設予定地の周囲11箇所にトレンチを設定し、遺構の存在や遺物の有無を確



第 32 図 郡本遺跡群 (第 21 次) 調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図 1



第33図 郡本遺跡群（第21次）出土遺物実測図2

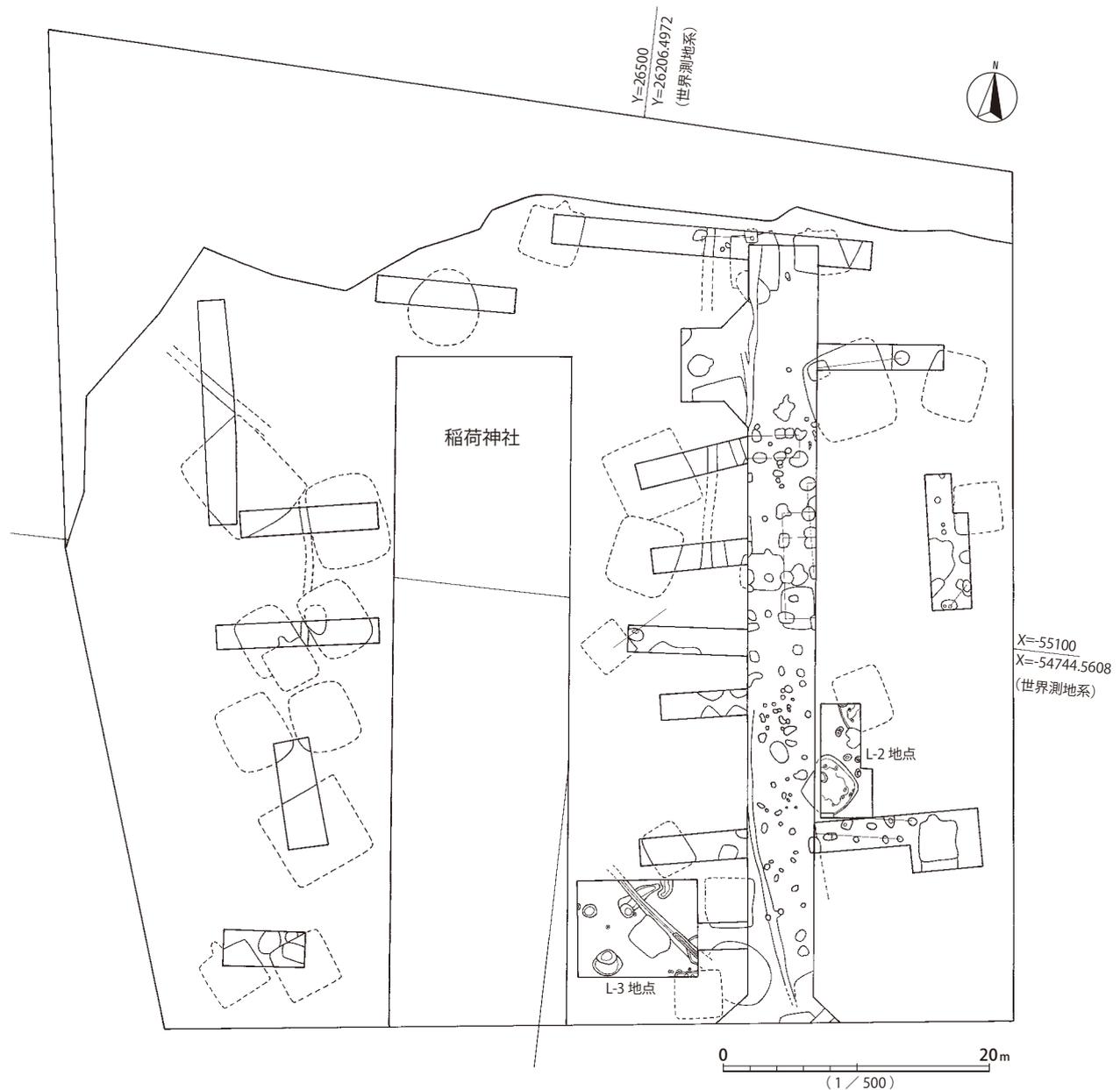
認した。耕作の影響により、いずれのトレンチにおいても、表土下20～40cmにてローム面が表出しており、遺構確認面となった（第32図）。現地は廃寺である神主院跡から北東100mにある。

遺構と遺物 調査区北側6トレンチにおいて、平安期の竪穴建物跡を検出した。耕作の影響により遺構の深度が浅く、確認面にて床の硬化面が露出する。遺物は、床面上より土師器杯（第32図1・2）、平瓦（第33図4）等が出土している。中央部9・10トレンチからは、古墳時代前期及び奈良・平安期の竪穴建物跡が検出された。9トレンチは遺構の重複が著しく、南から北に向かって遺構深度が深くなり、帰属時期が新しくなっている。最も南側の竪穴建物跡は、確認面においてほぼ床が表出していた。古墳時代前期としたが、出土遺物が僅少で帰属時期の判断は困難であり、トレンチ内より弥生時代後期高杯脚部8が出土していることから、弥生時代後期の遺構である可能性は残されている。北側の奈良期竪穴建物跡からは、須恵器蓋11が出土している。焼成が良好で混入物が少なく永田・不入窯産と考えられる。永田14号窯の製品か。10トレンチからは、古墳時代前期と平安期の竪穴建物跡が確認された。平安期建物跡からは、内面を黒色処理した土師器杯12が出土した。古墳時代前期の建物跡は、竪穴の立ち上がりが認められず、確認面において炉や柱穴の位置が確認できる状態であった。出土遺物は僅少であり遺構の状況等から古墳時代前期と判断した。南側の2・3トレンチでは、方形竪穴跡を検出した。大きなロームブロックを均等に含む暗褐色土を基本とし、底面まで均質な覆土が堆積していると考えられる。図示できる遺物の出土はなかったが、状況から中世期の所産と考えられる。

11 稲荷台遺跡 (L-2 地点)

調査概要 稲荷台遺跡L地点は、郡本遺跡群の南側に広がる稲荷台遺跡の西北部に位置し (第3図)、背後の小谷部分は字名「在長面」と呼ばれ、在庁官人の給免田を意味すると考えられており、周囲の字名や調査成果と合わせ、国府との関連が想定される場所である。南西300mには、国司館跡の可能性が指摘されているE地区が存在し、官衙関連遺跡の広がりを把握することが調査の主目的の一つであった。

調査は、平成18年に稲荷神社を取り囲むようにしてトレンチ確認調査が行われており、弥生時代後期から奈良・平安時代の遺構が展開していることが確認された。特徴は、調査区全域において遺構が確認されていることであり、弥生時代後期から古墳時代前期にかけての竪穴建物跡が展開する時期と、奈良・平安時代の遺構が展開する時期に分けられる。その後、平成24年に東側道路部分の本調査が行われ、確認調査の結果を敷衍するように、弥生時代後期から古墳時代前期の竪穴建物跡及び奈良・平安時代の竪穴建物跡

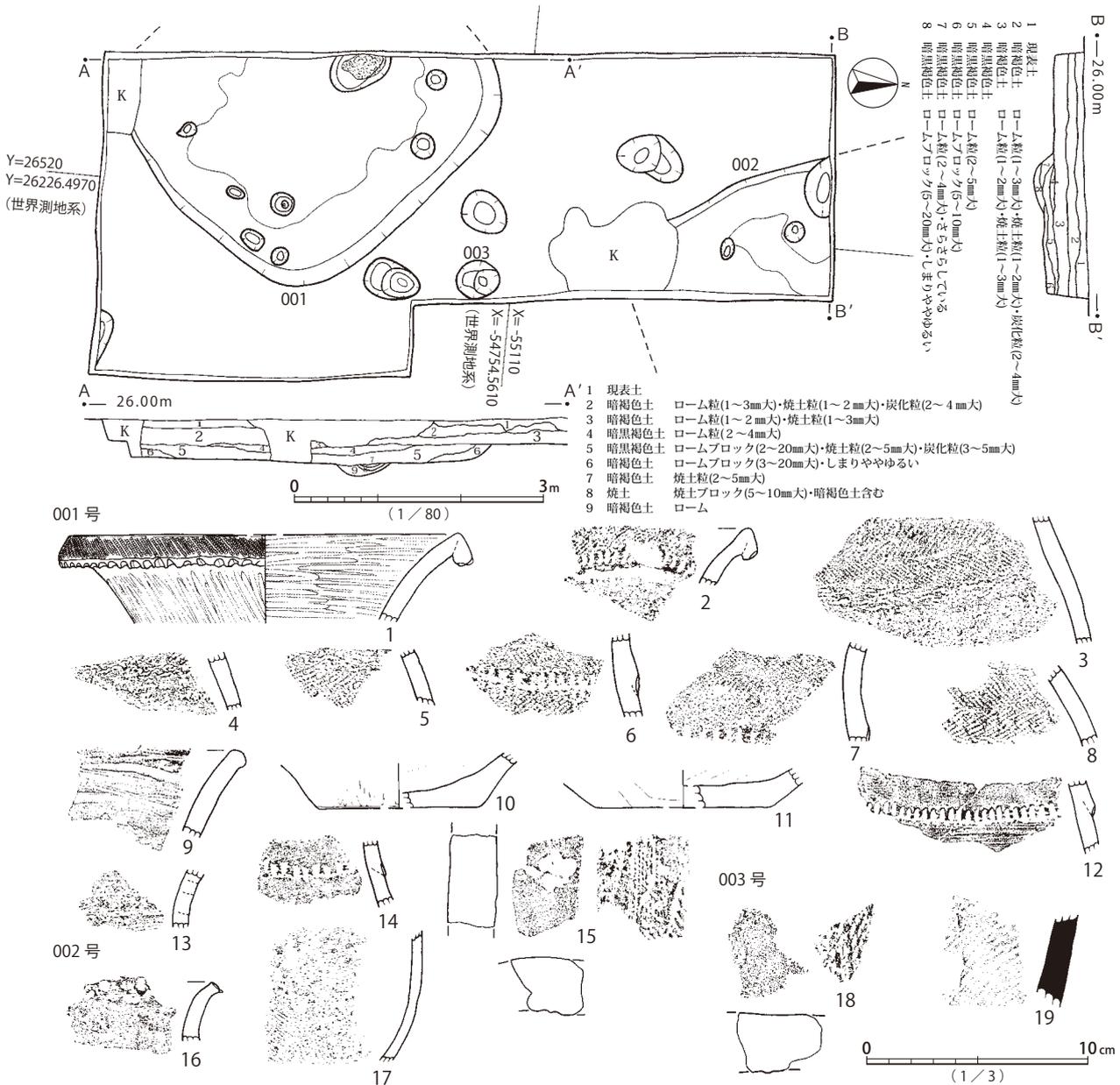


第34図 稲荷台遺跡 (L-2・L-3 地点) 調査区配置図

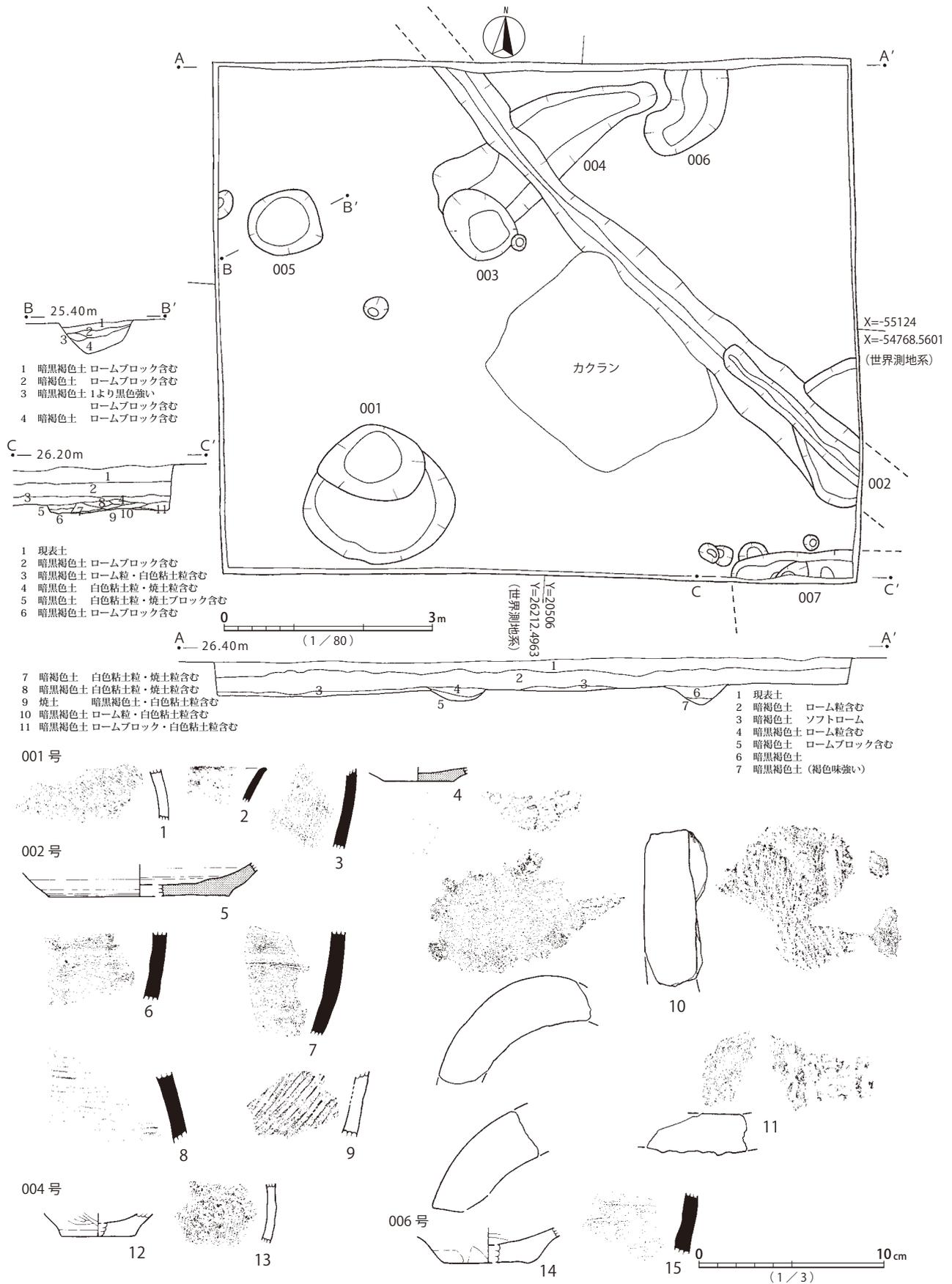
や一部、掘立柱建物跡などが検出された。また、中世期まで下る可能性がある小規模なピットも多数検出されており、中世まで視野に入れた広範囲の遺構の帰属時期の把握、及び性格の検討が必要であることが示された。上記の成果を考慮に入れて、今回は、東側道路部分に面して調査が行われたL-2・L-3地点について報告する(第34図)。

L-2地点は、個人住宅の建設に伴って本調査が行われ、駐車場部分の43㎡が対象となった。調査の結果、弥生時代後期及び古墳時代前期の竪穴建物跡、中世土坑跡などを検出した。かつて神社の境内地であったが、表土下30~40cmにてソフトローム面が表出しており、遺構確認面となった(第35図)。

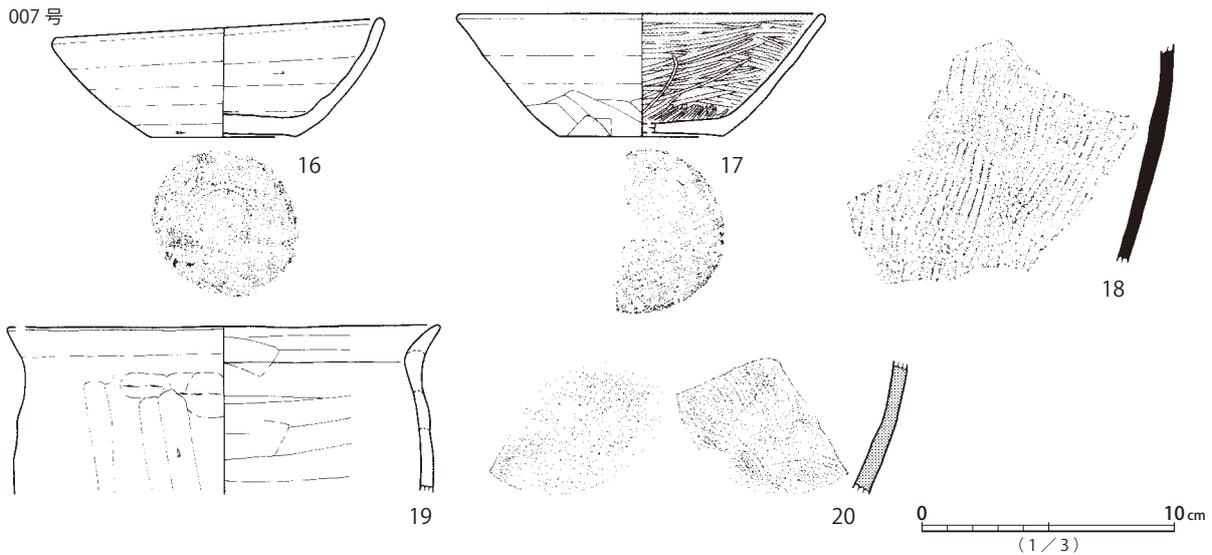
遺構と遺物 調査区南西部において、弥生時代後期の竪穴建物跡001を検出した。遺構深度は、20cm程度を測り、覆土は暗褐色土を基本とする。北西部に炉があり、大量の焼土が堆積していた。柱穴は、南東部以外は浅く、はっきりとしない。中央部に明瞭な硬化面が存在していた。遺物は、床面上から弥生時代後期壺口縁部(第35図1)、覆土中から2などが出土している。他に平瓦片15が出土しているが混入であろう。



第35図 稲荷台遺跡(L-2地点) 調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図



第36図 稲荷台遺跡 (L-3地点) 調査区全体図・土層断面図および出土遺物実測図 1



第37図 稲荷台遺跡（L-3地点）出土遺物実測図2

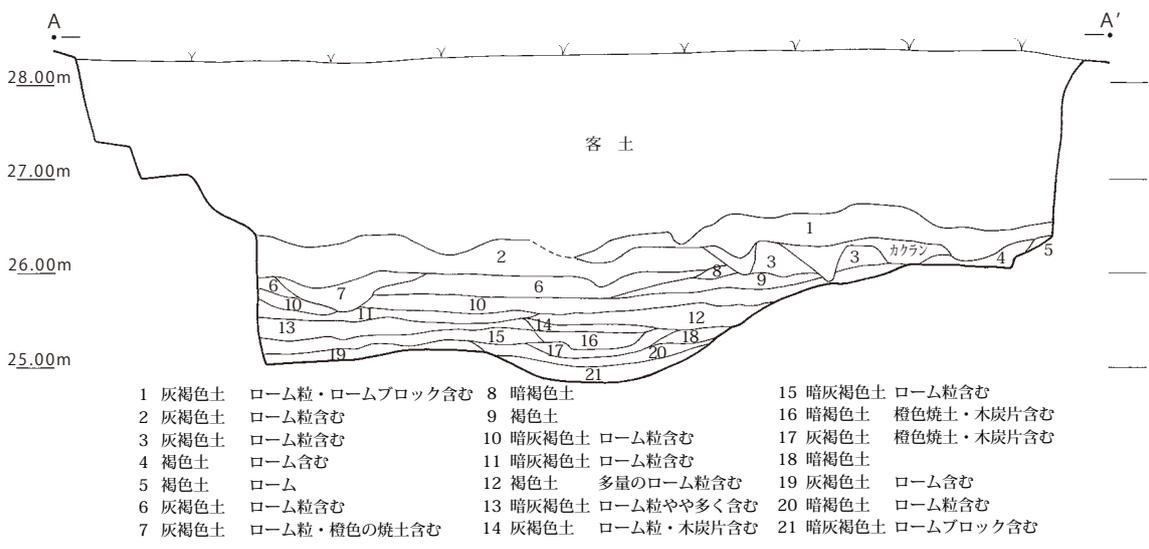
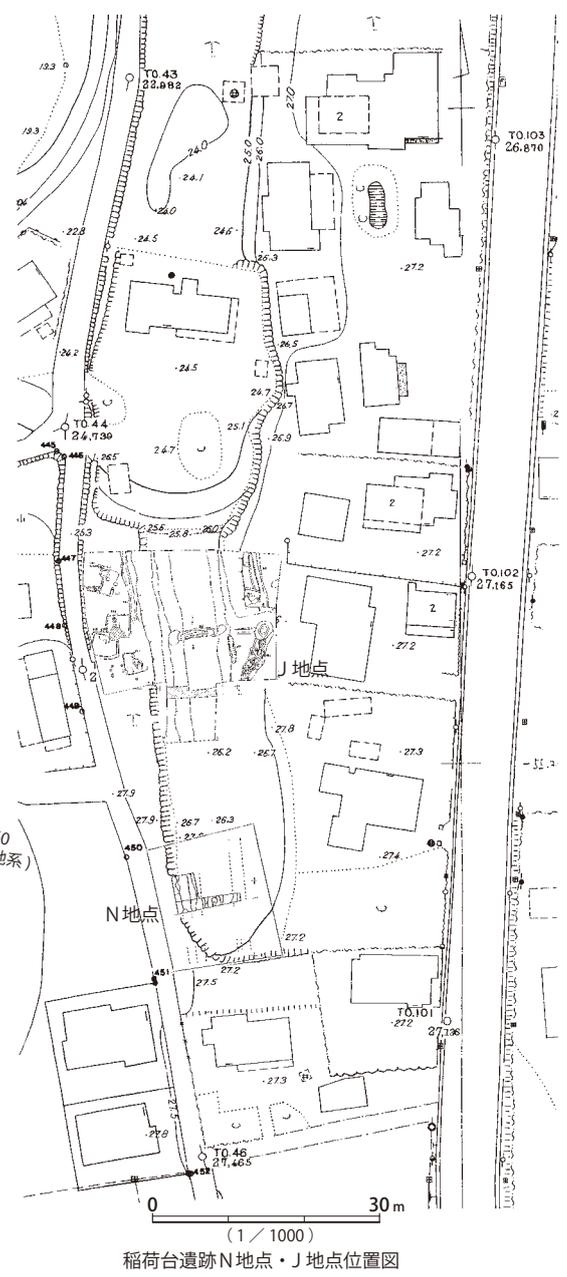
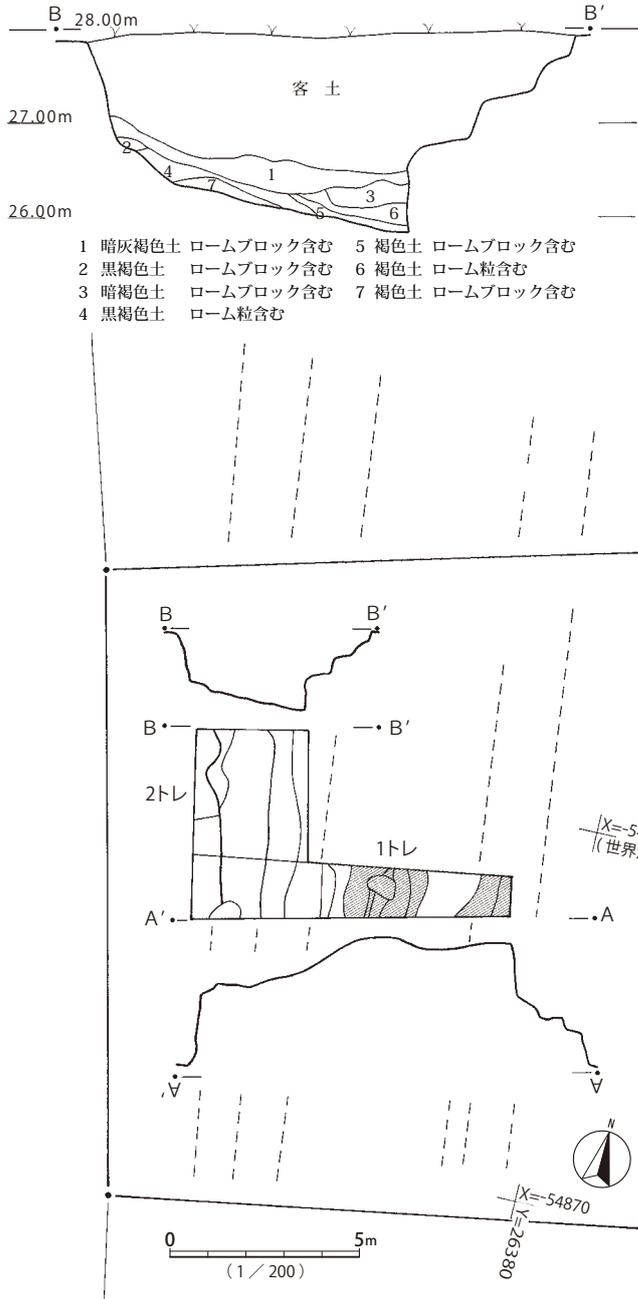
北東部からは、古墳時代前期の竪穴建物跡002を検出した。遺構深度は20cmに満たない。覆土はやや黒色を帯びる暗褐色土を基本とする。床面はあまり硬化せず、はっきりしなかった。遺物の出土は僅少で、弥生時代後期甕口縁部小片16等が出土するのみである。覆土等から古墳時代前期としたが、弥生時代後期の可能性は残されている。

12 稲荷台遺跡（L-3地点）

調査概要 L-3地点は、個人住宅の建設に伴って本調査が行われ、宅地部分の68.8㎡が対象となった。調査の結果、平安時代の竪穴建物跡及び溝跡、中世土坑跡などを検出した。かつて神社の境内地であったが、表土下40cmにてソフトローム面が表出しており、遺構確認面となった（第36図）。

遺構と遺物 調査区南東部において、平安時代の竪穴建物跡007を検出した。遺構深度は、20cm程度を測り、覆土は黒色の強い暗黒褐色土を基本とする。竪穴建物跡の北西端部のみの検出であり、柱穴及び明瞭な硬化面等は認められなかった。東側に白色粘土の堆積が認められ、北辺中央部にカマドが存在していると考えられる。遺物は、カマド近辺と考えられる東側において、覆土下層からロクロ土器器杯（第37図16）や、覆土中層から内面黒色処理の杯17等が出土している。

北東部では、南東から北西方向に向かって平安期と考えられる溝跡002を検出した。検出長8.0m、上面幅40～80cm、遺構深度20cm程度を測る小規模な溝で、覆土は黒色を帯びる暗褐色土を基本とする。社殿付近を抜け北西方向に向かっていくと考えられる。遺物は、覆土上層から灰釉陶器壺底部（第36図5）や丸瓦片10等が出土している。他には、北西側に小規模な土坑跡005があり、遺構深度は40cm程度を測り、ロームブロックを含む暗褐色土を主体とする。図示できる遺物の出土はなかったが、覆土の状況から中世期の所産と判断した。また、南西側にあった近世期の塚の近辺に土坑状の掘り込み001があり、備中鍬の鍬先が出土した。



第38図 稲荷台遺跡 (N地点) 周辺地形図・調査区全体図

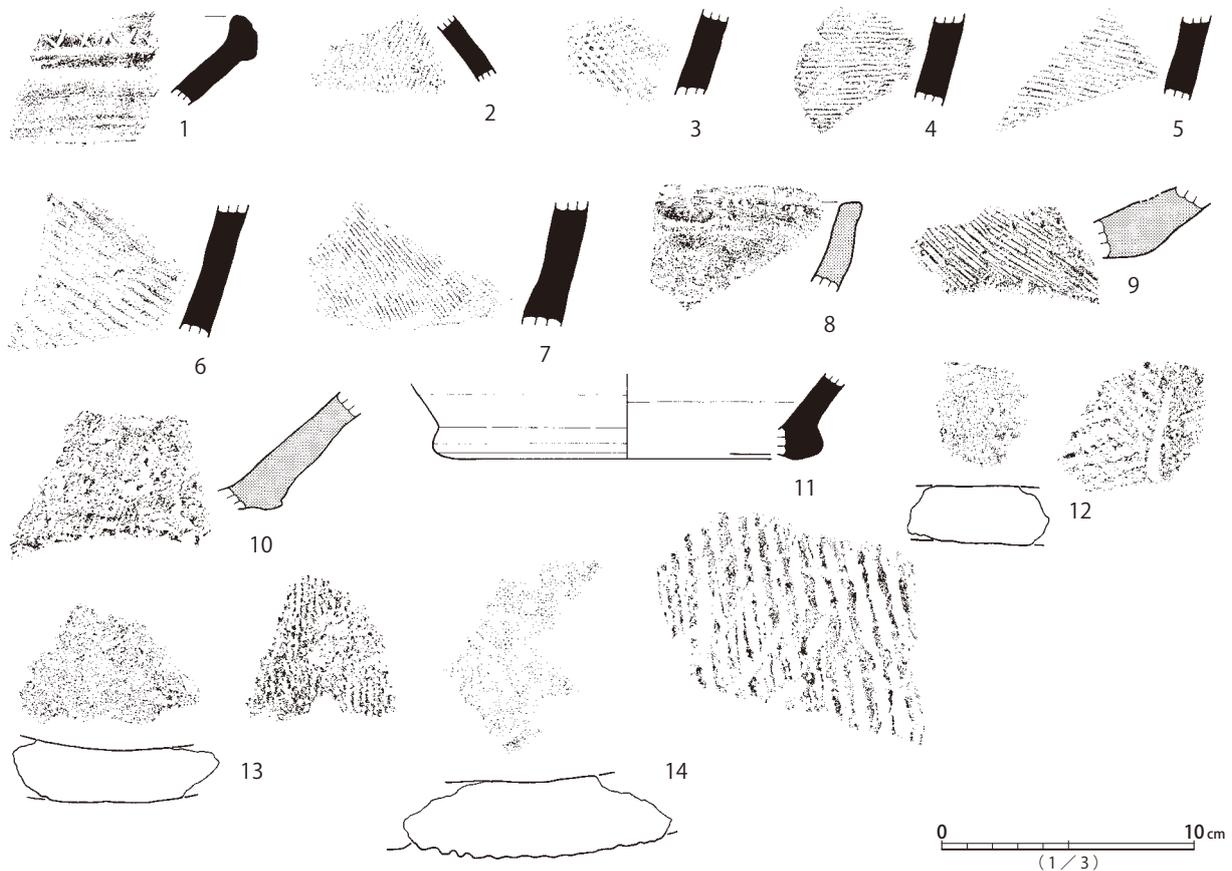
13 稲荷台遺跡（N地点）

調査概要 調査地点は第3図の下端にあり、稲荷台遺跡の北部に位置する。稲荷台遺跡は、王賜銘鉄剣出土で著名な稲荷台1号墳を含む山田橋地区の重要遺跡群で、稲荷台遺跡E区とI区は9～10世紀の官衙遺構として国司館域と推定されている。稲荷台遺跡は古代道路が東側に隣接し、道路遺構が南北に走る。今回対象となったN地点の調査区は、古代から中世の道路遺構などが良好に検出されたJ地点調査区の南側30mの近接地にあり（第38図）、同様の遺構の検出が推定され、それが明確となった。当該地は、地下深い遺構のため凹地状地形が近年まで維持され、現宅地造成時には客土で埋められている。J地点では凹地外部分では、住居等検出されたが、N地点調査では、凹地外部分の調査は行っていない。古代道は、郡衙と諸機関を連絡する伝路と考えられる。

遺構と遺物 客土を除くと遺構確認面は地山のハードロームに近く、すぐに覆土となる。1トレから2トレに拡張し、複数の道路硬化面と基底面まで、そして西側道路範囲肩部分まで検出した。第39図に示す遺物は須恵器、中世陶器、布目瓦が上下混在して検出され、J地点と同様に古代から中世前半まで機能した道路遺構と推測される。

参考文献

- 財団法人市原市文化財センター2003「稲荷台遺跡」『（財）市原市文化財センター調査報告書』第83集（A～H地点）
- 市原市教育委員会2000「稲荷台遺跡」『平成11年度 市原市内遺跡発掘調査報告』（I地点）
- 市原市教育委員会2003「稲荷台遺跡」『平成14年度 市原市内遺跡発掘調査報告』（J地点）
- 市原市教育委員会2007「稲荷台遺跡L地点」『平成18年度 市原市内遺跡発掘調査報告』



第39図 稲荷台遺跡（N地点）出土遺物実測図

第5表 能満分区遺跡群（貝殻塚地区）出土土器集計

トレンチ	層位	小ゾリット		加割利E		名称寺		堀之内1		堀之内2		加割利B		単谷		安行		安行(聰明)		不明		
		点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	点数	重量(g)	
1トレ	包含層	5	164	53	1,934	49	1,745	29	449	1	471	23	319	3	42	163	5,124	610	8,634			
2トレ	包含層	1	62	58	2,073	92	4,018	153	3,872	2	63	76	1,272	5	127	387	11,487	754	10,571			
3トレ	包含層	0	0	0	0	0	0	7	226	0	0	0	0	0	0	7	226	10	226			
4トレ	包含層	0	0	2	83	0	0	6	79	0	0	2	67	0	0	10	229	30	282			
5トレ	包含層	3	90	12	263	18	683	59	1,746	0	0	51	1,746	4	163	148	4,056	430	4,628			
7トレ	包含層	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	16	40	284			
8トレ	包含層	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	15	0	0	2	256	3	28			
9トレ	包含層	0	0	9	377	6	539	82	241	0	0	1	15	0	0	30	19	1,080	172	2,802		
合計	包含層	9	316	134	4,730	165	6,985	256	6,054	3	534	154	3,435	13	362	737	22,474	2,049	27,155			
1トレ	貝層	5	105	56	1,073	26	709	13	96	0	0	13	153	0	0	102	2,026	328	3,689			
5トレ	貝層	0	0	8	82	9	172	8	132	0	0	7	133	1	30	33	549	80	904			
2トレ	貝層	2	28	1	63	3	245	7	101	0	0	0	0	0	0	13	437	128	1,077			
2トレ	上層貝層	7	164	56	1,080	38	836	32	418	0	0	4	35	0	0	137	2,533	368	5,625			
2トレ	下層貝層	1	17	7	162	9	238	4	46	0	0	0	0	0	0	21	463	50	749			
2トレ	第1貝層	2	45	17	462	12	390	9	145	0	0	0	0	0	0	40	1,042	100	1,415			
2トレ	第2貝層	0	0	2	42	1	16	11	77	0	0	0	0	0	0	14	135	58	430			
合計	貝層	17	359	147	2,964	98	2,606	84	1,015	1	25	12	186	1	30	360	7,185	1,112	13,889			
			5.0%		41.3%		36.3%		14.1%		0.3%		2.6%		0.4%							

第6表 出土遺物属性表1

図No.	遺物コード	遺跡	トレンチ	遺構	層位	取り上げ方法	取上げ位置	層位	小区	細別	器形	部位	口径	底径	器高	胎土・含有物		焼成	色調	調整	文様	備考
																細砂	粗砂					
7-1	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	1	包含層	25	包含層	6	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	灰	襷帯内に単節LR細文			
7-2	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	4	包含層	40	包含層	5	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	深い沈瀬区内面に単節LR細文		波状口縁	
7-3	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	5	包含層	22	包含層	9	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	浅い沈瀬区内面に単節LR細文			
7-4	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	3	包含層	6	包含層	3	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	浅い沈瀬区内面に単節LR細文			
7-5	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	7	包含層	27	包含層	7	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	深い沈瀬区内面に単節LR細文			
7-6	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	12	包含層	73	包含層	12	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	深い沈瀬区内面に単節LR細文			
7-7	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	17	包含層	89	包含層	17	点あけ	細文	深鉢	胴部					良好	黒褐	深い沈瀬区内面に単節LR細文			
7-8	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	19	貝層(ノゾリ)	19	貝層	10	点あけ	細文	深鉢	胴部						良好	黒褐	深い沈瀬区内面に単節LR細文		
7-9	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	13	包含層	74	包含層	13	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	深い沈瀬区内面に単節LR細文			
7-10	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	13	包含層	74	包含層	13	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	深い沈瀬区内面に単節LR細文			
7-11	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	8	包含層	30-31	包含層	16	点あけ	細文	深鉢	胴部					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-12	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	16	包含層	12	包含層	8	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	灰黄褐	襷帯内に単節LR細文			
7-13	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	11	包含層	72	包含層	14	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	灰黄褐	襷帯内に単節LR細文			
7-14	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	14	包含層	76	包含層	11	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	灰黄褐	襷帯内に単節LR細文			
7-15	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	104	包含層	53	包含層	104	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-16	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	1	包含層	1	包含層	1	一括	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-17	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	20	包含層	7	包含層	20	一括	細文	浅鉢	口縁					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-18	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	4	包含層	7	包含層	4	点あけ	細文	胴部						良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-19	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	15-18	包含層	77	貝層	15-18	包含層	細文	台鉢	台部						良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文		
7-20	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	1トレ	2	包含層	4	包含層	2	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-21	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	2トレ	52	包含層	88	上層貝層	52	一括	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-22	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	2トレ	49	包含層	1	上層貝層	49	一括	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-23	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	2トレ	48	包含層	1	上層貝層	48	一括	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-24	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	2トレ	35	包含層	136	包含層	35	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-25	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	2トレ	56	包含層	6	包含層	56	一括	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-26	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	2トレ	43	包含層	6	貝層	43	点あけ	細文	深鉢	胴部					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			
7-27	セ508	能満分区遺跡群(貝殻塚地区)	2トレ	54	包含層	304	貝層	54	点あけ	細文	深鉢	口縁					良好	黒褐	襷帯内に単節LR細文			

※ 単位はcm

図号	型コード	トレンチ	道標	取上げ方法	取上げ高	層位	小区	種別	器形	部位	口径	底径	器高	胎土・含有物	焼成	色調	調整	文様	備考
7 29	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	点あひ	70	包含層		細文	深鉢	胴部				細砂	良好	黒褐		深い沈瀬区画内に列点文	
7 28	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	点あひ	161	包含層	X-1	細文	深鉢	胴部				細砂	良好	黒褐		深い沈瀬区画内に列点文	
8 30	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	一括		下部土層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒灰		S字貼付文	波状口縁
8 31	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	点あひ	162・165	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒灰		斜位のキザミを付す横位の筋帯、以下単節LR細文	
8 32	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	点あひ	166	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	灰黄褐		沈瀬区画内に単節LR細文	
8 33	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	点あひ	24	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	にぶい、橙		斜位の細く短い沈瀬文	
8 34	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	点あひ	33	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒灰		横位・斜位の浅い平行沈瀬文	
8 35	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	点あひ	125	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	にぶい、橙		横位・斜位の深い平行沈瀬文	
8 36	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	点あひ	26	目層	P-1	細文	深鉢	胴部				細砂	良好	にぶい、橙		平行線文間に単節細文	
8 37	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	一括	51	上部土層		細文	鉢	口縁				細砂	良好	橙		浅い沈瀬区画内に単節LR細文	
8 38	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	点あひ	44	包含層	新・J-1	細文	鉢	口縁				細砂	良好	横位のミナガキ			
8 39	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	点あひ	28	包含層		細文	浅鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		浅い沈瀬による平行線文	
8 40	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	一括	50	上部土層	P-1	細文	浅鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		くわ部に残り連続刺突文、以下横位の条線文	
8 41	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	点あひ	98	包含層		細文	鉢	完形	8.2	4.9	7.7	細砂	良好	黒褐		沈瀬区画内に単節LR細文	波状口縁
8 42	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	22	点あひ	12	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒灰		沈瀬区画内に単節LR細文	
8 43	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	42	貝層中(ア)中(8)	目層	第2	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		口唇部に刺突、浅い沈瀬区画内に斜位の条線	粗製
8 44	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	32	点あひ	112	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		口唇部に浅い刺突	粗製
8 45	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	38	点あひ	158	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		口唇部に浅い刺突	粗製
8 46	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	26	点あひ	29	包含層	細文	深鉢	胴部				細砂	良好	黒褐～暗褐		口唇部に沈瀬とキザミ、以下横位の条線文	粗製
8 47	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	25	点あひ	27	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒灰～黒褐		横位の粗線文、円形貼付文	粗製
8 48	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	33	点あひ	113	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		粗線文、斜い地細文上に斜位の条線文	粗製
8 49	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	36	点あひ	142	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒灰		粗線文、斜い地細文上に斜位の条線文	粗製
8 50	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	31	点あひ	111	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		粗線文、斜い地細文上に斜位の条線文	粗製
8 51	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	37	点あひ	146	包含層	細文	深鉢	胴部				細砂	良好	黒灰		粗線文、斜位の条線文	粗製
8 52	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	46	点あひ	9	貝層	細文	深鉢	胴部				細砂	良好	黒褐		斜位の浅い条線文	粗製
9 53	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	21	点あひ	5	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		横位の刺突文、貼付文	粗製
9 54	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	60	一括	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		横位の条線文、弧状文	粗製
9 55	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	63	一括	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		単節LR併用細文、貼付文	粗製
9 56	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	61	一括	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	橙		単節LR併用細文、貼付文	粗製
9 57	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	64	一括	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		単節LR併用細文、貼付文	粗製
9 58	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	55	一括	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		斜位の条線文	粗製
9 59	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	62	一括	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒灰		横位の刺突文、貼付文	粗製
9 60	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	65	一括	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	にぶい、赤褐		横位の条線文、弧状文	粗製
9 61	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	57	一括	包含層		細文	鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		単節LR細文	粗製
9 62	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	58	一括	包含層		細文	鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		平行沈瀬文、口唇部に貼付文	粗製
9 63	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	2トレ	59	一括	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		口唇部に瘤状の貼付	粗製
9 64	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	3トレ	66	点あひ	3	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	橙		沈瀬区画内に単節LR細文、口唇部にキザミ	波状口縁
9 65	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	3トレ	67	点あひ	4	包含層	細文	鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		沈瀬区画内に単節LR細文、口唇部にキザミ	波状口縁
9 66	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	4トレ	68	一括	包含層		細文	深鉢	胴部				細砂	良好	黒褐		沈瀬区画内に単節LR細文、貼付文	粗製
9 67	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	73	点あひ	29	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	橙		円孔文	波状口縁
9 68	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	84	点あひ	包含層		細文	鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		深い沈瀬による斜文、縦位・横位の深い筋状文	粗製
9 69	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	76	点あひ	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		縦位の平行線文、単節LR細文	波状口縁
9 70	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	75	点あひ	37	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		口唇部に刺突、山形の条線文	粗製
9 71	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	88	一括	1	目層	D-1	深鉢	口縁				細砂	良好	暗赤褐		横位の連続刺突文、斜位の条線文	粗製
9 72	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	90	一括	1	目層	J-1	深鉢	口縁				細砂	良好	暗赤褐		横位の連続刺突文	粗製
9 73	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	81	点あひ	包含層		細文	鉢	口縁				細砂	良好	にぶい、赤褐		粗い指ナデ	粗製
9 74	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	85	点あひ	包含層		細文	浅鉢	口縁				細砂	良好	暗赤褐		沈瀬区画内に単節LR細文	波状口縁
9 75	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	91	一括	1	目層	J-1	深鉢	口縁				細砂	良好	暗赤褐		沈瀬区画内に単節LR細文	波状口縁
9 76	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	79	点あひ	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	にぶい、橙		口唇部にキザミ	粗製
10 77	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	87	点あひ	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		粗線文、斜い地細文上に斜位の条線文	粗製
10 78	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	80	点あひ	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		粗線文、斜い地細文上に斜位の条線文	粗製
10 79	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	83	点あひ	包含層		細文	深鉢	胴部				細砂	良好	黒褐		粗線文、斜い地細文上に斜位の条線文	粗製
10 80	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	78	点あひ	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐		単節LR併用細文	粗製
10 81	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	77	点あひ	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	赤灰		単節LR併用細文	波状口縁
10 82	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	69	点あひ	5	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	にぶい、橙		単節LR併用細文、貼付文	粗製
10 83	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	86	点あひ	包含層		細文	深鉢	胴部				細砂	良好	黒褐		単節LR併用細文	粗製
10 84	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	94	一括	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	にぶい、橙		単節LR細文	粗製
10 85	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	95	一括	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	にぶい、赤褐			粗製
10 86	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	96	一括	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒灰		沈瀬区画内に無節LR細文、口唇部に貼付文	粗製
10 87	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	82	点あひ	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒灰		横位の刺突文、斜位の条線文	粗製
10 88	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	93	一括	1	貝層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒灰		横位の刺突文、斜位の条線文	粗製
10 89	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	74	点あひ	30	包含層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	橙、黒灰		粗線文、斜位の条線文	粗製あり、粗製
10 90	セ508	能満分区道跡群 (貝殻塚地区)	5トレ	89	一括	4	貝層	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	にぶい、橙		斜位の条線文	粗製

図No.	題コード	選跡	トレンチ	選跡	取り上げ方法	取り上げ部	層位	小区	種別	器形	部位	口径	底径	器高	胎土・含有物	焼成	色調	調整	文様	備考
10 91	セ508	能満分區遺跡群 (貝塚塚地区)	5トレ	71	点あひ	9	包含層	K-1	細文	深鉢	口縁				細砂	良好	にぶい	斜位の糸線文	組製	
10 92	セ508	能満分區遺跡群 (貝塚塚地区)	5トレ	92	一括	1	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	にぶい	斜位のミガキ	組製	
10 93	セ508	能満分區遺跡群 (貝塚塚地区)	5トレ	70	点あひ	7・8	包含層		細文	深鉢	胴部				細砂・小礫	良好	にぶい	横位の連続刺突文、縦位の矢羽根状文	組製	
10 94	セ508	能満分區遺跡群 (貝塚塚地区)	5トレ	72	点あひ	16	包含層		細文	深鉢	底部		4.6		細砂	良好	にぶい	横位の糸線文、底面に細代真	組製	
10 95	セ508	能満分區遺跡群 (貝塚塚地区)	8トレ	97	一括		包含層		細文	深鉢	底部		9.3		細砂	良好	にぶい	底面に細代真 (飛びこ目)	組製	
10 96	セ508	能満分區遺跡群 (貝塚塚地区)	9トレ	101	点あひ	18	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	やや甘い	にぶい	単節R線文		
10 97	セ508	能満分區遺跡群 (貝塚塚地区)	9トレ	98	点あひ	4	包含層		細文	深鉢	胴部				細砂	良好	灰	斜位のナ字真		
10 98	セ508	能満分區遺跡群 (貝塚塚地区)	9トレ	99	点あひ	14	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	灰	斜位のナ字真		
10 99	セ508	能満分區遺跡群 (貝塚塚地区)	9トレ	100	点あひ	15	包含層		細文	深鉢	胴部				細砂	良好	にぶい	斜位の糸線文	組製	
10 100	セ508	能満分區遺跡群 (貝塚塚地区)	9トレ	103	一括		包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	黒褐	沈黙区画内に列点文		
10 101	セ508	能満分區遺跡群 (貝塚塚地区)	9トレ	102	点あひ	21	包含層		細文	深鉢	口縁				細砂	良好	にぶい	単節R線文		
14 1	セ511	大塚遺跡 (心原向地区)	2トレ	3	点あひ	2	深鉢		細文	深鉢	口縁				白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周線文、内面線位の糸線		
14 2	セ511	大塚遺跡 (心原向地区)	1トレ	4	点あひ	4	深鉢		細文	深鉢	口縁				白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	沈黙区画内に単節細文充頭		
14 3	セ511	大塚遺跡 (心原向地区)	4トレ	5	一括		弥生 壺		弥生 壺	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ、内面線位のヘラナナ		
14 4	セ511	大塚遺跡 (心原向地区)	1トレ	2	一括	1	弥生 壺		弥生 壺	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
14 5	セ511	大塚遺跡 (心原向地区)	1トレ	1	一括	1	弥生 壺		弥生 壺	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 1	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	1トレ	1	点あひ	5	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 2	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	3トレ	2	点あひ	12	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 3	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	3トレ	3	点あひ	7	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 4	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	4トレ	8	点あひ	26	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 5	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	4トレ	9	点あひ	27	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 6	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	4トレ	10	点あひ	28	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 7	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	4トレ	11	点あひ	29・30	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 8	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	4トレ	5	一括	1	須恵 甕		須恵 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 9	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	4トレ	6	点あひ	3	灰 甕		灰 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 10	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	4トレ	4	一括	1	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 11	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	10トレ	13	点あひ	20	須恵 甕		須恵 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 12	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	10トレ	12	点あひ	21	須恵 甕		須恵 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 13	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	13トレ	14	点あひ	5	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	浅黄	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 14	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	14トレ	15	点あひ	3	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 15	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	4トレ	7	点あひ	19・25	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 16	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	14トレ	21	点あひ	29	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 17	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	14トレ	23	点あひ	34	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 18	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	14トレ	20	点あひ	7	高台 甕		高台 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	赤	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 19	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	14トレ	16	点あひ	28	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	赤	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
17 20	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	14トレ	17	点あひ	9	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	赤	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 21	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	14トレ	18	点あひ	11	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	赤	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 22	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	14トレ	19	点あひ	26	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	赤	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 23	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	14トレ	24	点あひ	25	瓦		瓦	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	赤	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 24	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	16トレ	25	点あひ	5	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 25	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	17トレ	31	点あひ	34	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 26	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	17トレ	30	点あひ	30	高台 甕		高台 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	赤	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 27	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	17トレ	32	点あひ	45	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 28	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	17トレ	28	点あひ	24	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 29	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	17トレ	27	点あひ	12	須恵 甕		須恵 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 30	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	18トレ	34	点あひ	7	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 31	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	18トレ	33	一括	1	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 32	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	19トレ	38	点あひ	14	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
18 33	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	19トレ	37	点あひ	13	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	赤	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
19 34	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	19トレ	39	点あひ	14・18	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
19 35	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	19トレ	36	点あひ	12	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
19 36	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	19トレ	35	点あひ	19・251	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
19 37	セ512	椎津向原遺跡 (第2地点)	19トレ	40	点あひ	18	土師 甕		土師 甕	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	外周ハケ後ミガキ、内面ヘラナナ		
21 1	セ518	市原遺跡 (前部地区・第2地点)	1号住	4	点あひ	6	覆土		覆土	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	斜位の糸線文	加曾印式組製	
21 2	セ518	市原遺跡 (前部地区・第2地点)	1号住	7	点あひ	15	覆土		覆土	口縁					白色粒、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい	斜位の糸線文	加曾印式組製	

図No.	測点コード	選跡	トロンチ	選構	整理順	取の上付高	層位	種別	器種	口径	正確計底径	経線径	最大径	器高	胎土・含有物	焼成	色調	調整	文様	備考
21	3	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	5	点あひ	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙		口唇部に単節斜線文、平タ ン状附付文。口唇部赤彩	
21	4	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	12	一括	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	口唇部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	5	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	9	点あひ	覆土	弥生	鉢						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	6	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	6	点あひ	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	7	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	14	一括	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	8	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	2	点あひ	覆土	弥生	壺						白色粒、小礫(～1.0mm) 多し	良好	にぶい、橙	口唇部ハナ状工具による刻目		
21	9	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	13	一括	覆土	弥生	壺						白色粒、小礫(～1.0mm)	良好	黒褐	口唇部近縁部刻突		
21	10	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	11	点あひ	覆土	弥生	壺	6.0	1/1	(10.2)			白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	黒褐	外側ヘラナデ、内面ミガキ		
21	11	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	10	点あひ	覆土	弥生?	鉢						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	外側ヘラナデ、内面ミガキ		
21	12	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	1	一括	覆土	土師	環	6.3	1/1				白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	橙	底面回転ヘラケナズリ		
21	13	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	8	点あひ	覆土	弥生	壺	8.0	1/4				白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	外側ヘラナデ、内面ヘラケナズリ		
21	14	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	15	一括	覆土	土師	環						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙			
21	15	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	16	一括	覆土	土師	環						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙			
21	16	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	17	一括	覆土	土師	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙			
21	17	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	3	点あひ	覆土	土師	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多し	良好	にぶい、橙	外内面ナデ		
21	18	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	1号住	18	一括	覆土	陶器	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	灰			
21	19	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	28	一括	覆土	弥生	壺	9.6	1/6				白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	20	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	27	一括	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	21	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	21	点あひ	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	22	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	23	点あひ	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	23	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	30	一括	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多し	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	24	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	31	一括	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	25	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	29	一括	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	26	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	26	点あひ	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多し	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	27	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	25	点あひ	覆土	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	口唇部、口縁部に単節斜線文、口唇部赤彩		
21	28	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	22	点あひ	覆土	土師	環	9.8	1/6				白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	外側ヘラナデ、内面ヘラミガキ		
21	29	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	32	一括	覆土	土師	環						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、黄橙	外側ヘラナデ、内面黒色処理		
21	30	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	20	点あひ	覆土	土師	環	10.0	1/4				白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	外側ヘラナデ、内面黒色処理		
21	31	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	19	点あひ	覆土	土師	環	11.2	-				白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	外内面黒位ヘラミガキ		
21	32	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	33	一括	覆土	土師	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	外内面ミガキ、内面黒色処理		
21	33	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	24	点あひ	覆土	須臾	蓋	9.2	1/8				白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	灰	外内面ミガキ、内面ナデ		
21	34	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	2号住	34	一括	覆土	須臾	蓋						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	灰	外内面口クロ整形		
21	35	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	3号住	36	一括	覆土	弥生	壺	4.0	1/2				白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	外側斜位のミガキ、内面黒位のミガキ		
21	36	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	3号住	39	一括	覆土	土師	環						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	内面黒色処理		
21	37	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	3号住	37	一括	覆土	土師	環						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	褐灰			
21	38	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	3号住	41	一括	覆土	土師	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多し	良好	褐灰			
21	39	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	3号住	40	一括	覆土	土師	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙			
21	40	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	3号住	35	点あひ	覆土	須臾	蓋						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	灰			
21	41	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	3号住	38	一括	覆土	須臾	蓋						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	灰			
21	42	セ518	市原隊(市原地区、第2地点)	4号A	42	一括	覆土	土師	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多し	良好	にぶい、赤褐	外側斜位のミガキ、内面黒位のミガキ		
23	1	セ509	郡本遺跡群(第17次)	001	2	点あひ	弥生	壺		6.3	1/4			白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、赤褐	外側斜位のミガキ、内面黒位のミガキ			
23	2	セ509	郡本遺跡群(第17次)	001	1	一括	弥生	壺		4.5	3/4			白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	外側斜位のミガキ、内面黒位のミガキ			
23	4	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	4	点あひ	弥生	壺		19.9	1/8			白色粒、小礫(～1.0mm) 多し	良好	にぶい、橙	内面ミガキ			
23	5	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	1	点あひ	弥生	壺		5.9	1/1	13.9	(8.8)	白色粒、砂粒(～1.0mm) 多し	良好	赤褐	外側ヘラナデ・ミガキ、内面指頭・ヘラナデ			
23	6	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	2	点あひ	弥生	土師	壺	28.2	1/8			白色粒	良好	赤褐	外側ヘラナデ・ミガキ			
23	7	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	3	点あひ	弥生	壺						(2.8)	良好	にぶい、黄橙	内面ミガキ			
23	8	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	21	一括	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	外側ヘラナデ			
23	9	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	17	一括	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、黄橙	外側ヘラナデ、内面ヘラケナズリ			
23	10	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	18	一括	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	灰褐	外側ヘラナデ、内面ナデ			
23	11	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	19	一括	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多し	良好	赤褐	外側ヘラナデ、内面ナデ			
23	12	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	10	点あひ	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多し	良好	にぶい、橙	外側ヘラナデ、内面ナデ			
23	13	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	13	点あひ	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	灰黄	外側ヘラナデ、内面ミガキ			
23	14	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	8	点あひ	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多し	良好	灰黄	外側ヘラナデ、内面ミガキ			
23	15	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	20	一括	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	灰褐	外側ヘラナデ、内面ナデ			
23	16	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	28	一括	弥生	壺						白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	にぶい、橙	外内面ナデ			
23	17	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	25	一括	弥生	壺		1/2	3.4			白色粒、砂粒(～0.5mm) 多し	良好	にぶい、橙	外内面ナデ・ミガキ			
23	18	セ509	郡本遺跡群(第17次)	002	27	一括	弥生	壺		1/5	6.1			白色粒、砂粒(～0.5mm)	良好	灰褐	外側ヘラケ、内面ミガキ			

図No.	識別コード	遺跡	トレンチ	遺構	取上げ位置	層位	種類	器種	口徑	口徑/底径	底径	最大径	器高	胎土・含有物	焼成	色調	調整	文様	備考
23	20	セ509		遺跡	取り上げ位置	覆土	細文	深鉢						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	青	肌節 R1		
23	21	セ509		遺跡	1 一括	覆土	弥生	鉢						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	灰	口唇部押捺波状		加官利E
23	22	セ509		遺跡	2 点あひ	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
23	23	セ509		遺跡	3 点あひ	覆土	弥生	甕	5.4	1/1		(4.2)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
23	24	セ509		遺跡	4 点あひ	覆土	弥生	甕	4.4	1/4		(2.6)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
23	25	セ509		遺跡	1 点あひ	覆土	弥生	甕	6.5	3/4	1.79	(19.1)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
23	26	セ509		遺跡	1 点あひ	覆土	弥生	甕	7.2	1/4				白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
23	27	セ509		遺跡	7 点あひ	覆土	弥生	甕	7.0	1/1	1.69	(10.1)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
23	28	セ509		遺跡	2 点あひ	覆土	弥生	甕	9.0	1/6	32.6	(28.2)		砂粒、礫(～3.0mm) 多量	良好	黒	外内面ヘラナデ		
24	29	セ509		遺跡	14 点あひ	覆土	弥生	甕	5.2	1/2	13.6	(9.2)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
24	30	セ509		遺跡	11 点あひ	覆土	弥生	甕	6.5	1/2	14.9	(8.5)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		
24	31	セ509		遺跡	28 点あひ	覆土	弥生	甕	18.0	1/8		(5.5)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		
24	32	セ509		遺跡	13 点あひ	覆土	弥生	鉢	16.9	1/4	7.9	1/8	9.5	白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
24	33	セ509		遺跡	12 点あひ	覆土	弥生	鉢	7.1	1/1	13.5	(5.3)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
24	34	セ509		遺跡	58 点あひ	覆土	弥生	甕	7.0	1/2		(4.6)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		
24	35	セ509		遺跡	61 点あひ	覆土	弥生	甕	5.4	1/1		(3.1)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		
24	36	セ509		遺跡	49 点あひ	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		
24	37	セ509		遺跡	25 点あひ	覆土	弥生	土師						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	灰黄	外内面ヘラナデ		
24	38	セ509		遺跡	46 点あひ	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
24	39	セ509		遺跡	47 点あひ	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
24	40	セ509		遺跡	4 点あひ	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
24	41	セ509		遺跡	50 点あひ	覆土	弥生	甕	24.1	3/8		(17.5)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	灰	外内面ヘラナデ		
24	42	セ509		遺跡	52 一括	覆土	弥生	甕	16.2	3/4	6.0	1/2	14.1	白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
24	43	セ509		遺跡	56 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
24	44	セ509		遺跡	5 一括	覆土	弥生	甕	24.1	3/8		(17.5)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	灰	外内面ヘラナデ		
24	45	セ509		遺跡	6 点あひ	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
24	46	セ509		遺跡	48 点あひ	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
24	47	セ509		遺跡	68 一括	覆土	弥生	甕	7.3	1/4		(3.7)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	47	セ509		遺跡	4 点あひ	覆土	弥生	甕	14.5	4/5		(13.0)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	灰	外内面ヘラナデ		
25	48	セ509		遺跡	28 点あひ	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	灰	外内面ヘラナデ		
25	49	セ509		遺跡	155 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	灰	外内面ヘラナデ		
25	50	セ509		遺跡	59 点あひ	覆土	弥生	鉢						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	51	セ509		遺跡	26 点あひ	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	52	セ509		遺跡	30 点あひ	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	53	セ509		遺跡	89 点あひ	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	54	セ509		遺跡	37 点あひ	覆土	弥生	小甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		
25	55	セ509		遺跡	154 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		
25	56	セ509		遺跡	39 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	57	セ509		遺跡	42 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	58	セ509		遺跡	① 釜ノ沖	貝層	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	59	セ509		遺跡	② 釜ノ沖	貝層	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	60	セ509		遺跡	16 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	61	セ509		遺跡	15 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	62	セ509		遺跡	17 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	63	セ509		遺跡	14 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	64	セ509		遺跡	18 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	65	セ509		遺跡	13 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	66	セ509		遺跡	11 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	67	セ509		遺跡	53 一括	覆土	弥生	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	68	セ509		遺跡	4.33.34	覆土	土師	高杯	16.1	1/4		(6.5)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
25	69	セ509		遺跡	24・008.4.5	覆土	土師	高杯	24.0	3/4		(10.5)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		
25	70	セ509		遺跡	8.102.25.29	覆土	土師	高杯						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		
25	71	セ509		遺跡	4 一括	覆土	土師	高杯						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		
25	72	セ509		遺跡	5 点あひ	覆土	土師	高杯						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		
26	72	セ509		遺跡	27.28	覆土	土師	甕	15.2	1/2		(11.6)		白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
26	73	セ509		遺跡	4 点あひ	覆土	土師	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
26	74	セ509		遺跡	35 一括	覆土	土師	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
26	75	セ509		遺跡	8 点あひ	覆土	土師	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
26	76	セ509		遺跡	26 一括	覆土	土師	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	黒	外内面ヘラナデ		
26	76	セ509		遺跡	10 点あひ	覆土	土師	甕						白色粒、砂粒(～0.5mm) 多い	良好	赤	外内面ヘラナデ		

図No.	型コード	選跡	トレンチ	選標	掘削方法	取り上げ高	層位	掘削	器種	口径	底径	総深	最大径	器高	胴土・含有物	構成	色調	調整	文様	備考
26 77	セ509	都本選跡群 (第17次)	007	7	点あひ	45	覆土 吹生	皿	7.4	5.3				1.5	白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	底面回転糸切り	口唇部に車筋斜線文		
26 79	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	1	点あひ	24	覆土 吹生	皿	9.1	2/3			10.7 (12.1)	白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ミガキ、内面ヘラナデ	縦位の沈濁区画内に車筋斜線文		
26 80	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	8	点あひ	27	覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黒濁	縦位の沈濁区画内に車筋斜線文		
26 81	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	10	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黄灰	沈濁区画内に車筋斜線文		
26 82	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	11	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黄灰	車筋斜線文、縦位の車筋斜線文		
26 83	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	17	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	4本車位の波状文、車筋斜線文	内面器壁剥落	
26 84	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	19	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	輪状工具による波状文		
26 85	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	18	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	車筋斜線文、多岐性線による斜線波状文		
26 86	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	20	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	縦位の沈濁文、赤彩		
26 87	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	13	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	縦位の沈濁文		
26 88	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	5	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	輪状工具による波状文		
26 89	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	23	点あひ	23	覆土 吹生	皿		7.0	1/4			(1.7)	白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	縦位の沈濁文		
26 90	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	22	点あひ	36	覆土 吹生	皿		7.0	1/1			(2.6)	白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	外面縦位のヘラミガキ、内面縦位のヘラミガキ		
26 91	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	21	点あひ	2	覆土 吹生	皿		5.9	1/2			(3.6)	白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	外面縦位のヘラミガキ、内面ヘラミガキ		
26 92	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	3	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黒濁	外面ヘラミガキ		
26 93	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	6	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黒濁	外面ヘラミガキ		
26 94	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	7	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
26 95	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	4	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ		
26 96	セ509	都本選跡群 (第17次)	008	12	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ		
26 97	セ509	都本選跡群 (第17次)	009	2	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面縦位のヘラミガキ		
26 98	セ509	都本選跡群 (第17次)	009	1	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
26 99	セ509	都本選跡群 (第17次)	010	1	点あひ	2	覆土 陶器	大皿							砂粒・礫 (-3.0mm) 多量	良好	赤濁	外面ヘラミガキ	常滑	
26 100	セ509	都本選跡群 (第17次)	013	1	点あひ	2	覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黒濁	外面ヘラミガキ		
26 101	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	1	点あひ	10	覆土 土師	高杯	9.1	1/1	5.0	1/1	12.3	14.1	白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ		
26 102	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	3	点あひ	47	覆土 土師	高杯	19.9				(4.7)	白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ、全面赤彩			
26 103	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	5	一拵		覆土 土師	椀	9.5				(7.1)	白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面縦位のハケ、下平ヘラミガキ	内面ヘラミガキ		
26 104	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	4	点あひ	7	覆土 土師	高杯					(3.1)	白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面縦位のヘラミガキ、内面ヘラミガキ、胴部ヘラミガキ			
26 105	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	36	点あひ	34	覆土 吹生	皿		7.5	1/2				白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 106	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	35	点あひ	8	覆土 吹生	皿		4.0	1/1				白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 107	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	6	点あひ	15	覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	灰黄濁	内面縦位のハケ		
27 108	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	18	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 109	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	14	点あひ	41	覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ミガキ、内面ヘラミガキ		
27 110	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	39	点あひ	9	覆土 吹生	皿		6.0	1/4				白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ		
27 111	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	19	点あひ	5	覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	外面ヘラミガキ後ミガキ		
27 112	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	32	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 113	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	31	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 114	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	26	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 115	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	15	点あひ	43	覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黒濁	外面ミガキ、内面縦位のハケ		
27 116	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	22	点あひ	18	覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	灰濁	内面ヘラミガキ		
27 117	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	28	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい赤濁	外面ヘラミガキ		
27 118	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	20	一拵		覆土 吹生	皿			14.0				白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい赤濁	外面ヘラミガキ		
27 119	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	7	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい赤濁	外面ヘラミガキ		
27 120	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	25	一拵		覆土 吹生	皿							小礫 (0.5~1.5mm) 多い	良好	にぶい赤濁	外面ヘラミガキ		
27 121	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	8	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黒濁	外面ヘラミガキ		
27 122	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	49	点あひ	55	覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ		
27 123	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	16	点あひ	17	覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ		
27 124	セ509	都本選跡群 (第17次)	014	23	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	浅黄	内面ヘラミガキ		
27 127	セ509	都本選跡群 (第17次)	015	2	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黒濁	内面ヘラミガキ		
27 128	セ509	都本選跡群 (第17次)	015	1	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黒濁	外面ヘラミガキ		
27 129	セ509	都本選跡群 (第17次)	015	4	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ		
27 130	セ509	都本選跡群 (第17次)	015	1	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	赤濁	外面ヘラミガキ、内面ヘラミガキ		
27 131	セ509	都本選跡群 (第17次)	015	10	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 132	セ509	都本選跡群 (第17次)	015	17	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 133	セ509	都本選跡群 (第17次)	015	14	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 134	セ509	都本選跡群 (第17次)	015	15	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 135	セ509	都本選跡群 (第17次)	015	16	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 136	セ509	都本選跡群 (第17次)	015	13	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
27 138	セ509	都本選跡群 (第18次)	2ト	4	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	にぶい黄緑	外面ヘラミガキ		
29 1	セ510	都本選跡群 (第18次)	3ト	1	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	灰濁	底面に木炭灰		
29 2	セ510	都本選跡群 (第18次)	3ト	4	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	灰濁	底面に木炭灰		
29 3	セ510	都本選跡群 (第18次)	3ト	3	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黒濁	底面に木炭灰		
29 4	セ510	都本選跡群 (第18次)	3ト	4	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黒濁	底面に木炭灰		
29 5	セ510	都本選跡群 (第18次)	3ト	4	一拵		覆土 吹生	皿							白色粒、砂粒 (-0.5mm) 多い	良好	黒濁	底面に木炭灰		

図No.	型コード	遺跡	トレンチ	遺構	整理順	動土方法	取り上り量	層位	種類	器種	口径	内径	底径	底径/口径	最大径	器高	胴土・含有物	焼成	色調	調整	文様	備考
29	4	7-510	都本遺跡群 (第18次)	3トレ	2	一括	4		土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面横位のヘラナデ、底面ヘラケズリ			
29	5	7-510	都本遺跡群 (第18次)	3トレ	5	一括	4		土師	環						白色釉、小礫 (~1.0mm) 多い	良好	にぶい釉	外面横位のヘラナデ、底面ヘラケズリ			
29	6	7-510	都本遺跡群 (第18次)	3トレ	7	点あけ	8		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒	箱口脚突文			
29	7	7-510	都本遺跡群 (第18次)	3トレ	3号P1	6点あけ	7		覆土、土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒				
29	8	7-510	都本遺跡群 (第18次)	3トレ	3号P1	12点あけ	19		覆土、土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒				
29	9	7-510	都本遺跡群 (第18次)	3トレ	3号P2	9点あけ	12		覆土、土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	底面回転系切り			
29	10	7-510	都本遺跡群 (第18次)	3トレ	3号P2	11点あけ	14		覆土、土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	底面回転系切り			
29	11	7-510	都本遺跡群 (第18次)	3トレ	3号P2	8点あけ	11		覆土、土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒	外面ヘラケズリ、底面回転系切り後ヘラケズリ			
29	12	7-510	都本遺跡群 (第18次)	3トレ	3号P2	10点あけ	14		覆土、土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラケズリ、底面回転系切り後ヘラケズリ			
30	1	7-515	都本遺跡群 (第19次)	1トレ	001	1点あけ	2		土師	環	11.6	1/4	4.6	1/1	4.2	白色釉、小礫 (~2.0mm) 多い	良好	にぶい釉	外面回転系切り			
30	2	7-515	都本遺跡群 (第19次)	2トレ	001	9点あけ	24		土師	環	10.0	1/4			(2.4)	白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面回転系切り			
30	3	7-515	都本遺跡群 (第19次)	2トレ	001	5点あけ	12		土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
30	4	7-515	都本遺跡群 (第19次)	2トレ	001	2点あけ	5		土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒	外面ヘラケズリ			
30	5	7-515	都本遺跡群 (第19次)	2トレ	001	4点あけ	11		土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒	外面ヘラケズリ			
30	6	7-515	都本遺跡群 (第19次)	2トレ	001	11点あけ	31		土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒	外面ヘラケズリ			
30	7	7-515	都本遺跡群 (第19次)	3トレ	001	12点あけ	4	上層 初7	土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒	底面回転系切り			
30	8	7-515	都本遺跡群 (第19次)	4トレ	001	13点あけ	2		須恵	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外面平行印き			
30	9	7-515	都本遺跡群 (第19次)	2トレ	001	8点あけ	19		土師	高台環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面平行印き			
30	10	7-515	都本遺跡群 (第19次)	2トレ	001	7点あけ	17		土師	高台環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面平行印き			
30	11	7-515	都本遺跡群 (第19次)	2トレ	001	10点あけ	30		土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面平行印き			
30	12	7-515	都本遺跡群 (第19次)	2トレ	001	3点あけ	8		土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面平行印き			
30	13	7-515	都本遺跡群 (第19次)	2トレ	001	6点あけ	15		土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面平行印き			
31	1	7-519	都本遺跡群 (第20次)	3トレ		一括	3		須恵	環						白色釉、小礫 (~1.0mm) 多い	良好	灰	外面平行印き			
31	2	7-519	都本遺跡群 (第20次)	5トレ		一括	3		須恵	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外面平行印き			
31	3	7-519	都本遺跡群 (第20次)	7トレ		一括	4		須恵	環						白色釉、小礫 (~1.0mm) 多い	良好	灰	外面平行印き			
31	4	7-519	都本遺跡群 (第20次)	8トレ		一括	6		須恵	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外面平行印き			
31	5	7-519	都本遺跡群 (第20次)	8トレ		一括	7		陶器	片土群						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	青灰	外面平行印き			
31	6	7-519	都本遺跡群 (第20次)	7トレ		一括	3		陶器	片土群						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	青灰	外面平行印き			
31	7	7-519	都本遺跡群 (第20次)	8トレ		一括	5		須恵	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	青灰	外面平行印き			
31	8	7-519	都本遺跡群 (第20次)	8トレ		一括	8		須恵	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外面平行印き			
32	1	7-521	都本遺跡群 (第21次)	6トレ	002	2点あけ	12		覆土、土師	環	6.9	1/2				白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面回転系切り			
32	2	7-521	都本遺跡群 (第21次)	6トレ	002	1点あけ	9		覆土、土師	環	12.7	1/3	7.5	1/2	4.0	白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面回転系切り			
32	3	7-521	都本遺跡群 (第21次)	6トレ	001	3点あけ	3		覆土、須恵	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外面回転系切り			
33	4	7-521	都本遺跡群 (第21次)	6トレ	002	5点あけ	11		覆土、瓦	平						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黄灰	外面回転系切り			
33	5	7-521	都本遺跡群 (第21次)	6トレ		一括	4		瓦	平						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面回転系切り			
33	6	7-521	都本遺跡群 (第21次)	8トレ		一括	6		須恵	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外面回転系切り			
33	7	7-521	都本遺跡群 (第21次)	8トレ		一括	7		土師	環	12.2	1/8	6.8	1/2	4.0	白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面回転系切り			
33	8	7-521	都本遺跡群 (第21次)	9トレ		一括	11		弥生	高台						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	赤褐	外面回転系切り			
33	9	7-521	都本遺跡群 (第21次)	9トレ		一括	9		弥生	高台						白色釉、小礫 (~2.0mm) 多い	良好	赤	外面回転系切り			
33	10	7-521	都本遺跡群 (第21次)	9トレ		一括	10		弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	赤	外面回転系切り			
33	11	7-521	都本遺跡群 (第21次)	9トレ		一括	13		弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	赤	外面回転系切り			
33	12	7-521	都本遺跡群 (第21次)	10トレ		一括	8		須恵	蓋	15.1	3/5			15.5	白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	灰	外面回転系切り			
33	13	7-521	都本遺跡群 (第21次)	10トレ		一括	12		土師	環	14.6	1/4	6.5	1/1	5.2	白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面回転系切り			
33	14	7-521	都本遺跡群 (第21次)	11トレ		一括	13		須恵	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	青灰	外面回転系切り			
33	15	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)	11トレ		一括	14		土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒褐	外面回転系切り			
35	1	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	10点あけ	47		覆土、弥生	環	17.5				18.5	白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ、内面ヘラミガキ			
35	2	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	11	一括		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	3	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	8点あけ	42		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	4	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	4点あけ	16		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	5	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	1点あけ	8		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒	外面ヘラナデ			
35	6	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	5点あけ	23		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	7	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	7点あけ	41		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	8	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	13	一括		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	9	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	12	一括		覆土、土師	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	10	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	3点あけ	11		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	11	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	3点あけ	12		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	12	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	6点あけ	26		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	13	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	14	一括		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~1.0mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	14	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	9点あけ	64		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~1.0mm) 多い	良好	にぶい釉	外面ヘラナデ			
35	15	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		001	15	一括		覆土、瓦	丸						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒	外面ヘラナデ			
35	16	7-513	稲荷台遺跡 (U-2)		002	16	一括		覆土、弥生	環						白色釉、砂粒 (~0.5mm) 多い	良好	黒	外面ヘラナデ			

図No.	遺跡コード	遺跡	トレンチ	遺構	整理No.	トレンチ	遺構	整理No.	取得方法	取得上げ%	層位	種別	器種	器種	素材	最大長	最大幅	最大厚	重量(g)	文線	備考
35	17-セ513	稲荷台遺跡 (L-2)	17	点あひ	8	覆土・弥生	覆土・弥生	覆土・弥生	点あひ	66	土製品	ミニチュア土器	黒褐色	黒褐色	外周ハケ、ミガキ、内面ヘラナデ	56	37	17	424		
35	18-セ513	稲荷台遺跡 (L-2)	18	一括	1	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	14	土製品	土器片鏝	灰	灰	細目叩き	49	40	10	290		
36	1-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	19	一括	8	覆土・須恵	覆土・須恵	覆土・須恵	一括	16	土製品	土器片鏝	灰	灰	平行叩き	64	54	17	525		
36	2-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	20	一括	1	覆土・須恵	覆土・須恵	覆土・須恵	一括	74	土製品	土器片鏝	灰	灰	外周ハケ	53	36	9	190		
36	3-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	21	一括	1	覆土・須恵	覆土・須恵	覆土・須恵	一括	81	土製品	--	灰	灰		63	42	9	304		胴部破片の同摩耗
36	4-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	22	一括	9	覆土・須恵	覆土・須恵	覆土・須恵	一括	86	土製品	--	灰	灰		88	76	10	71.1		口縁部破片の同摩耗
36	5-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	23	一括	3	覆土・灰釉	覆土・灰釉	覆土・灰釉	一括	--	土製品	有孔土器	灰	灰		69	45	9	333		
36	6-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	24	一括	5	覆土・須恵	覆土・須恵	覆土・須恵	一括	--	土製品	土器	灰	灰		81	37	42	137.2		表面摩耗顕著
36	7-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	25	一括	1	覆土・須恵	覆土・須恵	覆土・須恵	一括	37	土器	石皿	灰	灰		65	47	63	133.7		被熱
36	8-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	26	一括	12	覆土・須恵	覆土・須恵	覆土・須恵	一括	37	土器	石皿	灰	灰		80	79	45	526.0		被熱
36	9-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	27	一括	9	覆土・須恵	覆土・須恵	覆土・須恵	一括	2	土製品	垂飾	灰	灰		20	20	7	26		自然の打ち上げ個体か
36	10-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	28	一括	6	覆土・須恵	覆土・須恵	覆土・須恵	一括	2	土製品	垂飾	灰	灰		30	29	11	69		覆頂部・側面に面取り加工顕著
36	11-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	29	一括	43	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	44	土製品	瓦	灰	灰		14	4	4	0.1		
36	12-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	30	一括	44	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	47	土製品	瓦	灰	灰		17	17	7	11.7		
36	13-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	31	一括	44	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	46	土製品	瓦	灰	灰		52	11	10	4.5		
36	14-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	32	一括	45	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	46	土製品	瓦	灰	灰		18	19	6.5	5.9		メッキ帯かに残存
36	15-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	33	一括	29	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	001	土製品	石器	灰	灰		62	42	30	85.2		層面に顕著な擦痕
36	16-セ517	稲荷台遺跡 (L-3)	34	一括	002	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	002	土製品	石器	灰	灰		59	55	42	134.4		
25	57-セ509	都本遺跡群 (第17次)	006	一括	006	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	57	土器	小型磨製石斧	灰	灰		68	27	16	53.2		自然磨製利用一軸線と下腹部を研
26	78-セ509	都本遺跡群 (第17次)	007	一括	007	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	46	土製品	土製品	灰	灰		40	19	9	4.7		片面側縁部にキザミ
27	125-セ509	都本遺跡群 (第17次)	014	一括	46	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	--	土器	磨石・砥石	灰	灰		61	51	34	152.5		
27	126-セ509	都本遺跡群 (第17次)	014	一括	47	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	--	土器	砥石	灰	灰		144	68	47	435.7		
27	137-セ509	都本遺跡群 (第17次)	--	一括	1	覆土・瓦	覆土・瓦	覆土・瓦	一括	--	土器	磨石	灰	灰		58	39	25	15.0		

第7表 出土遺物属性表2

図No.	遺跡コード	遺跡	トレンチ	遺構	整理No.	トレンチ	遺構	整理No.	取得方法	取得上げ%	層位	種別	器種	器種	素材	最大長	最大幅	最大厚	重量(g)	文線	備考
11	102-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	1	トレンチ	1	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	66	土製品	ミニチュア土器	黒褐色	黒褐色	外周ハケ、ミガキ、内面ヘラナデ	56	37	17	424		
11	103-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	2	トレンチ	2	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	14	土製品	土器片鏝	灰	灰		49	40	10	290		
11	104-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	2	トレンチ	2	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	16	土製品	土器片鏝	灰	灰		64	54	17	525		
11	105-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	2	トレンチ	2	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	74	土製品	土器片鏝	灰	灰		53	36	9	190		
11	106-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	2	トレンチ	2	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	81	土製品	--	灰	灰		63	42	9	304		胴部破片の同摩耗
11	107-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	2	トレンチ	2	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	86	土製品	--	灰	灰		88	76	10	71.1		口縁部破片の同摩耗
11	108-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	1	トレンチ	1	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	--	土製品	有孔土器	灰	灰		69	45	9	333		
11	109-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	1	トレンチ	1	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	--	土製品	土器	灰	灰		81	37	42	137.2		表面摩耗顕著
11	110-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	2	トレンチ	2	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	37	土器	石皿	灰	灰		65	47	63	133.7		被熱
11	111-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	2	トレンチ	2	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	37	土器	石皿	灰	灰		80	79	45	526.0		被熱
11	112-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	1	トレンチ	1	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	2	土製品	垂飾	灰	灰		20	20	7	26		自然の打ち上げ個体か
11	113-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	2	トレンチ	2	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	2	土製品	垂飾	灰	灰		30	29	11	69		覆頂部・側面に面取り加工顕著
11	114-セ508	能満分岐遺跡群 (貝塚塚地区)	1	トレンチ	1	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	44	土製品	瓦	灰	灰		14	4	4	0.1		
21	35-セ518	市原塚跡 (門前地区・第2地点)	2	トレンチ	2	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	44	土製品	瓦	灰	灰		17	17	7	11.7		
21	36-セ518	市原塚跡 (門前地区・第2地点)	2	トレンチ	2	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	47	土製品	瓦	灰	灰		52	11	10	4.5		
21	37-セ518	市原塚跡 (門前地区・第2地点)	2	トレンチ	2	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	46	土製品	瓦	灰	灰		18	19	6.5	5.9		メッキ帯かに残存
23	3-セ509	都本遺跡群 (第17次)	001	トレンチ	001	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	001	土製品	石器	灰	灰		62	42	30	85.2		層面に顕著な擦痕
23	19-セ509	都本遺跡群 (第17次)	002	トレンチ	002	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	002	土製品	石器	灰	灰		59	55	42	134.4		
25	57-セ509	都本遺跡群 (第17次)	006	トレンチ	006	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	57	土器	小型磨製石斧	灰	灰		68	27	16	53.2		自然磨製利用一軸線と下腹部を研
26	78-セ509	都本遺跡群 (第17次)	007	トレンチ	007	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	46	土製品	土製品	灰	灰		40	19	9	4.7		片面側縁部にキザミ
27	125-セ509	都本遺跡群 (第17次)	014	トレンチ	46	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	--	土器	磨石・砥石	灰	灰		61	51	34	152.5		
27	126-セ509	都本遺跡群 (第17次)	014	トレンチ	47	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	--	土器	砥石	灰	灰		144	68	47	435.7		
27	137-セ509	都本遺跡群 (第17次)	--	トレンチ	1	トレンチ	トレンチ	トレンチ	一括	--	土器	磨石	灰	灰		58	39	25	15.0		



能満分区遺跡群（貝殻塚地区） 調査風景



能満分区遺跡群（貝殻塚地区） 7・4トレンチ全景



能満分区遺跡群（貝殻塚地区） 6トレンチ全景



能満分区遺跡群（貝殻塚地区） 8トレンチ全景



能満分区遺跡群（貝殻塚地区） 1トレンチ貝層検出状況



能満分区遺跡群（貝殻塚地区） 1トレンチ遺物出土状況



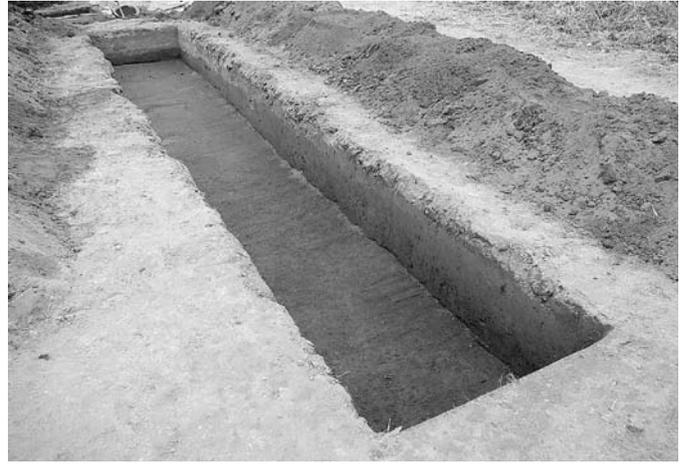
能満分区遺跡群（貝殻塚地区） 2トレンチ貝層検出状況



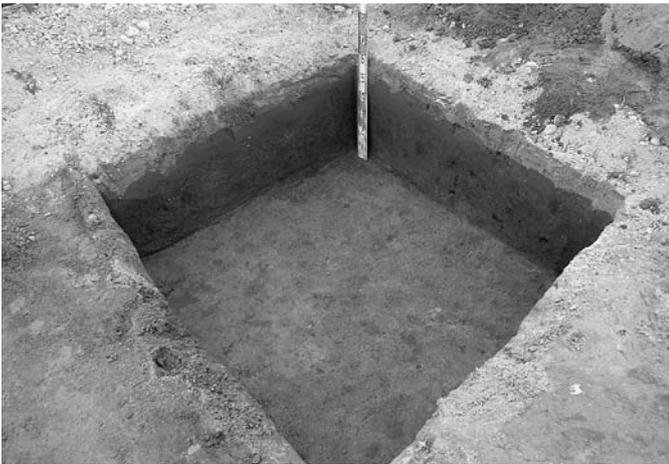
能満分区遺跡群（貝殻塚地区） 2トレンチ遺物出土状況



大厩遺跡群（一心原句地区） 1トレンチ



大厩遺跡群（一心原句地区） 2トレンチ



大厩遺跡群（一心原句地区） 3トレンチ



大厩遺跡群（一心原句地区） 4トレンチ



椎津向原遺跡（第2地点） 調査区全景



椎津向原遺跡（第2地点） 3トレンチ遺構検出状況



椎津向原遺跡（第2地点） 4トレンチ遺構検出状況



椎津向原遺跡（第2地点） 10トレンチ遺構検出状況



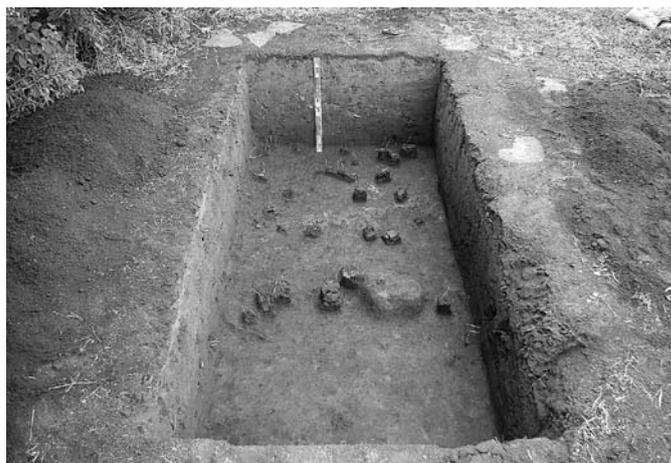
椎津向原遺跡（第2地点） 11トレンチ遺構検出状況



椎津向原遺跡（第2地点） 12トレンチ遺構検出状況



椎津向原遺跡（第2地点） 14トレンチ遺物出土状況



椎津向原遺跡（第2地点） 17トレンチ遺物出土状況



市原城跡（門前地区・第2地点） 1号遺構



市原城跡（門前地区・第2地点） 2号遺構遺物出土状態



市原城跡（門前地区・第2地点） 2号遺構土層断面



市原城跡（門前地区・第2地点） 2・3・4号遺構



郡本遺跡群（第17次） 調査前風景



郡本遺跡群（第17次） 2号遺構遺物出土状況



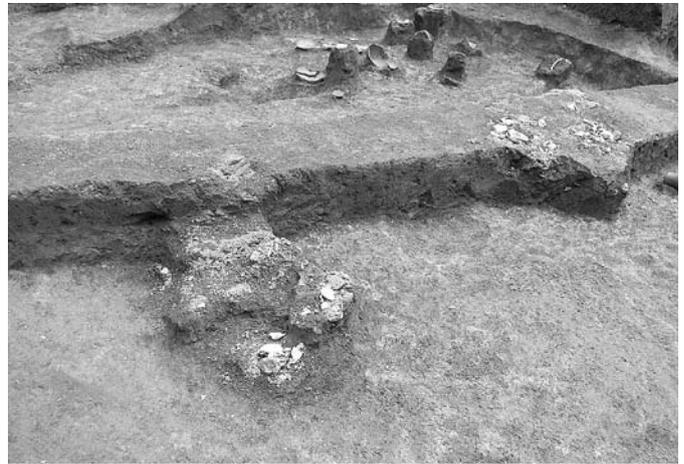
郡本遺跡群（第17次） 2号遺構



郡本遺跡群（第17次） 6・14・15号遺構遺物出土状況



郡本遺跡群（第17次） 6号遺構遺物出土状況



郡本遺跡群（第17次） 6号遺構貝層検出状況



郡本遺跡群（第17次） 6・14・15号遺構（北から）



郡本遺跡群（第17次） 6・14・15号遺構（東から）



郡本遺跡群（第18次） 1トレンチ遺構検出状況



郡本遺跡群（第18次） 3トレンチ遺構検出状況



郡本遺跡群（第18次） 3トレンチ2号遺構



郡本遺跡群（第18次） 3トレンチ3号遺構遺物出土状況



郡本遺跡群（第19次） 調査前風景



郡本遺跡群（第19次） 調査風景



郡本遺跡群（第19次） 2トレンチ遺構検出状況



郡本遺跡群（第19次） 5トレンチ遺構検出状況



郡本遺跡群（第20次） 調査前風景



郡本遺跡群（第20次） 6トレンチ遺構検出状況



郡本遺跡群（第20次） 7トレンチ遺構検出状況



郡本遺跡群（第20次） 8トレンチ遺構検出状況



郡本遺跡群（第21次） 調査前風景



郡本遺跡群（第21次） 調査風景



郡本遺跡群（第21次） 3トレンチ遺構検出状況



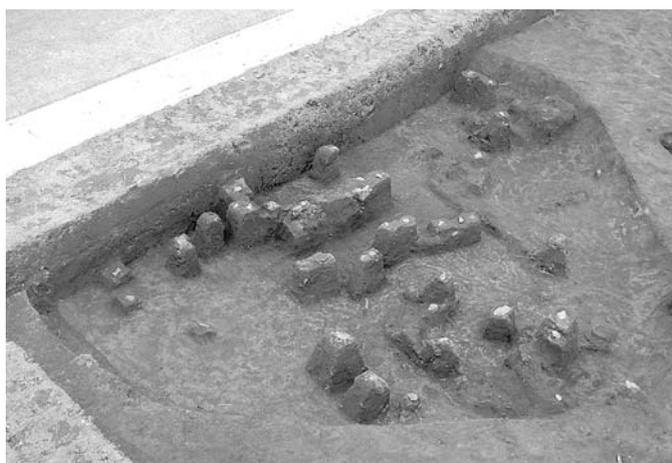
郡本遺跡群（第21次） 9トレンチ遺構検出状況



稲荷台遺跡 (L-2地点) 調査前風景



稲荷台遺跡 (L-2地点) 調査風景



稲荷台遺跡 (L-2地点) 1号遺構遺物出土状況



稲荷台遺跡 (L-2地点) 1号遺構



稲荷台遺跡 (L-3地点) 調査前風景



稲荷台遺跡 (L-3地点) 2号遺構



稲荷台遺跡 (L-3地点) 7号遺構遺物出土状況



稲荷台遺跡 (L-3地点) 7号遺構



稲荷台遺跡 (N地点) 1トレンチ土層断面



稲荷台遺跡 (N地点) 1トレンチ完掘状況

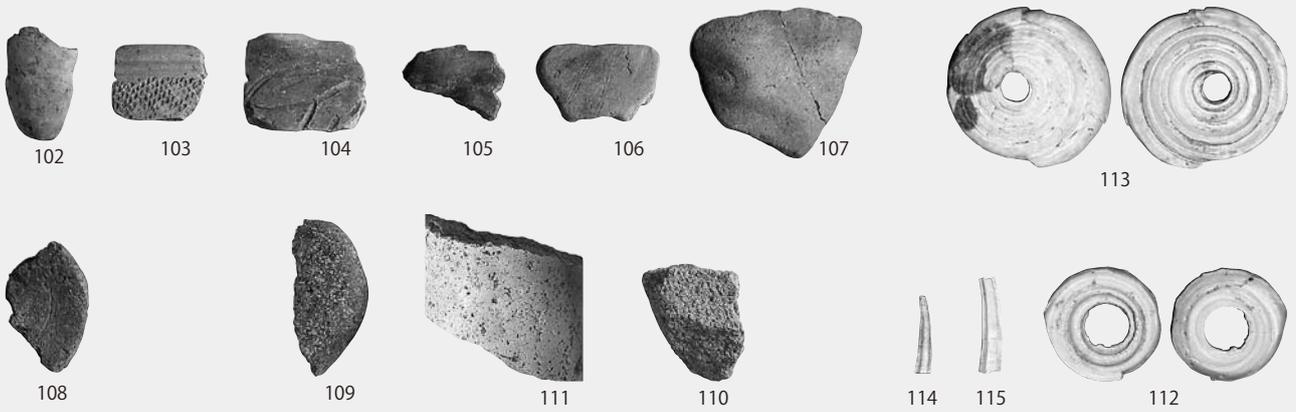


稲荷台遺跡 (N地点) 2トレンチ遺物出土状態



稲荷台遺跡 (N地点) 2トレンチ土層断面

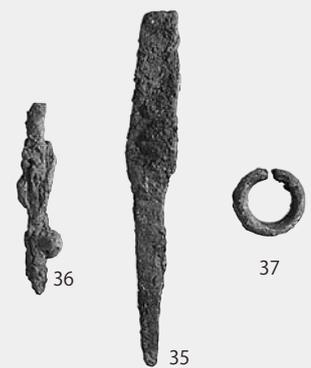
能満分区遺跡群 (貝殻塚地区)



郡本遺跡群 (第17次)



市原城跡(門前地区・第2地点)





能満分区 (貝殻塚地区) 19



能満分区 (貝殻塚地区) 41



椎津向原 (第2地点) 4



椎津向原 (第2地点) 7



椎津向原 (第2地点) 6



椎津向原 (第2地点) 5



椎津向原 (第2地点) 15



椎津向原 (第2地点) 14



椎津向原 (第2地点) 9



椎津向原 (第2地点) 19



椎津向原 (第2地点) 17



椎津向原 (第2地点) 18



椎津向原 (第2地点) 32



椎津向原 (第2地点) 26



椎津向原 (第2地点) 27



市原城跡 (門前地区・第2地点) 10



椎津向原 (第2地点) 36



椎津向原 (第2地点) 37



市原城跡 (門前地区・第2地点) 31



郡本17次 5



郡本17次 22



郡本17次 25



郡本17次 26



郡本17次 28



郡本17次 31



郡本17次 43



郡本17次 47



郡本17次 79



郡本17次 101



郡本21次 2



郡本21次 7



郡本21次 11



郡本21次 12



郡本19次 1



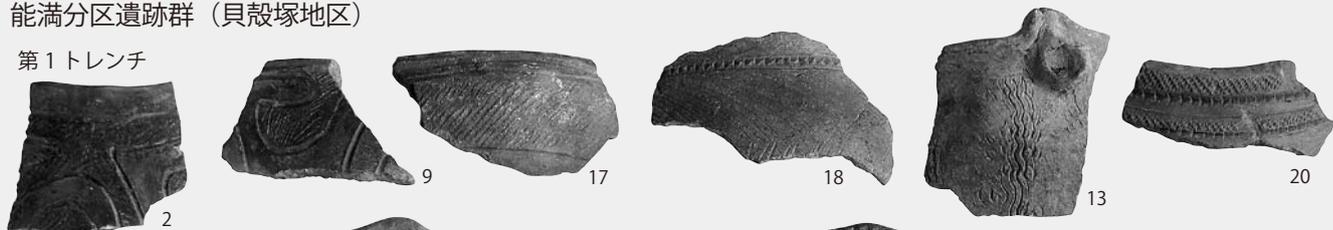
稻荷台 (L-3地区) 16



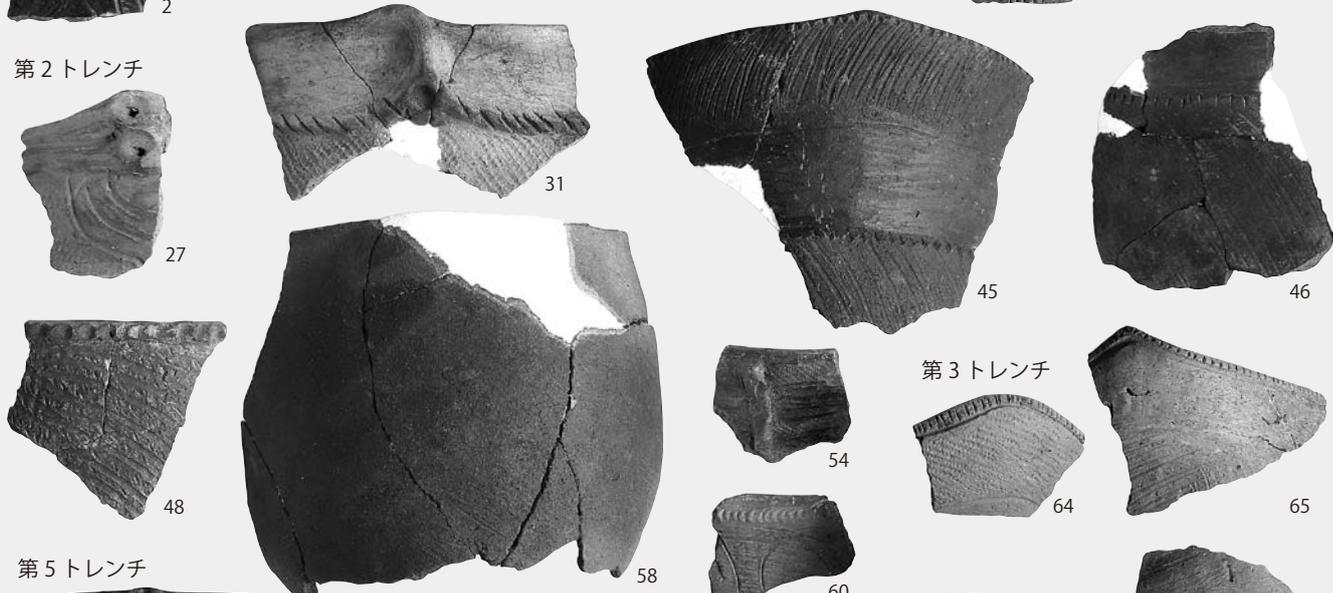
稻荷台 (L-3地区) 17

能満分区遺跡群 (貝殻塚地区)

第1トレンチ



第2トレンチ

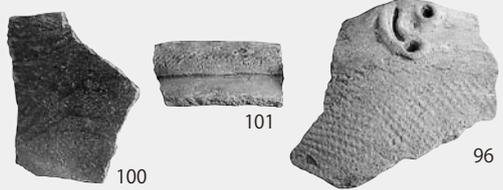


第3トレンチ

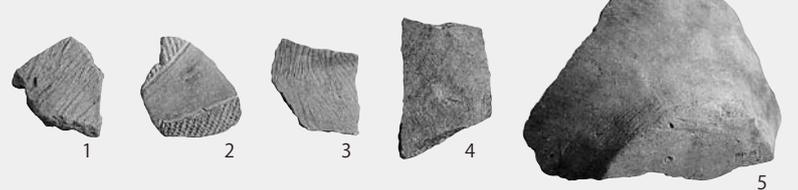
第5トレンチ



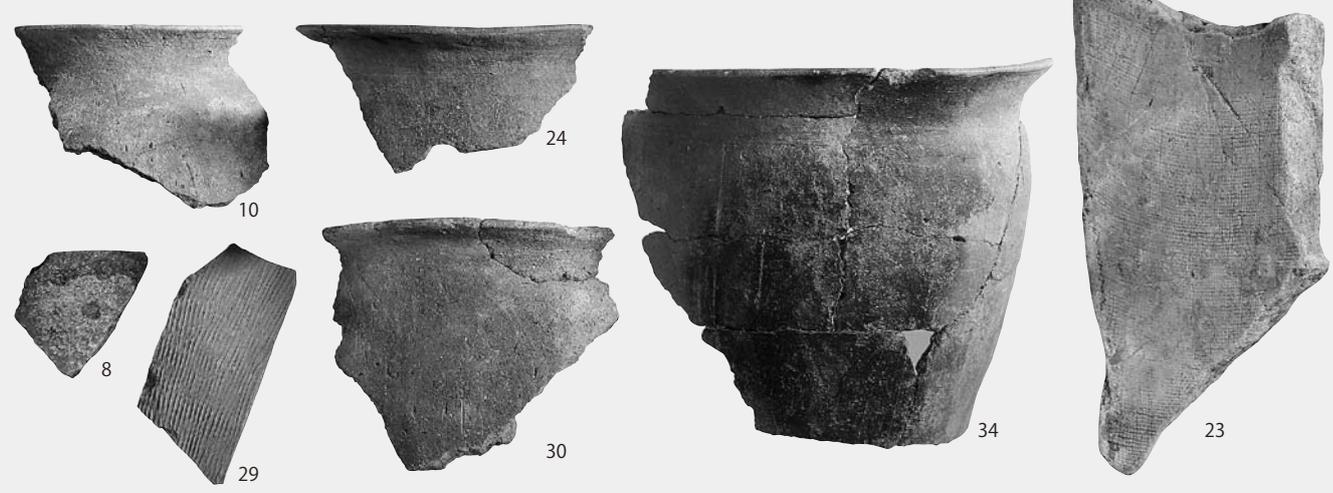
第9トレンチ



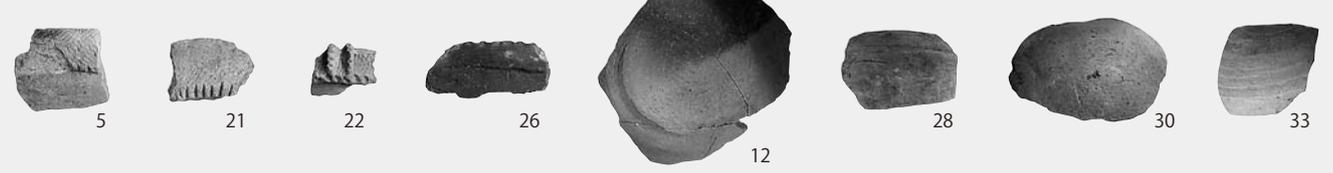
大厩遺跡群 (一心原句地区)



椎津向原遺跡 (第2地点)



市原城跡 (門前地区・第2地点)



郡本遺跡群 (第 17 次)

002



006



6

29

44



49



48

007



72



77



109



73



014

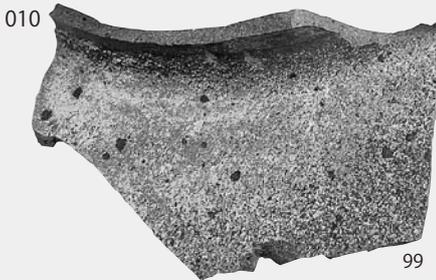
102



123



115



010

99

013



100

郡本遺跡群 (第 18 次)



1

3

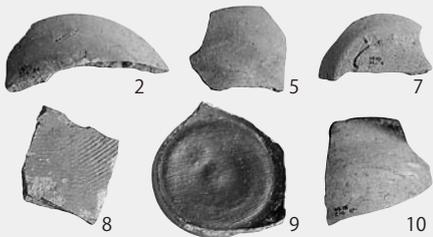
5

6

9

11

郡本遺跡群 (第 19 次)



2

5

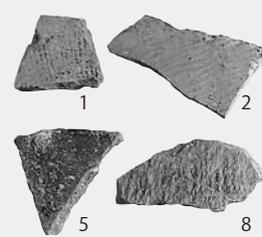
7

8

9

10

郡本遺跡群 (第 20 次)



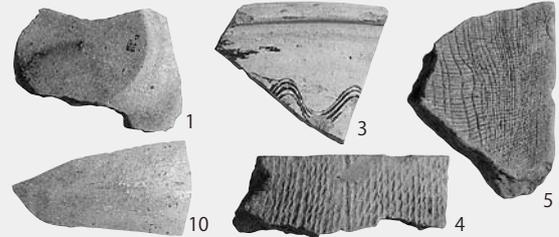
1

2

5

8

郡本遺跡群 (第 21 次)



1

3

5

10

4

稲荷台遺跡 (L-2 地点)



1

3

7

12

19

18

稲荷台遺跡 (L-3 地点)



5

8

10

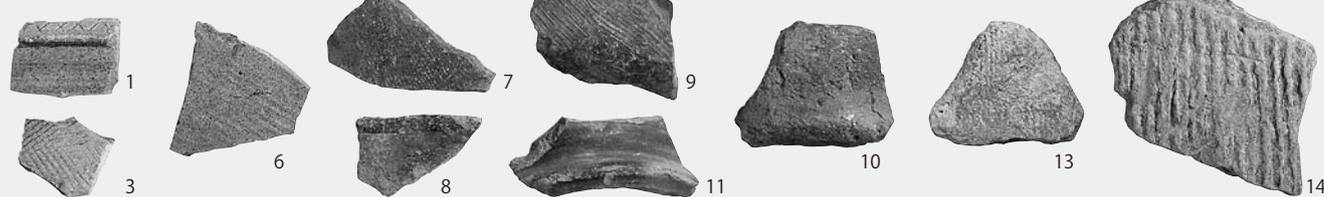
11

18

19

20

稲荷台遺跡 (N 地点)



1

7

9

3

6

8

11

10

13

14

報告書抄録

ふりがな	へいせい25ねんどいちはらしないいせきはくつちょうさほうこく							
書名	平成25年度市原市内遺跡発掘調査報告							
副書名	能満分区遺跡群（貝殻塚地区）・大厩遺跡群（一心原句地区）・椎津向原遺跡（第2地点）・市原城跡（門前地区・第2地点）・郡本遺跡群（第17次）・郡本遺跡群（第18次）・郡本遺跡群（第19次）・郡本遺跡群（第20次）・郡本遺跡群（第21次）・稲荷台遺跡（L-2地点）・稲荷台遺跡（L-3地点）・稲荷台遺跡（N地点）							
巻次								
シリーズ名	市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書							
シリーズ番号	第30集							
編著者名	近藤 敏・忍澤成視・小川浩一							
編集機関	市原市埋蔵文化財調査センター							
所在地	〒290-0011 千葉県市原市能満1489番地 TEL 0436 (41) 9000							
発行年月日	2014年3月24日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
のうまんぶんく 能満分区遺跡群 (貝殻塚地区)	のうまん 市原市能満2108番1	12219	780	35度 29分 40秒	140度 08分 52秒	20130220 ～ 20130308	507㎡/4,161㎡ (確認)	資材置場造成
おおまや 大厩遺跡群 (一心原句地区)	おおまやいっしんぼらく 市原市大厩字一心原句 1218-70	12219	934	35度 31分 39秒	140度 09分 00秒	20130610 ～ 20130618	19㎡/214.89㎡ (確認)	個人住宅建設
しいづむかいぼら 椎津向原遺跡 (第2地点)	しいづあむかいぼら 市原市椎津字向原 1029-1	12219	303	35度 28分 03秒	140度 02分 05秒	20130718 ～ 20130731	184㎡/1,720㎡ (確認)	資材置場建設
いちほらじょう 市原城跡 (門前地区・第2地点)	もんぜん 市原市門前 2丁目324の一部	12219	797	35度 31分 05秒	140度 07分 39秒	20131028 ～ 20131108	21㎡/210㎡ (確認) 87㎡(本調査)	個人住宅建設
こおりもと 郡本遺跡群 (第17次)	こおりもと 市原市郡本4丁目23番2	12219	793	35度 30分 52秒	140度 07分 09秒	20130415 ～ 20130507	26.4㎡/264.88㎡ (確認) 77.98㎡(本調査)	個人住宅建設
こおりもと 郡本遺跡群 (第18次)	ふじい 市原市藤井1丁目 167、168の一部	12219	793	35度 30分 25秒	140度 07分 26秒	20130520 ～ 20130523	37.1㎡/371.88㎡ (確認)	個人住宅建設
こおりもと 郡本遺跡群 (第19次)	こおりもと 市原市郡本5丁目 37番・44番の各一部	12219	793	35度 30分 59秒	140度 07分 17秒	20130906 ～ 20130912	33㎡/332.39㎡ (確認)	個人住宅建設
こおりもと 郡本遺跡群 (第20次)	こおりもと 市原市郡本5丁目98番	12219	793	35度 30分 59秒	140度 07分 22秒	20131105 ～ 20131113	65.2㎡/652㎡ (確認) 13㎡(本調査)	個人住宅建設
こおりもと 郡本遺跡群 (第21次)	ふじい 市原市藤井2-167	12219	793	35度 30分 32秒	140度 07分 22秒	20131216 ～ 20131225	73.9㎡/739.45㎡ (確認)	建売住宅建設
いなりだい 稲荷台遺跡 (L-2地点)	やまだぼし 市原市山田橋 3丁目11番44	12219	792	35度 30分 21秒	140度 07分 20秒	20130722 ～ 20130805	43㎡(本調査)	個人住宅建設
いなりだい 稲荷台遺跡 (L-3地点)	やまだぼし 市原市山田橋 3丁目11番35の一部	12219	792	35度 30分 20秒	140度 07分 20秒	20131021 ～ 20131105	68.8㎡(本調査)	個人住宅建設
いなりだい 稲荷台遺跡 (N地点)	ふじい 市原市藤井 1丁目189番地2の一部	12219	792	35度 30分 17秒	140度 07分 26秒	20130816 ～ 20130827	20㎡/249.4㎡ (確認) 20㎡(本調査)	個人住宅建設

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
能満分区遺跡群 (貝塚地区)	貝塚 包蔵地	縄文	竪穴住居跡 2 軒 小竪穴 1 基 貝塚 1 地点	縄文土器, 石器, 貝製品, 獣骨	今回の調査地点は能満分区遺跡群の南端部であり、能満分区貝塚の東側縁辺部に当たり、能満分区貝塚の時期と範囲が調査対象範囲部分で確認された。
大厩遺跡群 (一心原句地区)	包蔵地	縄文 弥生		縄文土器, 弥生土器	当遺跡から南東50~100mに平成4年度調査の大厩鍛冶屋前台遺跡があり、弥生、古墳時代の住居跡が32軒検出された。当遺跡と比較的近距離だが、大厩遺跡群の北辺に当たり、当該遺跡の北辺部と思われる。
椎津向原遺跡 (第2地点)	包蔵地 集落跡	縄文 古墳 平安	土坑跡 3 基 竪穴住居跡 8 軒 土坑跡24基 掘立柱建物跡 3 棟 竪穴住居跡 7 軒	土師器, 須恵器	平成20年度に調査した椎津向原遺跡の成果と同様な古墳時代後期と平安時代の集落跡が、50m東側方向の本地点まで連続していることが判明した。
市原城跡 (門前地区・ 第2地点)	包蔵地 集落跡	弥生 古墳 奈良・平安	竪穴住居跡 1 軒 竪穴住居跡 1 軒 竪穴住居跡 1 軒 土坑跡 2 基	弥生土器, 土師器, 須恵器, 鉄製品, 耳環	当遺跡の北側隣接地域は、平成24年度調査の門前地区第1地点であり、弥生時代後期集落が検出されていることから、第2地点もこの関連とみられる。しかし、宅地造成の段階で削平を受けており、攪乱が多い。
郡本遺跡群 (第17次)	包蔵地 集落跡 官衙跡	弥生 古墳 中世	竪穴建物跡 5 軒 竪穴建物跡 5 軒 方形竪穴跡 1 基	弥生土器, 土師器, 中世陶器, 鉄製品	調査区内全域にわたり、弥生時代中期から古墳時代前期にかけての竪穴建物跡を検出した。
郡本遺跡群 (第18次)	包蔵地 集落跡 官衙跡	奈良・平安	竪穴建物跡 1 軒 掘立柱建物跡 2 棟 溝跡 1 条 土坑跡 1 基	土師器, 須恵器	南北に走る古代道の推定地が、今回発掘対象の西側に隣接するが、その痕跡は確認されず、道の推定ラインが今回対象範囲の西側に位置していることが確実となった。
郡本遺跡群 (第19次)	包蔵地 集落跡 官衙跡	平安 中世	竪穴建物跡 1 軒 溝跡 1 条 土坑跡 1 基 溝跡 1 条	土師器, カワラケ	海岸平野を西に望む台地の縁辺において、平安期の竪穴建物跡が確認された。
郡本遺跡群 (第20次)	包蔵地 集落跡 官衙跡	中世	溝跡 1 条	土師器, 瓦, 中世陶器	調査区内北域において、中世と考えられる溝状遺構を検出した。
郡本遺跡群 (第21次)	包蔵地 集落跡 官衙跡	古墳 奈良 平安 中世	竪穴建物跡 3 軒 土坑跡 1 基 竪穴建物跡 1 軒 竪穴建物跡 3 軒 方形竪穴跡 2 基	土師器, 須恵器	郡本遺跡群内南側に位置する藤井地区において、奈良・平安期の竪穴建物跡などが確認された。
稲荷台遺跡 (L-2地点)	包蔵地	弥生 古墳 中世	竪穴建物跡 1 軒 竪穴建物跡 1 軒 土坑跡 1 基	弥生土器, 土師器	調査区内において、弥生時代後期と古墳時代前期の竪穴建物跡を検出した。
稲荷台遺跡 (L-3地点)	包蔵地	平安 中世	竪穴建物跡 1 軒 溝跡 1 条 土坑跡 1 基	土師器, 須恵器, 瓦	調査区内において、平安時代の竪穴建物跡を検出した。
稲荷台遺跡 (N地点)	道路跡	奈良・平安 中世	道路跡遺構 1 条	土師器, 須恵器, 瓦, 中世陶器, 鉄製品, 礫	当遺跡の西側隣接地域は稲荷台遺跡の官衙区域に当たり、調査区南北方向は幅10m前後の範囲で奈良・平安時代から中世初期まで使用された幹線道路の畦畔が地上部に現れている。
要 約	<p>今回は、主に個人住宅建設に伴う発掘調査を、市内に所在する12遺跡について行った。遺跡の所在地は、郡本遺跡群や稲荷台遺跡など市原地区が多くを占めている。能満分区遺跡群(貝塚地区)は、昨年度末の調査であったが、今回の報告となった。縄文時代後期の貝塚に伴う多様な遺物が出土している。郡本遺跡群(17~21次)及び市原城跡(門前地区・第2地点)は、門前から郡本を経て藤井地区に及ぶ広い範囲に広がる遺跡であり、弥生時代から奈良・平安時代を経て中世に至る濃密な遺跡群である。各調査地から検出される奈良・平安期の遺構から、官衙エリアの絞り込みが行われつつある。稲荷台遺跡(L-2・3、N地点)は、郡本遺跡群の南側に展開する遺跡であり、官衙及びその周辺エリアを縦走する古代道の状況が少しずつ明らかにされつつある。また、市内北部に所在する大厩遺跡群(一心原句地区)や、西部にある椎津向原遺跡(第2地点)では、遺跡の内容や範囲を把握することができた。</p>				

市原市埋蔵文化財調査センター調査報告書第30集
平成25年度 市原市内遺跡発掘調査報告

平成26年 3月24日発行

編 集 市原市埋蔵文化財調査センター
市原市能満1489
TEL 0436 (41) 9000

発 行 千葉県市原市教育委員会
市原市国分寺台中央1-1-1
TEL 0436 (22) 1111

印 刷 株式会社 正文社
千葉市中央区都町1丁目10番6号